

令和 7 年度 公共事業 事前評価調書及び継続評価調書

目 次

1	公共事業 事前評価事業別評価地区数	1
2	公共事業 事前評価箇所一覧表	2
3	公共事業 事前評価調書	9
4	公共事業 継続評価事業別評価地区数	115
5	公共事業 継続評価調書（箇所一覧）	117
6	公共事業 継続評価調書（箇所別）※ 目次	139
7	公共事業 継続評価調書（箇所別）	140

※ 継続評価を行うに当たり、特に必要と認めるものについては箇所別に調書を作成。

I 事前評価

公共事業事前評価 事業別評価地区数

【農林水産部】

事業の種類	事業名	担当課	総合評価区分				
			AA	A	B	C	合計
農業農村整備事業	1 経営体育成基盤整備事業	農村計画課		2			2
	2 農村地域防災減災事業	〃		4			4
	小 計			6			6
治山事業	3 復旧治山事業	森林保全課	2	4			6
	4 防災林造成事業	〃		1			1
	5 予防治山事業	〃		4			4
	6 林地荒廃防止事業	〃		1			1
	小 計		2	10			12
水産基盤整備事業	7 漁港整備事業	漁港漁村課	2	1	1		4
	小 計		2	1	1		4
	合 計		4	17	1		22

【県土整備部】

事業の種類	事業名	担当課	総合評価区分				
			AA	A	B	C	合計
道路事業	8 地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型)	道路建設課	1	2			3
	9 地域連携道路整備事業(地域密着型)	〃		1			1
	小 計		1	3			4
河川事業	10 統合河川環境整備事業	河川課	1				1
	小 計		1				1
砂防事業	11 通常砂防事業	砂防災害課		1			1
	12 急傾斜地崩壊対策事業	〃		1			1
	小 計			2			2
都市計画事業	13 都市計画道路整備事業	都市計画課		1			1
	14 広域公園整備事業	〃		1			1
	小 計			2			2
公営住宅建設事業	15 公営住宅建設事業	建築住宅課			1		1
	小 計				1		1
	合 計		2	7	1		10

事前評価 合計	6	24	2		32
---------	---	----	---	--	----

公共事業 事前評価箇所一覧表

農林水産部農村計画課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				事前評価結果									特記事項	
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費 (千円)	自然環境等の 状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価		(参考) B/C
								必要性 (25)	重要性 (15)	緊急性 (20)	効率性 (20)	熟度 (20)	計 (100)	評価結果			
経営体育成基盤 整備事業	平野原	遠野市	R8	R15	区画整理 34.7ha	1,390,000	a	21.25	13.00	10.00	12.00	18.75	75.00	b	A	1.26	
	上野原	奥州市	R8	R17	区画整理 94.9ha	3,465,000	a	21.25	13.00	10.00	12.00	18.75	75.00	b	A	1.27	

農林水産部農村計画課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				事前評価結果									特記事項	
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費 (千円)	自然環境等の 状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価		(参考) B/C
								必要性 (20)	重要性 (20)	緊急性 (30)	効率性 (20)	熟度 (10)	計 (100)	評価結果			
農村地域防災減災事業	衣川	奥州市	R8	R15	ダム管理システム更新 1 式 洪水吐ゲート改修 1 式	1,540,000	a	16.00	20.00	15.00	20.00	8.75	79.75	b	A	4.20	
	大屋	陸前高田市	R8	R12	ため池改修 1 式	208,000	a	7.00	20.00	15.00	20.00	8.75	70.75	b	A	2.21	
	駒木野	雫石町	R8	R11	護床工 30m 護岸工 15m	383,000	a	8.50	10.00	20.00	20.00	7.50	66.00	b	A	4.17	
	谷内第 2 号	花巻市	R8	R10	管路更生工 0.1km	157,000	a	7.00	10.00	20.00	20.00	7.50	64.50	b	A	1.96	

公共事業 事前評価箇所一覧表

農林水産部森林保全課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				事前評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費(千円)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価	
復旧治山事業	米内川	盛岡市	R8	R12	谷止工6基	360,000	a	13	10	38	30	—	91	a	AA	9.30
	間久沢	西和賀町	R8	R9	谷止工2基	90,000	a	16	5	36	30	—	87	a	AA	5.38
	山の内	山田町	R8	R9	谷止工2基	61,000	a	12	5	32	30	—	79	b	A	13.63
	箱崎	釜石市	R8	R10	谷止工3基	90,000	a	8	5	28	30	—	71	b	A	6.55
	岡山	一関市	R8	R11	谷止工1基、床固工2基	130,000	a	5	5	34	20	—	64	b	A	1.77
	長倉	一関市	R8	R9	谷止工1基、谷止工補修1基	68,000	a	7	3	24	30	—	64	b	A	6.57

農林水産部森林保全課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				事前評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費(千円)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価	
防災林造成事業	小路	大船渡市	R8	R16	谷止工、森林整備60ha	700,000	a	18	10	15	20	—	63	b	A	3.44

公共事業 事前評価箇所一覧表

農林水産部森林保全課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				事前評価結果									特記事項	
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費 (千円)	自然環境等の 状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価		(参考) B/C
								必要性 (20)	重要性 (10)	緊急性 (40)	効率性 (30)	熟度 (－)	計 (100)	評価結果			
予防治山事業	大清水	二戸市	R8	R8	谷止工1基	40,000	a	14	3	22	30	－	69	b	A	9.05	
	深堀	一関市	R8	R9	谷止工1基	40,000	a	9	3	24	30	－	66	b	A	6.55	
	夏山	一関市	R8	R9	谷止工1基	40,000	a	7	3	26	30	－	66	b	A	9.36	
	上芦沢	奥州市	R8	R9	谷止工1基	40,000	a	7	5	28	25	－	65	b	A	4.28	
林地荒廃防止事業	外口	大船渡市	R8	R9	谷止工1基	30,000	a	2	10	28	20	－	60	b	A	1.55	

公共事業 事前評価箇所一覧表

農林水産部漁港漁村課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				事前評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費(千円)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価	(参考) B/C
								必要性(30)	重要性(20)	緊急性(20)	効率性(20)	熟度(10)	計(100)	評価結果		
漁港整備事業	太田名部漁港	普代村 太田名部	R8	R15	護岸L=122.0m、C防波堤L=10.5m、-2m物揚場L=163.2m、-3m岸壁L=20.0m、船揚場L=30.0m、臨港道路L=49.8m、用地A=1,900m ²	1,320,000	a	17	19	18	20	10	84	a	AA	1.25
	音部漁港	宮古市 音部	R8	R10	用地14,700m ² 、船揚場30.7m、-2m物揚場43.1m、護岸53.0m	450,300	a	22	17	16	18	10	83	a	AA	1.50
	山田漁港	山田町 山田	R8	R9	用地舗装3,850m ²	26,000	a	8	19	5	20	10	62	b	A	3.65
	田老漁港	宮古市 田老	R8	R8	清浄海水供給施設1式	5,200	b	17	20	13	15	10	75	b	B	3.59

公共事業 事前評価箇所一覧表

※修正B/C…費用便益比（B/C）を基に、所得水準や物価水準といった地域間格差を考慮した各地域別の地域修正係数を乗じた修正費用便益比を参考表示しています。

県土整備部道路建設課 (国：国道、主：主要地方道、一：一般県道)

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				事前評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費 (千円)	自然環境等の 状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価	
								必要性 (30)	重要性 (30)	緊急性 (15)	効率性 (20)	熟度 (5)	計 (100)	評価結果		
地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)	国 282号	八幡平市 五日市	R8	R17	道路改築 L=700m	1,100,000	a	20	30	10	18	2	80	a	AA	2.2 (3.1)
	国 340号	遠野市 八幡～五日市	R8	R17	道路改築 L=1,820m	2,000,000	a	21	30	5	15	2	73	b	A	1.3 (2.1)
	国 456号	奥州市 早稲田	R8	R17	道路改築 L=670m	1,230,000	a	18	27	10	15	2	72	b	A	1.4 (2.3)

県土整備部道路建設課 (国：国道、主：主要地方道、一：一般県道)

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				事前評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費 (千円)	自然環境等の 状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価	
								必要性 (30)	重要性 (20)	緊急性 (15)	効率性 (20)	熟度 (15)	計 (100)	評価 結果		
地域連携道路整備事業 (地域密着型)	主 花巻北上線	北上市 更木	R8	R15	道路改築 L=340m	700,000	a	12	19	12	20	12	75	b	A	(参考)B/C (※修正 B/C)

県土整備部河川課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				事前評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費 (千円)	自然環境等の 状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価	(参考) B/C
								必要性 (30)	重要性 (10)	緊急性 (10)	効率性 (40)	熟度 (10)	計 (100)	評価結果		
統合河川環境整備事業	二級河川 気仙川・川原川	陸前高田市 砂盛ほか	R8	R12	計画延長L=2,150m、河川管理用通路工、階段護岸工	738,000	a	24	10	7	35	10	86	a	AA	4.9

公共事業 事前評価箇所一覧表

県土整備部砂防災害課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				事前評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費(千円)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価	
通常砂防事業	その他	大船渡市小石浜の沢(6)	R8	R12	砂防堰堤工 1基	500,000	a	18	10	17	25	—	70	b	A	3.5
急傾斜地崩壊対策事業	-	盛岡市安倍館	R8	R13	法面対策工 2,360m ²	500,000	a	10	5	31	25	—	71	b	A	6.4

県土整備部都市計画課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				事前評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費(千円)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価	
都市計画道路整備事業	都市計画道路向中野安倍館線	盛岡市仙北三丁目	R8	R16	道路改築L=370m	3,500,000	a	12	28	5	20	10	75	b	A	2.3

県土整備部都市計画課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				事前評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費(千円)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価	
広域公園整備事業	岩手県立御所湖広域公園	盛岡市、雫石町御所湖広域公園	R8	R14	公園施設(遊戯施設、運動施設、便益施設)の再整備	980,000	a	17	10	19	18	15	79	b	A	1.9

公共事業 事前評価箇所一覧表

県土整備部建築住宅課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				事前評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費 (千円)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価	(参考) B/C
								必要性 (20)	重要性 (20)	緊急性 (10)	効率性 (30)	熟度 (20)	計 (100)	評価結果		
公営住宅建設事業 (公営住宅)	常盤アパート	奥州市	R8	R14	4棟(80戸)、中層耐火構造(鉄筋コンクリート4階建)、共同住宅の改修工事一式	1,130,320	b	10	12	10	30	10	72	b	B	1.05

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和7年10月3日作成

事業名	経営体育成基盤整備事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部 農村計画課
路線名等	—	地区名	ひらのほら 平野原	市町村 遠野市
事業概要	〔事業根拠法令等：土地改良法〕			
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題</p> <p>本地区は、昭和20年代に一部が10a区画程度に整備され、水稻を中心とした経営が行われているが、小区画で湿田なうえ、農道の幅員も狭いために大型機械の導入が妨げられており、担い手への農地利用集積を阻害する要因となっている。</p> <p>また、農業用排水施設は用排水兼用の土水路であることから、安定的な用水確保に多大な維持管理労力を要しているほか、水路底が浅く農地の排水が不十分のため、水田の汎用化が困難な状況となっている。</p> <p>○整備によって得られる効果</p> <p>標準区画50～1haを中心とした区画整理を実施することにより、大型機械の導入による効率的な営農が可能となることから、整備後は農地利用集積が促進され経営規模の拡大による担い手の経営の安定化が図られる。</p> <p>また、用排水路の分離により農地の排水改良と汎用化が図られることから、高収益作物であるピーマンやネギ、玉ねぎ等の作付け面積の拡大が可能となり、地域全体の収益向上が図られる。</p>			
事業概要	<p>(2) 事業内容</p> <p>区画整理 34.7ha</p>			
	<p>(3) 整備目標等</p> <p>いわて県民計画(2019～2028) 第2期アクションプランー政策推進プランー(令和5年度～令和8年度)</p> <p>VI 仕事・収入</p> <p>37 収益力の高い「食料・木材供給基地」をつくります。</p> <p>④ 生産基盤の着実な整備</p> <p>水田整備面積：【令和3年】15,814ha → 【令和8年】17,300ha</p>			
事業概要	<p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <p>○事業計画期間：令和8年度～令和15年度</p> <p>(用地着手予定年度：令和9年度、工事着手予定年度：令和10年度)</p> <p>○総事業費：1,390百万円</p>			
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 全国の状況</p> <p>国では、令和7年9月に「土地改良長期計画」(計画期間：令和7～11年度)が閣議決定され、「食と暮らしを支える水と土の未来のために」を基本理念とし、4つの政策課題が掲げられた。</p> <p>その中の、政策課題1「生産性向上等に向けた生産基盤の強化」に向けてでは、農地の集積・集約化及びスマート農業の推進に向けた基盤整備による生産コストの低減や、国内の需要等を踏まえた生産の拡大などにより、農業経営の安定化や担い手の育成・確保等を図っていくこととしている。</p>			
	<p>(2) 本県内の状況</p> <p>県では、平成31年3月に公表した「いわて県民計画(2019～2028)」において、意欲と能力のある経営体を育成し農業振興を図るとともに、収益力の高い「食料供給基地」と一人ひとりにあった暮らし方ができる農村をつくるため、水田の大区画化や排水改良、農業水利施設の長寿命化対策など生産基盤の着実な整備を進めることとしている。</p>			
	<p>(3) 施工地域における状況</p> <p>本地区では、農業従事者の高齢化及び担い手不足に対応するため、新たに設立する法人と設立済みの法人、個人担い手への農地利用集積を進めることとしている。</p> <p>また、高収益作物であるピーマンやネギ、玉ねぎ等の作付に取組み、地域全体の収益向上を図りながら、持続可能な営農を展開することとしている。</p>			

自然環境等の状況	<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 C ・希少野生動植物の生息の有無 有 県レッドデータブックCランクの種が生息 ・埋蔵文化財包蔵地の有無 有 3遺跡（平倉、平野原、平野原Ⅱ）を確認 <p>(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <p>事業実施に当たっては、広域振興局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 動物に対する配慮 対象動物について、移動が可能なものについては隣接地の類似箇所に移動させる。 ② 植物に対する配慮 対象植物について、近傍で同種の植物が自生している場所に移植する。 ③ 埋蔵文化財への対応 岩手県教育委員会と分布調査等の協議を実施済。試掘調査を実施し、工事着手可の回答有り。 <p>○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</p>																																																																												
	<p>項目評価 a . b . c</p>																																																																												
事業計画の妥当性	<p>(1) 事業に関する指標からみた評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>評価指標</th> <th>区分</th> <th>配点</th> <th>評点</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">必要性</td> <td>水田の生産性（市町村）</td> <td>優 （2項目該当）</td> <td>15</td> <td>11.25</td> <td>① 1等米比率が県平均以上（97.7%≧県平均96.5%） ④ 水田経営体のうち認定農業者の割合が県平均以上（16.5%≧12.3%）</td> </tr> <tr> <td>地区担い手の農地集積目標</td> <td>65%以上</td> <td>10</td> <td>10.00</td> <td>全体目標 36.0ha/36.0ha＝100%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重要性</td> <td>地域振興計画との整合性</td> <td>4項目以上 該当</td> <td>5</td> <td>5.00</td> <td>② 市町村農振計画と整合が図られている ③ 経営基盤強化促進法と整合が図られている ④ 市町村の奨励作物を営農計画に位置付けている ⑤ 事業管理計画に記載されている</td> </tr> <tr> <td>中心経営体に占める認定農業者の割合（市町村）</td> <td>75%以上～ 85%未満</td> <td>10</td> <td>8.00</td> <td>遠野市79.3%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">緊急性</td> <td>他事業との関連</td> <td>該当なし</td> <td>10</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>営農上の緊急性</td> <td>7項目以上 該当</td> <td>10</td> <td>10.00</td> <td>① 耕作道が幅員不足 ② 畦畔が低く深水管理が出来ない ③ 排水機能の不備により湿地化 ④ 排水路が断面不足 ⑤ 用水の漏水あり ⑥ 用水確保が不安定 ⑦ 施設の維持管理費が増加傾向 ⑧ 耕作放棄地が増加傾向</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率性</td> <td>費用便益比（B/C）</td> <td>1.09以上</td> <td>10</td> <td>10.00</td> <td>1.26</td> </tr> <tr> <td>10aあたり事業費</td> <td>2,200千円以上</td> <td>10</td> <td>2.00</td> <td>3,861千円/10a</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">熟度</td> <td>同意率</td> <td>99%以上</td> <td>10</td> <td>10.00</td> <td>57人/57人＝100%（仮同意）</td> </tr> <tr> <td>推進組織の活動状況</td> <td>非常に積極的</td> <td>5</td> <td>5.00</td> <td>・ 地区に幅広い団体が構成された推進組織があり、強力なリーダーのもと、組織の役割分担が明確化するなど体制が充実している。 ・ 定期的な会合がもたれ、積極的な推進活動が行われている。 （非常に積極的）</td> </tr> <tr> <td>市町村の支援体制</td> <td>積極的</td> <td>5</td> <td>3.75</td> <td>・ ガイドライン通り、財政支援が行われている。 ・ 説明会等（同意取得、用地交渉、説明会等）には、ほぼ参加し支援を行っている。 ・ 市町村の支援体制（担当部署、担当者等）が明確になっている。 （積極的）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td></td> <td>100</td> <td>75.00</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。</p>						評価指標	区分	配点	評点	備 考	必要性	水田の生産性（市町村）	優 （2項目該当）	15	11.25	① 1等米比率が県平均以上（97.7%≧県平均96.5%） ④ 水田経営体のうち認定農業者の割合が県平均以上（16.5%≧12.3%）	地区担い手の農地集積目標	65%以上	10	10.00	全体目標 36.0ha/36.0ha＝100%	重要性	地域振興計画との整合性	4項目以上 該当	5	5.00	② 市町村農振計画と整合が図られている ③ 経営基盤強化促進法と整合が図られている ④ 市町村の奨励作物を営農計画に位置付けている ⑤ 事業管理計画に記載されている	中心経営体に占める認定農業者の割合（市町村）	75%以上～ 85%未満	10	8.00	遠野市79.3%	緊急性	他事業との関連	該当なし	10	0		営農上の緊急性	7項目以上 該当	10	10.00	① 耕作道が幅員不足 ② 畦畔が低く深水管理が出来ない ③ 排水機能の不備により湿地化 ④ 排水路が断面不足 ⑤ 用水の漏水あり ⑥ 用水確保が不安定 ⑦ 施設の維持管理費が増加傾向 ⑧ 耕作放棄地が増加傾向	効率性	費用便益比（B/C）	1.09以上	10	10.00	1.26	10aあたり事業費	2,200千円以上	10	2.00	3,861千円/10a	熟度	同意率	99%以上	10	10.00	57人/57人＝100%（仮同意）	推進組織の活動状況	非常に積極的	5	5.00	・ 地区に幅広い団体が構成された推進組織があり、強力なリーダーのもと、組織の役割分担が明確化するなど体制が充実している。 ・ 定期的な会合がもたれ、積極的な推進活動が行われている。 （非常に積極的）	市町村の支援体制	積極的	5	3.75	・ ガイドライン通り、財政支援が行われている。 ・ 説明会等（同意取得、用地交渉、説明会等）には、ほぼ参加し支援を行っている。 ・ 市町村の支援体制（担当部署、担当者等）が明確になっている。 （積極的）	計			100	75.00	
		評価指標	区分	配点	評点	備 考																																																																							
必要性	水田の生産性（市町村）	優 （2項目該当）	15	11.25	① 1等米比率が県平均以上（97.7%≧県平均96.5%） ④ 水田経営体のうち認定農業者の割合が県平均以上（16.5%≧12.3%）																																																																								
	地区担い手の農地集積目標	65%以上	10	10.00	全体目標 36.0ha/36.0ha＝100%																																																																								
重要性	地域振興計画との整合性	4項目以上 該当	5	5.00	② 市町村農振計画と整合が図られている ③ 経営基盤強化促進法と整合が図られている ④ 市町村の奨励作物を営農計画に位置付けている ⑤ 事業管理計画に記載されている																																																																								
	中心経営体に占める認定農業者の割合（市町村）	75%以上～ 85%未満	10	8.00	遠野市79.3%																																																																								
緊急性	他事業との関連	該当なし	10	0																																																																									
	営農上の緊急性	7項目以上 該当	10	10.00	① 耕作道が幅員不足 ② 畦畔が低く深水管理が出来ない ③ 排水機能の不備により湿地化 ④ 排水路が断面不足 ⑤ 用水の漏水あり ⑥ 用水確保が不安定 ⑦ 施設の維持管理費が増加傾向 ⑧ 耕作放棄地が増加傾向																																																																								
効率性	費用便益比（B/C）	1.09以上	10	10.00	1.26																																																																								
	10aあたり事業費	2,200千円以上	10	2.00	3,861千円/10a																																																																								
熟度	同意率	99%以上	10	10.00	57人/57人＝100%（仮同意）																																																																								
	推進組織の活動状況	非常に積極的	5	5.00	・ 地区に幅広い団体が構成された推進組織があり、強力なリーダーのもと、組織の役割分担が明確化するなど体制が充実している。 ・ 定期的な会合がもたれ、積極的な推進活動が行われている。 （非常に積極的）																																																																								
	市町村の支援体制	積極的	5	3.75	・ ガイドライン通り、財政支援が行われている。 ・ 説明会等（同意取得、用地交渉、説明会等）には、ほぼ参加し支援を行っている。 ・ 市町村の支援体制（担当部署、担当者等）が明確になっている。 （積極的）																																																																								
計			100	75.00																																																																									
<p>項目評価 a . b . c</p>																																																																													

事業計画の妥当性	(2) 費用便益分析		
	費用便益分析手法：新たな土地改良の効果算定マニュアル（2015年9月）基準年：令和7年度		
	区 分	金 額 (百 万 円)	備 考
	総費用（現在価値化）(C)	1,139 百万円	
	当該事業による費用	1,052 百万円	
	その他費用（関連＋資産＋再整備）	87 百万円	
	総便益額（現在価値化）(B)	1,446 百万円	
	作物生産効果	239 百万円	
	営農経費節減効果	1,155 百万円	
	維持管理費節減効果	▲ 5 百万円	
	耕作放棄防止効果	3 百万円	
	地籍確定効果	1 百万円	
	国産農産物安定供給効果	53 百万円	
	総費用総便益比 (B/C)	1.26	≥ 1.0
	(3) 関連する開発プロジェクト等の状況		
	・特になし		
	(4) コスト縮減対策の取り組み状況		
	<ul style="list-style-type: none"> ・パイプライン工について、舗装道路下への埋設を回避し、路肩や溝畔に埋設する。 ・道路工の敷砂厚については、最小限必要な厚さ10cmとし再生砕石を使用する。 ・パイプラインの国道横断2箇所において、新設ではなく、既設管をさや管として利用する。 ・区画整理において、用排水整備含むフルセット型の整備ではなく、アラカルト整備（整地のみ）を採用することによる縮減。 		
	(5) 代替案の比較検討結果		
	<p>本事業は、水田の大区画化や汎用化、用排水路の整備を行うことにより、大型機械の導入を可能とするなど農業の生産条件の向上を図るものである。</p> <p>また、農地を団地化することにより農地集積・集約化を促進し、担い手の確保・育成を図るとともに、安定した所得確保により意欲ある経営体を支援するものである。</p> <p>このように「農業生産基盤の整備」と「経営体の育成」は相互に関連しているため一体的に推進することが必要であり、本事業は「農業生産基盤の整備」と「経営体の育成」を一体的に推進する事業として最も費用対効果が高い事業であることから選定するものである。</p>		

(1) 総合評価

総合評価	AA ・ A ・ B ・ C
------	----------------

(事業名)経営体育成基盤整備事業 平野原地区

着手 年度	完了予 定年度	事業費 (百万円)	自然環 境等 の状 況に 係る 評 価 結 果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R08	R15	1,390	a	75.00	b	1.26

○総合評価に係るコメント

・本地区は、稲作を中心とした水田地帯であり、本事業により、農地の区画拡大や農道、用排水路を整備し、大型機械の導入と効率的な用排水管理が可能となる。担い手への農地集積により、農業生産コストの低減と効率的な営農の確立に寄与するものである。また、農地の汎用化に伴い、高収益作物の新たな導入及び規模拡大が可能となり、地域全体の収益向上に資するものである。

・「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価とし、また「事業計画の妥当性」については、評価指標の評点の合計が60点以上80点未満となっていることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。

・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案の有無等を総合的に検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、本事業の実施が妥当であると判断した。

(2) その他特記事項

特になし。

総
合
評
価

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和7年10月3日作成

事業名	経営体育成基盤整備事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部 農村計画課
路線名等	—	地区名	うわのはら 上野原	市町村 奥州市
事業概要	〔事業根拠法令等：土地改良法〕			
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題</p> <p>本地区は、水稻を中心とした経営が行われているが、ほ場が10a程度と小区画で湿田なうえ、農道の幅員も狭いために大型機械の導入が妨げられており、担い手への農地利用集積を阻害する要因となっている。</p> <p>また、農業用排水施設は用排水兼用の土水路であることから、安定的な用水確保に多大な維持管理労力を要しているほか、水路底が浅く農地の排水が不十分なため、水田の汎用化が困難な状況となっている。</p> <p>○整備によって得られる効果</p> <p>標準区画50～1haを中心とした区画整理を実施することにより、大型機械の導入による効率的な営農が可能となることから、整備後は農地利用集積が促進され経営規模の拡大による担い手の経営の安定化が図られる。</p> <p>また、用排水路の分離により農地の排水改良と汎用化が図られることから、高収益作物であるきゅうりやピーマンの作付け面積の拡大が可能となり、地域全体の収益向上が図られる。</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>区画整理 94.9ha</p> <p>(3) 整備目標等</p> <p>いわて県民計画(2019～2028) 第2期アクションプランー政策推進プランー(令和5年度～令和8年度)</p> <p>VI 仕事・収入</p> <p>37 収益力の高い「食料・木材供給基地」をつくります。</p> <p>④ 生産基盤の着実な整備</p> <p>水田整備面積：【令和3年】15,814ha → 【令和8年】17,300ha</p> <p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <p>○事業計画期間 : 令和8年度～令和17年度</p> <p>(用地着手予定年度 : 令和9年度、工事着手予定年度 : 令和10年度)</p> <p>○総事業費 : 3,465百万円</p>			
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 全国の状況</p> <p>国では、令和7年9月に「土地改良長期計画」(計画期間：令和7～11年度)が閣議決定され、「食と暮らしを支える水と土の未来のために」を基本理念とし、4つの政策課題が掲げられた。</p> <p>その中の、政策課題1「生産性向上等に向けた生産基盤の強化」に向けてでは、農地の集積・集約化及びスマート農業の推進に向けた基盤整備による生産コストの低減や、国内の需要等を踏まえた生産の拡大などにより、農業経営の安定化や担い手の育成・確保等を図っていくこととしている。</p> <p>(2) 本県内の状況</p> <p>県では、平成31年3月に公表した「いわて県民計画(2019～2028)」において、意欲と能力のある経営体を育成し農業振興を図るとともに、収益力の高い「食料供給基地」と一人ひとりにあった暮らし方ができる農村をつくるため、水田の大区画化や排水改良、農業水利施設の長寿命化対策など生産基盤の着実な整備を進めることとしている。</p> <p>(3) 施工地域における状況</p> <p>本地区では、農業従事者の高齢化及び担い手不足に対応するため、新たに設立する法人及び個人担い手への農地利用集積を進めることとしている。</p> <p>また、高収益作物であるきゅうりやピーマンの作付に取り組み、地域全体の収益向上を図りながら、持続可能な営農を展開することとしている。</p>			

自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分 ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 B ・希少野生動植物の生息の有無 有 ・埋蔵文化財包蔵地の有無 有 県レッドデータブックBランクの種が生息 9遺跡（養ヶ森遺跡、養ヶ森A遺跡、上ノ原遺跡、狐石遺跡、赤坂Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ遺跡、前沢城遺跡、陣場遺跡）を確認					
	(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費 事業実施に当たっては、広域振興局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進める。 ① 動物に対する配慮 対象動物について、移動が可能なものについては隣接地の類似箇所に移動させる。 ② 植物に対する配慮 対象植物について、近傍で同種の植物が自生している場所に移植する。 ③ 埋蔵文化財への対応 岩手県教育委員会と分布調査等の協議を実施済。試掘調査を実施し、慎重工事及び工事着手可の回答有り。 ○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 項目評価 a . b . c </div>						
事業計画の妥当性	(1) 事業に関する指標からみた評価					
		評価指標	区分	配点	評点	備 考
	必要性	水田の生産性（市町村）	優 （2項目該当）	15	11.25	②米の単収が県平均以上（550.6kg/10a≧545.2kg/10a） ③経営体の水田耕地利用率が県平均以上（85%≧81%）
		地区担い手の農地集積目標	65%以上	10	10.00	全体目標 95.8ha/111.2ha＝86.2%
	重要性	地域振興計画との整合性	4項目以上該当	5	5.00	②市町村農振計画と整合が図られている ③経営基盤強化促進法と整合が図られている ④市町村の奨励作物を営農計画に位置付けている ⑤事業管理計画に記載されている
		中心経営体に占める認定農業者の割合（市町村）	75%以上～85%未満	10	8.00	奥州市84.1%
	緊急性	他事業との関連	該当なし	10	0	
		営農上の緊急性	7項目以上該当	10	10.00	①耕作道が幅員不足 ②畦畔が低く深水管理が出来ない ③排水機能の不備により湿田化 ④排水路が断面不足 ⑤用水の漏水あり ⑦施設の維持管理費が増加傾向 ⑧耕作放棄地が増加傾向
	効率性	費用便益比（B/C）	1.09以上	10	10.00	1.27
		10aあたり事業費	2,200千円以上	10	2.00	3,116千円/10a
	熟度	同意率	99%以上	10	10.00	217人/217人＝100%（仮同意）
		推進組織の活動状況	非常に積極的	5	5.00	・地区に幅広い団体で構成された推進組織があり、強力なリーダーのもと、組織の役割分担が明確化するなど体制が充実している。 ・定期的な会合がもたれ、積極的な推進活動が行われている。 （非常に積極的）
		市町村の支援体制	積極的	5	3.75	・ガイドライン通り、財政支援が行われている。 ・説明会等（同意取得、用地交渉、説明会等）には、ほぼ参加し支援を行っている。 ・市町村の支援体制（担当部署、担当者等）が明確になっている。 （積極的）
		計		100	75.00	
	○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 項目評価 a . b . c </div>						

事業計画の妥当性

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法：新たな土地改良の効果算定マニュアル（2015年9月）基準年：令和7年度

区 分	金 額 (百 万 円)	備 考
総費用（現在価値化）(C)	3,734 百万円	
当該事業による費用	2,452 百万円	
その他費用（関連+資産+再整備）	1,282 百万円	
総便益額（現在価値化）(B)	4,748 百万円	
作物生産効果	1,344 百万円	
営農経費節減効果	3,181 百万円	
維持管理費節減効果	▲ 48 百万円	
耕作放棄防止効果	1 百万円	
国産農産物安定供給効果	270 百万円	
総費用総便益比(B/C)	1.27	≧ 1.0

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

該当なし

(4) コスト縮減対策の取り組み状況

・パイプライン工について、舗装道路下への埋設を回避し、路肩や溝畔に埋設する。

・道路工の敷砂厚については、最小限必要な厚さ10cmとし再生砕石を使用する。

・排水計画の見直しに伴う既設排水路等の活用により、排水フリューム新設費用を縮減。

(5) 代替案の比較検討結果

本事業は、水田の大区画化や汎用化、用排水路の整備を行うことにより、大型機械の導入を可能とするなど農業の生産条件の向上を図るものである。

また、農地を団地化することにより農地集積・集約化を促進し、担い手の確保・育成を図るとともに、安定した所得確保により意欲ある経営体を支援するものである。

このように「農業生産基盤の整備」と「経営体の育成」は相互に関連しているため一体的に推進することが必要であり、本事業は「農業生産基盤の整備」と「経営体の育成」を一体的に推進する事業として最も費用対効果が高い事業であることから選定するものである。

総合評価

総合評価

AA

・

A

・

B

・

C

(事業名)経営体育成基盤整備事業

上野原地区

着手 年度	完了予 定年度	事業費 (百万円)	自然環 境等 の状 況に 係る 評 価 結 果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R08	R17	3,465	a	75.00	b	1.27

○総合評価に係るコメント

・本地区は、稲作を中心とした水田地帯であり、本事業により、農地の区画拡大や農道、用排水路を整備し、大型機械の導入と効率的な用排水管理が可能となる。担い手への農地集積により、農業生産コストの低減と効率的な営農の確立に寄与するものである。また、農地の汎用化に伴い、高収益作物の新たな導入及び規模拡大が可能となり、地域全体の収益向上に資するものである。

・「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価とし、また「事業計画の妥当性」については、評価指標の評点の合計が60点以上80点未満となっていることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。

・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案の有無等を総合的に検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、本事業の実施が妥当であると判断した。

(2) その他特記事項

特になし。

総合評価

16

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの)

令和7年10月3日作成

事業名	農村地域防災減災事業 (防災ダム整備事業)	補助・単独	担当部課名	農林水産部 農村計画課
路線名等	-	地区名	ころもかわ 衣川	市町村 奥州市
事業概要	〔事業根拠法令等：土地改良法〕			
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 衣川防災ダム群は、衣川流域の農地等を洪水の被害から未然に防止することを目的として昭和25年度から平成9年度に建設された施設である。平成19年度から平成28年度には、ダム管理システムの一部更新、5号ダムの堤体部分改修及び1号から3号ダムのゲート扉体の塗装等を実施したものの、近年、ダム管理システム及び2号ダムの洪水吐の開閉装置等の機能が著しく低下し適正なダム管理に支障をきたしている。このまま放置した場合、ダムが決壊し下流の農地・農業用施設等に多大の被害を与えることが想定されるため、早急に整備する必要がある。</p> <p>○整備によって得られる効果 ダム管理システムの更新等により下流農地・農業用施設、周辺の民家、幹線道路、公共施設等の災害を未然に防止する。</p> <p>(2) 事業内容 ダム管理システム更新1式、洪水吐ゲート改修1式</p> <p>(3) 整備目標等 —</p> <p>(4) 事業計画期間及び総事業費 ○事業計画期間：令和8年度～令和15年度 (用地着手予定年度：該当なし、工事着手予定年度：令和9年度) ○総事業費：1,540百万円</p>			
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 全国の状況 国では、令和7年9月に「土地改良長期計画」(計画期間：令和7～11年度)が閣議決定され、「食と暮らしを支える水と土の未来のために」を基本理念とし、4つの政策課題が掲げられた。 その中の、政策課題3「増大する災害リスクに対応するための農業・農村の強靱化」に向けてでは、気候変動等により激甚化・頻発化する災害に対応した防災・減災対策の推進として、防災重点農業用ため池の防災工事の集中的かつ計画的な推進や、湛水被害等の防止を進めることとし、各種防災対策を実施していくこととしている。</p> <p>(2) 本県内の状況 県では、平成31年3月に公表した「いわて県民計画(2019～2028)」において、台風等による被害が頻発する中、自然災害等に強い農山漁村づくりを推進していくため、農業水利施設や治山施設、海岸保全施設、漁港施設の着実な整備と、ハザードマップの作成支援などの市町村や地域住民と連携した防災・減災対策を推進することとしている。</p> <p>(3) 施工地域における状況 本ダム群は、ダム管理システム及び2号ダムの洪水吐の開閉装置等の機能が著しく低下し適正なダム管理に支障をきたしている。 このまま放置した場合、ダムが決壊し下流の農地・農業用施設等に多大の被害を与えることが想定されるため、早急に整備する必要がある。</p>			

自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分 ・ 岩手県自然環境保全指針による保全区分 D ・ 希少野生動植物の生息の有無 無 ・ 埋蔵文化財包蔵地の有無 無					
	(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費 事業実施に当たっては、広域振興局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進める。 ① 動物に対する配慮 今後対象動物が確認された場合、移動が可能なものについては近隣の類似箇所に移動させる。 ② 植物に対する配慮 今後対象植物が確認された場合、近隣で同種の植物が自生している場所に移植する。 ○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。					
		項目評価			a . b . c	
事業計画の妥当性	(1) 事業に関する指標からみた評価					
		評価指標	区分	配点	評点	備 考
	必要性	受益面積	0.5以上～0.75未満	10	6.00	受益面積780ha/事業1,540百万円=0.51
		被害想定額	1.6以上	10	10.00	想定被害額65,613百万円/事業費1,540百万円=42.6
	重要性	公共、保全施設の有無	3以上	10	10.00	県道、市道、小学校、中学校など
		岩手県地域防災計画との整合性	有る	10	10.00	「岩手県地域防災計画」第2章災害予防計画、第13節風水害予防計画に掲載有
	緊急性	関連事業の有無	なし	10	0.00	なし
		施設危険度	大	20	15.00	ダム管理システム不具合洪水吐開閉装置故障
	効率性	費用便益比	1.09以上	20	20.00	総便益115,375百万円/総費用27,411百万円=4.20
	熟度	同意率	99%以上	5	5.00	急施の事業（防災）に該当するため非申請により実施することについて地元調整済である。
		市町村の支援体制	積極的	5	3.75	・説明会に参加し支援を行っている。 ・支援体制が明確になっている。 (積極的)
	計			100	79.75	
	○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。					
	項目評価				a . b . c	

事業計画の妥当性	(2) 費用便益分析		
	費用便益分析手法:新たな土地改良の効果算定マニュアル(2015年9月)		
	基準年:令和6年度		
	区 分	金 額 (百 万 円)	備 考
	総費用(現在価値化)(C)	27,411 百万円	
	当該事業による費用	1,213 百万円	
	その他費用(関連+資産+再整備)	26,198 百万円	
	総便益額(現在価値化)(B)	115,375 百万円	
	作物生産効果	百万円	
	営農経費節減効果	百万円	
	維持管理費節減効果	▲ 348 百万円	
	災害防止効果(農業資産)	85,267 百万円	
	災害防止効果(公共資産)	30,456 百万円	
	国産農産物安定供給効果	百万円	
	総費用総便益比(B/C)	4.20	≥ 1.0
	(3) 関連する開発プロジェクト等の状況		
	特になし。		
	(4) コスト縮減対策の取り組み状況		
	ダム管理システム更新において、更新後の機器操作や管理の合理化に向け、機器の統合整備を積極的に行い、コスト縮減を図る。		
	(5) 代替案の比較検討結果		
	本事業は、ダム管理システムの更新等により下流農地・農業用施設等の災害を未然に防止するものであり、代替案はない。		

(1) 総合評価

総合評価	AA ・ A ・ B ・ C
------	----------------

(事業名)農村地域防災減災事業 衣川地区

着手 年度	完了予 定年度	事業費 (百万円)	自然環 境等 の状 況に 係る 評 価 結 果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R08	R15	1,540	a	79.75	b	4.20

○総合評価に係るコメント

・本事業を行わない場合、ダムが決壊し下流の農地・農業用施設等に多大の被害を与えることが想定されるため、早急に整備する必要がある。

・「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価、また「事業計画の妥当性」については、評価指標の評定の合計が60点以上80点未満となっていることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。

・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、本事業の実施が妥当であると判断したものである。

(2) その他特記事項

特になし。

総
合
評
価

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの)

令和7年10月3日作成

事業名	農村地域防災減災事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部 農村計画課
路線名等	-	地区名	おおや大屋	市町村 陸前高田市
事業概要	〔事業根拠法令等：土地改良法〕			
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 本地区は、大屋ため池及び田中ため池の2つの防災重点農業用ため池が対象となっており、下流域の農地8.2haの取水源であるが、令和3年に耐震性能照査を実施した結果、レベル1地震動に対する安全性が確保されておらず、地震動による決壊の恐れが判明した。今後、地震により決壊した場合、下流の農地や農業水利施設、民家、公共施設等に被害を生じさせるおそれがあることから早急な対策が必要となっている。</p> <p>○整備によって得られる効果 堤体等の整備を行うことにより、農地・農業用施設及び民家への被害を未然に防止することができるとともに、ため池の機能が維持され、農業用水の安定供給により農業の持続的発展に大きく寄与する。</p> <p>(2) 事業内容 ため池改修 1式</p> <p>(3) 整備目標等 いわて県民計画(2019～2028)第2期アクションプランー政策推進プランー(令和5年度～令和8年度) VI 仕事・収入 39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります ③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進 農業用ため池の機能診断実施箇所数 【令和3年】113箇所 → 【令和8年】163箇所</p> <p>(4) 事業計画期間及び総事業費 ○事業計画期間 : 令和8年度～令和12年度 (用地着手予定年度：令和8年度、工事着手予定年度：令和9年度) ○総事業費 : 208百万円</p>			
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 全国の状況 国では、令和7年9月に「土地改良長期計画」(計画期間：令和7～11年度)が閣議決定され、「食と暮らしを支える水と土の未来のために」を基本理念とし、4つの政策課題が掲げられた。 その中の、政策課題3「増大する災害リスクに対応するための農業・農村の強靱化」に向けてでは、気候変動等により激甚化・頻発化する災害に対応した防災・減災対策の推進として、防災重点農業用ため池の防災工事の集中的かつ計画的な推進や、湛水被害等の防止を進めることとし、各種防災対策を実施していくこととしている。</p>			
	<p>(2) 本県内の状況 県では、平成31年3月に公表した「いわて県民計画(2019～2028)」において、台風等による被害が頻発する中、自然災害等に強い農山漁村づくりを推進していくため、農業水利施設や治山施設、海岸保全施設、漁港施設の着実な整備と、ハザードマップの作成支援などの市町村や地域住民と連携した防災・減災対策を推進することとしている。 また、令和3年3月、国が定める「防災工事等基本指針」に基づき「防災重点農業用ため池」を指定し、「防災工事等推進計画(R3～R12)」を策定、劣化状況調査及び耐震・豪雨耐性評価を進めるとともに、補強対策が必要なため池の防災工事をすすめる、国土強靱化に寄与することとしている。</p> <p>(3) 施工地域における状況 本ため池は、令和3年に耐震性能照査を実施した結果、レベル1地震動に対する安全性が確保されておらず、地震動による決壊の恐れが判明した地震によるため池の決壊により、下流の農地や農業水利施設、民家、公共施設等に被害を生じさせるおそれがあるとともに、用水供給の不安定化による農業生産への影響が懸念されることから、早期改修を望まれているものである。</p>			

自然環境等の状況	<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 B ・希少野生動植物の生息の有無 有 県レッドデータブックランクCランクの種が生息 ・埋蔵文化財包蔵地の有無 無 <p>(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <p>事業実施に当たっては、広域振興局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進める。</p> <p>① 動物に対する配慮 今後対象動物が確認された場合、移動が可能なものについては近隣の類似箇所に移動させる。</p> <p>② 植物に対する配慮 今後対象植物が確認された場合、近隣で同種の植物が自生している場所に移植する。</p> <p>○ <u>自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</u></p>					
	<div style="text-align: right;">項目評価 a . b . c</div>					
事業計画の妥当性	(1) 事業に関する指標からみた評価					
		評価指標	区分	配点	評点	備 考
	必要性	受益面積	0.25未満	10	2.00	受益面積8.2ha/事業費208百万円=0.04
		被害想定額	1.0以上～1.3未満	10	5.00	想定被害額247百万円/事業費208百万円=1.19
	重要性	公共、保全施設の有無	3以上	10	10.00	小学校、倉庫、市道あり
		岩手県地域防災計画との整合性	有る	10	10.00	「岩手県地域防災計画」第2章災害予防計画、第13節風水害予防計画に掲載有
	緊急性	関連事業の有無	なし	10	0.00	なし
		施設危険度	大	20	15.00	【地震時】常時満水位 後法面 大屋ため池 0.91<1.2…NG 田中ため池 0.86<1.2…NG
	効率性	費用便益比	1.09以上	20	20.00	総便益335百万円/総費用151百万円=2.21
	熟度	同意率	99%以上	5	5.00	ため池特措法に基づく防災重点農業用ため池の防災工事のため非申請により実施することについて地元調整済である。
		市町村の支援体制	積極的	5	3.75	・ガイドライン通りに負担している。 ・説明会に参加し支援を行っている。 ・支援体制が明確になっている。 (積極的)
	計			100	70.75	
	○ <u>事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。</u>					
	<div style="text-align: right;">項目評価 a . b . c</div>					

事業計画の妥当性

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法: 新たな土地改良の効果算定マニュアル (2015年9月)

基準年: 令和7年度

区 分	金 額 (百 万 円)	備 考
総費用 (現在価値化) (C)	151 百万円	
当該事業による費用	165 百万円	
その他費用 (関連+資産+再整備)	▲ 14 百万円	
総便益額 (現在価値化) (B)	335 百万円	
作物生産効果	99 百万円	
営農経費節減効果	▲ 6 百万円	
維持管理費節減効果	▲ 2 百万円	
災害防止効果 (農業資産)	72 百万円	
災害防止効果 (一般資産)	97 百万円	
災害防止効果 (公共資産)	50 百万円	
国産農産物安定供給効果	25 百万円	
総費用総便益比 (B/C)	2.21	≧ 1.0

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

特になし。

(4) コスト縮減対策の取り組み状況

ため池改修の工法選定において、施工性と経済性に優れる表面遮水型 (ベントナイト系表面遮水シート工法) を採用する。

(5) 代替案の比較検討結果

地域の営農に必要な用水源を確保しながら、災害を未然に防止する手法は、既存堤体を改修する以外にない。

なお、新たにため池を整備することは、本計画と比較して経済面で劣っている点や事業の長期化を招くため、現計画が適当であると判断した。

総合評価	(1) 総合評価						
	総合評価			AA・A・B・C			
	(事業名)農村地域防災減災事業 大屋地区						
	着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	自然環境等の 状況に係る評価結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
					評価点数	評価結果	
	R08	R12	208	a	70.75	b	2.21
	○総合評価に係るコメント						
	・本ため池が決壊した場合には、流域の農地・農業用施設のみならず人家等に被害を及ぼす危険性があることから、早急な対策の実施が求められている。						
	・「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価、また「事業計画の妥当性」については、評価指標の評定の合計が60点以上80点未満となっていることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。						
	・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、本事業の実施が妥当であると判断したものである。						
(2) その他特記事項							
特になし。							

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの)

令和7年10月3日作成

事業名	農村地域防災減災事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部 農村計画課
路線名等	-	地区名	こまぎの 駒木野	市町村 雫石町
事業概要	〔事業根拠法令等：土地改良法〕			
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 本地区は、昭和40年代に国営事業により設置され、昭和50年代に実施した県営事業により頭首工を改築し、農業用水を供給している。 経年劣化のほか、過年度の台風等の洪水被害により、頭首工下流側の護床工の流出及び護岸工の損壊が発生している。施設機能が低下していることから、自然災害等による護岸及び護床の損壊により、付近の農地や農業用施設等に被害を生じさせる恐れがあることから、河川管理者から工作物の機能が回復するよう早急な措置を求められているもの。</p> <p>○整備によって得られる効果 頭首工の護岸及び護床の改修により、河岸の崩壊等の災害を未然に防止する。</p> <p>(2) 事業内容 護床工 30m、護岸工 15m</p> <p>(3) 整備目標等 —</p> <p>(4) 事業計画期間及び総事業費 ○事業計画期間 : 令和8年度～令和11年度 (用地着手予定年度：令和8年度、工事着手予定年度：令和9年度) ○総事業費 : 383百万円</p>			
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 全国の状況 国では、令和7年9月に「土地改良長期計画」(計画期間：令和7～11年度)が閣議決定され、「食と暮らしを支える水と土の未来のために」を基本理念とし、4つの政策課題が掲げられた。 その中の、政策課題3「増大する災害リスクに対応するための農業・農村の強靱化」に向けては、気候変動等により激甚化・頻発化する災害に対応した防災・減災対策の推進として、防災重点農業用ため池の防災工事の集中的かつ計画的な推進や、湛水被害等の防止を進めることとし、各種防災対策を実施していくこととしている。</p> <p>(2) 本県内の状況 県では、平成31年3月に公表した「いわて県民計画(2019～2028)」において、台風等による被害が頻発する中、自然災害等に強い農山漁村づくりを推進していくため、農業水利施設や治山施設、海岸保全施設、漁港施設の着実な整備と、ハザードマップの作成支援などの市町村や地域住民と連携した防災・減災対策を推進することとしている。</p> <p>(3) 施工地域における状況 本施設は、昭和40年代に国営事業により設置され、昭和50年代に実施した県営事業により頭首工を改築し、農業用水を供給しているが、経年劣化のほか、過年度の台風等の洪水被害により、頭首工下流側の護床工の流出及び護岸工の損壊が発生している。施設機能が低下していることから、自然災害等による護岸及び護床の損壊により、付近の農地や農業用施設等に被害を生じさせる恐れがあることから、河川管理者から工作物の機能が回復するよう早急な措置を求められている。</p>			

自然環境等の状況		<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県自然環境保全指針による保全区分 B ・ 希少野生動植物の生息の有無 有 県レッドデータブックCランクの種が生息 ・ 埋蔵文化財包蔵地の有無 無 <p>(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <p>事業実施に当たっては、広域振興局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進める。</p> <p>① 動物に対する配慮 今後対象動物が確認された場合、移動が可能なものについては近隣の類似箇所に移動させる。</p> <p>② 植物に対する配慮 今後対象植物が確認された場合、近隣で同種の植物が自生している場所に移植する。</p> <p>○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</p>																																																														
	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">項目評価</div> a . b . c																																																															
事業計画の妥当性		<p>(1) 事業に関する指標からみた評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価指標</th> <th>区分</th> <th>配点</th> <th>評点</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">必要性</td> <td>受益面積</td> <td>0.5以上 0.75未満</td> <td>10</td> <td>6.00</td> <td>受益面積213.5ha/事業費383百万円=0.56</td> </tr> <tr> <td>被害想定額</td> <td>1.0未満</td> <td>10</td> <td>2.50</td> <td>想定被害額222百万円/事業費383百万円=0.58</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">重要性</td> <td>公共、保全施設の有無</td> <td>3以上</td> <td>10</td> <td>10.00</td> <td>農業用施設、人家、事業所、町道等あり</td> </tr> <tr> <td>岩手県地域防災計画との整合性</td> <td>無い</td> <td>10</td> <td>0.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">緊急性</td> <td>関連事業の有無</td> <td>なし</td> <td>10</td> <td>0.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>施設危険度</td> <td>非常に大</td> <td>20</td> <td>20.00</td> <td>護床及び護岸の損壊が発生しており、施設機能が低下していることから、頭首工の決壊により災害の発生する可能性が非常に高い。</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">効率性</td> <td>費用便益比</td> <td>1.09以上</td> <td>20</td> <td>20.00</td> <td>4.17</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">熟度</td> <td>同意率</td> <td>99%以上</td> <td>5</td> <td>5.00</td> <td>100%（施設管理者による同意）</td> </tr> <tr> <td>市町村の支援体制</td> <td>普通</td> <td>5</td> <td>2.50</td> <td>・ ガイドライン通りに負担している。 ・ 説明会には参加する。 (普通)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td></td> <td>100</td> <td>66.00</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。</p>	評価指標		区分	配点	評点	備 考	必要性	受益面積	0.5以上 0.75未満	10	6.00	受益面積213.5ha/事業費383百万円=0.56	被害想定額	1.0未満	10	2.50	想定被害額222百万円/事業費383百万円=0.58	重要性	公共、保全施設の有無	3以上	10	10.00	農業用施設、人家、事業所、町道等あり	岩手県地域防災計画との整合性	無い	10	0.00		緊急性	関連事業の有無	なし	10	0.00		施設危険度	非常に大	20	20.00	護床及び護岸の損壊が発生しており、施設機能が低下していることから、頭首工の決壊により災害の発生する可能性が非常に高い。	効率性	費用便益比	1.09以上	20	20.00	4.17	熟度	同意率	99%以上	5	5.00	100%（施設管理者による同意）	市町村の支援体制	普通	5	2.50	・ ガイドライン通りに負担している。 ・ 説明会には参加する。 (普通)	計			100	66.00	
	評価指標		区分	配点	評点	備 考																																																										
必要性	受益面積	0.5以上 0.75未満	10	6.00	受益面積213.5ha/事業費383百万円=0.56																																																											
	被害想定額	1.0未満	10	2.50	想定被害額222百万円/事業費383百万円=0.58																																																											
重要性	公共、保全施設の有無	3以上	10	10.00	農業用施設、人家、事業所、町道等あり																																																											
	岩手県地域防災計画との整合性	無い	10	0.00																																																												
緊急性	関連事業の有無	なし	10	0.00																																																												
	施設危険度	非常に大	20	20.00	護床及び護岸の損壊が発生しており、施設機能が低下していることから、頭首工の決壊により災害の発生する可能性が非常に高い。																																																											
効率性	費用便益比	1.09以上	20	20.00	4.17																																																											
熟度	同意率	99%以上	5	5.00	100%（施設管理者による同意）																																																											
	市町村の支援体制	普通	5	2.50	・ ガイドライン通りに負担している。 ・ 説明会には参加する。 (普通)																																																											
計			100	66.00																																																												
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">項目評価</div> a . b . c																																																																

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:新たな土地改良の効果算定マニュアル(2015年9月)

基準年:令和7年度

区 分	金 額 (百 万 円)	備 考
総費用(現在価値化)(C)	603 百万円	
当該事業による費用	317 百万円	
その他費用(関連+資産+再整備)	286 百万円	
総便益額(現在価値化)(B)	2,518 百万円	
作物生産効果	1,589 百万円	
維持管理費節減効果	▲ 15 百万円	
災害防止効果(農業資産)	170 百万円	
災害防止効果(公共資産)	49 百万円	
災害防止効果(一般資産)	385 百万円	
国産農産物安定供給効果	340 百万円	
総費用総便益比(B/C)	4.17	≥ 1.0

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

特になし。

(4) コスト縮減対策の取り組み状況

流出護床ブロックの河床復旧材としての再利用を行い、産業廃棄物処分費用及び河床材の費用を縮減。

(5) 代替案の比較検討結果

地域の営農に必要な用水源を確保しながら、治水上影響も与えず、災害を未然に防止する手法は、既存施設を改修する以外にない。
よって、現計画が適当であると判断した。

総合評価

総合評価

AA

・

A

・

B

・

C

(事業名)農村地域防災減災事業 駒木野地区

着手 年度	完了予 定年度	事業費 (百万円)	自然環 境等 の 状 況 に 係 る 評 価 結 果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R08	R11	383	a	66.00	b	4.17

○総合評価に係るコメント

・本施設の決壊が発生した場合には、流域の農地・農業用施設等に被害を及ぼす危険性があることから、早急な対策の実施が求められている。

・「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価、また「事業計画の妥当性」については、評価指標の評定の合計が60点以上80点未満となっていることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。

・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、本事業の実施が妥当であると判断したものである。

(2) その他特記事項

特になし。

28

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの)

令和7年10月3日作成

事業名	農村地域防災減災事業	(補助)・単独	担当部課名	農林水産部 農村計画課
路線名等	-	地区名	たにないだいの 谷内第2号	市町村 花巻市
事業概要	〔事業根拠法令等：土地改良法〕			
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 本地区は、昭和34年から昭和45年にかけて実施した国営事業で築造され、田瀬ダムを水源として農業用水を供給している。 令和5年の通水期間中に、本施設の吐口付近から漏水事故が発生し、法面の土砂とともに、隣接する一級河川毒沢川に用水が流入した。応急対策を施し、漏水は解消されたものの、部分的な補修であり、再度、漏水事故が発生する可能性があり、下流の農地や農業用施設等等への被害も懸念され、河川管理者及び地元から、早期対応を望まれているものである。</p> <p>○整備によって得られる効果 管路の改修により、河岸の崩壊等の災害を未然に防止する。</p> <p>(2) 事業内容 管路更生工 0.1km</p> <p>(3) 整備目標等 —</p>			
社会経済情勢等の状況	<p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <p>○事業計画期間：令和8年度～令和10年度 (用地着手予定年度：令和8年度、工事着手予定年度：令和9年度)</p> <p>○総事業費：157百万円</p>			
	<p>(1) 全国の状況</p> <p>国では、令和7年9月に「土地改良長期計画」(計画期間：令和7～11年度)が閣議決定され、「食と暮らしを支える水と土の未来のために」を基本理念とし、4つの政策課題が掲げられた。 その中の、政策課題3「増大する災害リスクに対応するための農業・農村の強靱化」に向けては、気候変動等により激甚化・頻発化する災害に対応した防災・減災対策の推進として、防災重点農業用ため池の防災工事の集中的かつ計画的な推進や、湛水被害等の防止を進めることとし、各種防災対策を実施していくこととしている。</p> <p>(2) 本県内の状況</p> <p>県では、平成31年3月に公表した「いわて県民計画(2019～2028)」において、台風等による被害が頻発する中、自然災害等に強い農山漁村づくりを推進していくため、農業水利施設や治山施設、海岸保全施設、漁港施設の着実な整備と、ハザードマップの作成支援などの市町村や地域住民と連携した防災・減災対策を推進することとしている。</p> <p>(3) 施工地域における状況</p> <p>本施設は、令和5年の通水期間中にサイホン吐口付近から漏水事故が発生し、法面の土砂とともに、隣接する一級河川毒沢川に用水が流入した。応急対策を施し、漏水は解消されたものの、流域の農地や農業用施設等等への被害も懸念され、河川管理者及び地元から、早期対応を望まれているものである。</p>			

自然環境等の状況	<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 D ・希少野生動植物の生息の有無 無 ・埋蔵文化財包蔵地の有無 無 <p>(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <p>事業実施に当たっては、広域振興局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進める。</p> <p>① 動物に対する配慮 今後対象動物が確認された場合、移動が可能なものについては近隣の類似箇所に移動させる。</p> <p>② 植物に対する配慮 今後対象植物が確認された場合、近隣で同種の植物が自生している場所に移植する。</p> <p>○ <u>自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</u></p>																																																																			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 項目評価 a . b . c </div>																																																																			
事業計画の妥当性	<p>(1) 事業に関する指標からみた評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価指標</th> <th>区分</th> <th>配点</th> <th>評点</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">必要性</td> <td>受益面積</td> <td>0.25未満</td> <td>10</td> <td>2.00</td> <td>受益面積30.4ha/事業費157百万円=0.19</td> </tr> <tr> <td>被害想定額</td> <td>1.0以上～1.3未満</td> <td>10</td> <td>5.00</td> <td>想定被害額180百万円/事業費157百万円=1.15</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">重要性</td> <td>公共、保全施設の有無</td> <td>3以上</td> <td>10</td> <td>10.00</td> <td>揚水機場、橋梁、河川護岸あり</td> </tr> <tr> <td>岩手県地域防災計画との整合性</td> <td>無い</td> <td>10</td> <td>0.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">緊急性</td> <td>関連事業の有無</td> <td>なし</td> <td>10</td> <td>0.00</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>施設危険度</td> <td>非常に大</td> <td>20</td> <td>20.00</td> <td>令和5年に漏水事故が発生し、応急対策は実施したもの、同一路線において同様の事故が発生する可能性が非常に高い。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">効率性</td> <td>費用便益比</td> <td>1.09以上</td> <td>20</td> <td>20.00</td> <td>1.96</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">熟度</td> <td>同意率</td> <td>99%以上</td> <td>5</td> <td>5.00</td> <td>100%（施設管理者による同意）</td> </tr> <tr> <td>市町村の支援体制</td> <td>普通</td> <td>5</td> <td>2.50</td> <td>・ガイドライン通りに負担している。 ・説明会には参加する。 （普通）</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td>100</td> <td>64.50</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						評価指標		区分	配点	評点	備 考	必要性	受益面積	0.25未満	10	2.00	受益面積30.4ha/事業費157百万円=0.19	被害想定額	1.0以上～1.3未満	10	5.00	想定被害額180百万円/事業費157百万円=1.15	重要性	公共、保全施設の有無	3以上	10	10.00	揚水機場、橋梁、河川護岸あり	岩手県地域防災計画との整合性	無い	10	0.00		緊急性	関連事業の有無	なし	10	0.00	なし	施設危険度	非常に大	20	20.00	令和5年に漏水事故が発生し、応急対策は実施したもの、同一路線において同様の事故が発生する可能性が非常に高い。	効率性	費用便益比	1.09以上	20	20.00	1.96	熟度	同意率	99%以上	5	5.00	100%（施設管理者による同意）	市町村の支援体制	普通	5	2.50	・ガイドライン通りに負担している。 ・説明会には参加する。 （普通）	計			100	64.50	
	評価指標		区分	配点	評点	備 考																																																														
	必要性	受益面積	0.25未満	10	2.00	受益面積30.4ha/事業費157百万円=0.19																																																														
		被害想定額	1.0以上～1.3未満	10	5.00	想定被害額180百万円/事業費157百万円=1.15																																																														
	重要性	公共、保全施設の有無	3以上	10	10.00	揚水機場、橋梁、河川護岸あり																																																														
		岩手県地域防災計画との整合性	無い	10	0.00																																																															
	緊急性	関連事業の有無	なし	10	0.00	なし																																																														
		施設危険度	非常に大	20	20.00	令和5年に漏水事故が発生し、応急対策は実施したもの、同一路線において同様の事故が発生する可能性が非常に高い。																																																														
	効率性	費用便益比	1.09以上	20	20.00	1.96																																																														
	熟度	同意率	99%以上	5	5.00	100%（施設管理者による同意）																																																														
		市町村の支援体制	普通	5	2.50	・ガイドライン通りに負担している。 ・説明会には参加する。 （普通）																																																														
	計			100	64.50																																																															
	<p>○ <u>事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。</u></p>																																																																			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 項目評価 a . b . c </div>																																																																			

事業計画の妥当性	(2) 費用便益分析		
	費用便益分析手法:新たな土地改良の効果算定マニュアル(2015年9月)		
	基準年:令和7年度		
	区 分	金 額 (百 万 円)	備 考
	総費用(現在価値化)(C)	217 百万円	
	当該事業による費用	131 百万円	
	その他費用(関連+資産+再整備)	86 百万円	
	総便益額(現在価値化)(B)	427 百万円	
	作物生産効果	220 百万円	
	営農経費節減効果	▲ 4 百万円	
	維持管理費節減効果	▲ 20 百万円	
	災害防止効果(農業資産)	13 百万円	
	災害防止効果(公共資産)	172 百万円	
	国産農産物安定供給効果	46 百万円	
	総費用総便益比(B/C)	1.96	≥ 1.0
	(3) 関連する開発プロジェクト等の状況		
	特になし。		
	(4) コスト縮減対策の取り組み状況		
	管路補修の工法選定において、施工性と経済性に優れる管路更生工法を採用する。		
	(5) 代替案の比較検討結果		
	地域の営農に必要な用水源を確保しながら、治水上影響も与えず、災害を未然に防止する手法は、既存管路を改修する以外にない。		
	よって、現計画が適当であると判断した。		

総合評価

(事業名)農村地域防災減災事業 谷内第2号地区

○総合評価に係るコメント

- (2) その他特記事項

32

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの)

令和7年10月3日作成

事業名	復旧治山事業		補助・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課											
路線名等		地区名	よないがわ 米内川	市町村	盛岡市											
事業概要	〔事業根拠法令等：森林法第41条〕															
	(1) 事業目的 ○解決すべき課題 当地区は、盛岡市の東部に位置している。令和6年8月の豪雨により、溪岸侵食を起こし、人家等に土砂が流出したため、荒廃溪流の復旧整備を図る必要がある。 ○整備によって得られる効果 本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の人家や道路の保全が図られる。															
	(2) 事業内容 谷止工6基															
	(3) 整備目標等 いわて県民計画（2019～2028） 第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度） VI 仕事・収入 39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります ③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進 山地災害防止機能が確保された集落数（集落）〔累計〕 現状値：1,000集落（令和4年） 目標値：1,020集落（令和8年）															
	(4) 事業計画期間及び総事業費 ○事業計画期間：令和8年度～令和12年度 （用地着手予定年度：令和-年度、工事着手予定年度：令和8年度） ○総事業費：360 百万円															
社会経済情勢等の状況	(1) 全国の状況 治山事業は、森林の維持造成を通じて、山地災害から国民の生命・財産を保全するとともに、水源の涵養、生活環境の保全・形成等を図る重要な国土保全政策の一つとされている。															
	(2) 本県内の状況 治山事業（治山等激甚災害対策特別緊急、山地治山総合対策、流域保全総合治山等、予防治山等）及び県単治山（崩壊地復旧）事業は、荒廃山地、荒廃危険山地等の復旧・整備等を行う事業であり、令和6年度は、本県内56箇所で開催している。															
	(3) 施工地域における状況 地区住民からは、土砂災害の恐怖から解放され、安全な生活が営めるよう、早期の対策を強く要望されている。															
	(参考) 予算の動向 令和7年度当初予算の対前年比（当初予算対比）は、1.04となっており、計画的に事業対象箇所を整備することとしている。 過去3年間の県当初予算（治山事業費）の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費（百万円）</td> <td>1,309</td> <td>1,338</td> <td>1,394</td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td>1.09</td> <td>1.02</td> <td>1.04</td> </tr> </tbody> </table>					年度	R5	R6	R7	事業費（百万円）	1,309	1,338	1,394	対前年比	1.09	1.02
年度	R5	R6	R7													
事業費（百万円）	1,309	1,338	1,394													
対前年比	1.09	1.02	1.04													

自然環境等の状況	<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無 ・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：有 ・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：C <ul style="list-style-type: none"> 生物的環境の評価：2 地形・地質、自然環境の評価：4 植生及び県レッドデータブック登載種の状況：有 ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：有 <ul style="list-style-type: none"> 希少野生動植物の生息の確認状況：無 <p>(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。 <p>○ <u>自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</u></p>																																																																																																			
	<div style="text-align: right;">項目評価 a . b . c</div>																																																																																																			
事業計画の妥当性	<p>(1) 事業に関する指標からみた評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価指標</th> <th>区分</th> <th>配点</th> <th>評点</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">必要性 (20点)</td> <td>(1) 保全対象 ①人家戸数(8点)</td> <td>・20戸以上</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>21戸</td> </tr> <tr> <td>②公共施設(4点)</td> <td></td> <td>4</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③道路等(4点)</td> <td>・その他道路</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>林道</td> </tr> <tr> <td>④河川(4点)</td> <td>・1級河川</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>米内川</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重要性 (10点)</td> <td>(1) 災害履歴(5点)</td> <td>・著しい</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>令和6年8月豪雨</td> </tr> <tr> <td>(2) 他事業との連携(5点)</td> <td>・あり</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>各災害復旧事業</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">緊急性 (40点)</td> <td rowspan="5">主に山腹工の場合</td> <td>(1) 山腹崩壊危険度 ①山腹の状況(16点)</td> <td>・亀裂、陥没等あり</td> <td>16</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">/</td> </tr> <tr> <td>②森林の状況(6点)</td> <td>・幼・老齢林、疎林</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>③斜面の傾斜(6点)</td> <td>・30度以上</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>④断層等の有無(6点)</td> <td>・断層あり</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>⑤落石の危険性(6点)</td> <td>・著しい</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主に溪間工の場合</td> <td>(1) 崩壊土砂流出危険度 ①山腹崩壊危険度評点(16点)</td> <td>・20点以上(A)</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定</td> </tr> <tr> <td>②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)</td> <td>・9度～13度</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>溪床勾配12度</td> </tr> <tr> <td>③平均溪床勾配(8点)</td> <td>・11度以上</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>平均溪床勾配12度</td> </tr> <tr> <td>④溪流の荒廃(8点)</td> <td>・著しい</td> <td>8</td> <td>8</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率性 (30点)</td> <td>(1) 経済性 ・費用便益比(B/C)(20点)</td> <td>・5以上</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>B/C=9.30</td> </tr> <tr> <td>(2) 早期効果度 ・工事期間(10点)</td> <td>・事業年数が5年以下</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>事業期間5年</td> </tr> <tr> <td colspan="3">計(100点)</td> <td>100</td> <td>91</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ <u>事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、80点以上であることから「a」とした。</u></p>						評価指標		区分	配点	評点	備考	必要性 (20点)	(1) 保全対象 ①人家戸数(8点)	・20戸以上	8	8	21戸	②公共施設(4点)		4	0		③道路等(4点)	・その他道路	4	1	林道	④河川(4点)	・1級河川	4	4	米内川	重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)	・著しい	5	5	令和6年8月豪雨	(2) 他事業との連携(5点)	・あり	5	5	各災害復旧事業	緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度 ①山腹の状況(16点)	・亀裂、陥没等あり	16	/	②森林の状況(6点)	・幼・老齢林、疎林	6	③斜面の傾斜(6点)	・30度以上	6	④断層等の有無(6点)	・断層あり	6	⑤落石の危険性(6点)	・著しい	6	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度 ①山腹崩壊危険度評点(16点)	・20点以上(A)	16	16	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定	②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)	・9度～13度	8	6	溪床勾配12度	③平均溪床勾配(8点)	・11度以上	8	8	平均溪床勾配12度	④溪流の荒廃(8点)	・著しい	8	8		効率性 (30点)	(1) 経済性 ・費用便益比(B/C)(20点)	・5以上	20	20	B/C=9.30	(2) 早期効果度 ・工事期間(10点)	・事業年数が5年以下	10	10	事業期間5年	計(100点)			100	91	
	評価指標		区分	配点	評点	備考																																																																																														
必要性 (20点)	(1) 保全対象 ①人家戸数(8点)	・20戸以上	8	8	21戸																																																																																															
	②公共施設(4点)		4	0																																																																																																
	③道路等(4点)	・その他道路	4	1	林道																																																																																															
	④河川(4点)	・1級河川	4	4	米内川																																																																																															
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)	・著しい	5	5	令和6年8月豪雨																																																																																															
	(2) 他事業との連携(5点)	・あり	5	5	各災害復旧事業																																																																																															
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度 ①山腹の状況(16点)	・亀裂、陥没等あり	16	/																																																																																															
		②森林の状況(6点)	・幼・老齢林、疎林	6																																																																																																
		③斜面の傾斜(6点)	・30度以上	6																																																																																																
		④断層等の有無(6点)	・断層あり	6																																																																																																
		⑤落石の危険性(6点)	・著しい	6																																																																																																
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度 ①山腹崩壊危険度評点(16点)	・20点以上(A)	16	16	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定																																																																																														
		②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)	・9度～13度	8	6	溪床勾配12度																																																																																														
		③平均溪床勾配(8点)	・11度以上	8	8	平均溪床勾配12度																																																																																														
④溪流の荒廃(8点)		・著しい	8	8																																																																																																
効率性 (30点)	(1) 経済性 ・費用便益比(B/C)(20点)	・5以上	20	20	B/C=9.30																																																																																															
	(2) 早期効果度 ・工事期間(10点)	・事業年数が5年以下	10	10	事業期間5年																																																																																															
計(100点)			100	91																																																																																																
<div style="text-align: right;">項目評価 a . b . c</div>																																																																																																				

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:林野公共事業における事業評価の手法について(令和7年4月)

基準年:令和7年

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	事業費	285.933	
	総 費 用 (C)	285.933	
便益項目	災害防止便益	2,660.306	
	総 便 益 (B)	2,660.306	
費用便益比 (B/C)		9.30	

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項
無

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

無

(4) コスト削減対策の取り組み状況

谷止工は、地形や周辺の環境等を考慮し、比較検討により経済的な工法で施工する。

(5) 代替案の比較検討結果

本計画は、荒廃溪流の状況に応じ、必要最低規模かつ最適な構造の谷止工を配置することにより、保安林機能を維持・増進させ、保全対象施設等の保全を図るものであることから、代替案は想定しがたい。

(1) 総合評価

総合評価	AA・A・B・C
------	----------

(事業名) 復旧治山事業 米内川

着手 年度	完了 予定 年度	事業費 (百万円)	自然環境等の 状況に係る評価 結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
令和8年	令和12年	360	a	91	a	9.30

○総合評価に係るコメント

- ・「自然環境等の状況」 : a
- ・「事業に関する指標から見た評価」 : a

当該事業は、地域の保全を図る上で重要な事業であり、事業実施に当たっては、コスト縮減・環境等に配慮するものであること、また、地元住民からの強い要望があり、総合評価が「AA」評価であることから、新規事業として着手することが妥当と判断される。

(2) その他特記事項

無

(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和7年10月3日作成

事業名	復旧治山事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課
路線名等		地区名	まぐわ 間久沢	市町村 西和賀町

〔事業根拠法令等：森林法第41条〕

事業概要

(1) 事業目的

○解決すべき課題
当地区は、西和賀町の南部に位置している。令和6年8月の豪雨により、溪岸浸食を起し、道路等に土砂が流出したため、荒廃溪流の復旧整備を図る必要がある。

○整備によって得られる効果
本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の人家や道路の保全が図られる。

(2) 事業内容

谷止工2基

(3) 整備目標等

いわて県民計画（2019～2028）
第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度）
Ⅵ 仕事・収入
39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります
③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進
山地災害防止機能が確保された集落数（集落）〔累計〕
現状値：1,000集落（令和4年）
目標値：1,020集落（令和8年）

(4) 事業計画期間及び総事業費

○事業計画期間：令和8年度～令和9年度
（用地着手予定年度：令和－年度、工事着手予定年度：令和8年度）
○総事業費：90 百万円

自然環境等の状況

(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：有
- ・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無
- ・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：B
生物的環境の評価：5
地形・地質、自然環境の評価：0
植生及び県レッドデータブック登載種の状況：有
- ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：有
希少野生動植物の生息の確認状況：有

(2) 環境配慮事項

・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。

○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。

項目評価	a	b	c
------	---	---	---

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考
必要性 (20点)	(1)保全対象 ①人家戸数(8点)	・ 5戸～ 9戸	8	4	人家8
	②公共施設(4点)	・ 2箇所以上	4	4	旅館等3戸
	③道路等(4点)	・ 国道、県道、鉄道	4	4	県道450m
	④河川(4点)	・ 1級河川	4	4	小鬼ヶ瀬川
重要性 (10点)	(1)災害履歴(5点)	・ 著しい	5	5	令和6年7月豪雨
	(2)他事業との連携(5点)		5	0	該当なし
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1)山腹崩壊危険度 ①山腹の状況(16点)	・ 明瞭な亀裂、陥没、異常な地下水等あり	16	
		②森林の状況(6点)	・ 幼・老齢林、疎林	6	
		③斜面の傾斜(6点)	・ 25度～29度	6	
		④断層等の有無(6点)		6	
		⑤落石の危険性(6点)		6	
	主に溪間工の場合	(1)崩壊土砂流出危険度 ①山腹崩壊危険度評点(16点)	・ 20点以上(A)	16	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定
		②荒廃発生源直下の 溪床勾配(8点)	・ 9度～13度	8	溪床勾配9.3度
		③平均溪床勾配(8点)	・ 5度～10度	8	平均溪床勾配7.1度
		④溪流の荒廃(8点)	・ 著しい	8	
効率性 (30点)	(1)経済性 ・ 費用便益比(B/C)(20点)	・ 5以上	20	20	B/C=5.38
	(2)早期効果度 ・ 工事期間(10点)	・ 事業年数が5年以下	10	10	事業期間3年
計(100点)			100	87	

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、80点以上であることから「a」とした。

項目評価 a . b . c

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:林野公共事業における事業評価の手法について(令和7年4月)

基準年:令和7年

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	事業費	77.562	
	総費用(C)	77.562	
便益項目	災害防止便益	417.570	
	総便益(B)	417.570	
費用便益比(B/C)		5.38	

総合評価

総合評価

AA . A . B . C

(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和7年10月3日作成

事業名	復旧治山事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課
路線名等		地区名	やまのうち 山の内	市町村 山田町

〔事業根拠法令等：森林法第41条〕

事業概要

(1) 事業目的

○解決すべき課題
当地区は、山田町の南部に位置している。令和元年10月の台風第19号により、溪岸侵食を起こし、人家等に土砂が流出したため、荒廃溪流の復旧整備を図る必要がある。

○整備によって得られる効果
本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の人家や道路の保全が図られる。

(2) 事業内容

谷止工2基

(3) 整備目標等

いわて県民計画（2019～2028）
第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度）
VI 仕事・収入
39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります
③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進
山地災害防止機能が確保された集落数（集落）〔累計〕
現状値：1,000集落（令和4年）
目標値：1,020集落（令和8年）

(4) 事業計画期間及び総事業費

○事業計画期間：令和8年度～令和9年度
（用地着手予定年度：令和－年度、工事着手予定年度：令和8年度）
○総事業費：61 百万円

自然環境等の状況

(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無
- ・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無
- ・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：A
生物的環境の評価：7
地形・地質、自然環境の評価：0
植生及び県レッドデータブック登載種の状況：有
- ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：有
希少野生動植物の生息の確認状況：無

(2) 環境配慮事項

・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。

○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。

項目評価	a	b	c
------	---	---	---

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考
必要性 (20点)	(1) 保全対象 ①人家戸数(8点)	・ 20戸以上	8	8	24戸
	②公共施設(4点)		4	0	該当なし
	③道路等(4点)	・ 国道、県道、鉄道	4	4	国道、町道
	④河川(4点)		4	0	該当なし
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)	・ 著しい	5	5	令和元年台風第19号
	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度 ①山腹の状況(16点)		16	
		②森林の状況(6点)	・ その他	6	
		③斜面の傾斜(6点)	・ 25度～29度	6	
		④断層等の有無(6点)		6	
		⑤落石の危険性(6点)	・ あり	6	
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度 ①山腹崩壊危険度評点(16点)	・ 12点未満 (C)	16	山腹崩壊危険度①～ ⑤の合計点で判定
		②荒廃発生源直下の 溪床勾配(8点)	・ 14度以上	8	溪床勾配15度
		③平均溪床勾配(8点)	・ 11度以上	8	平均溪床勾配15度
		④溪流の荒廃(8点)	・ 著しい	8	
効率性 (30点)	(1) 経済性 ・ 費用便益比(B/C)(20点)	・ 5以上	20	20	B/C=13.63
	(2) 早期効果度 ・ 工事期間(10点)	・ 事業年数が5年以下	10	10	事業期間2年
計(100点)			100	79	

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	.	(b)	.	c
------	---	---	-----	---	---

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:林野公共事業における事業評価の手法について(令和7年4月)

基準年:令和7年

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	事業費	52.146	
	総費用(C)	52.146	
便益項目	災害防止便益	710.959	
	総便益(B)	710.959	
費用便益比(B/C)		13.63	

総合評価

総合評価	AA ・ (A) ・ B ・ C
------	------------------

(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和7年10月3日作成

事業名	復旧治山事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課
路線名等		地区名	はこぎ 箱崎	市町村 釜石市

〔事業根拠法令等：森林法第41条〕

(1) 事業目的

○解決すべき課題
当地区は、釜石市の北東部に位置している。令和元年10月の台風第19号により溪岸浸食を起し溪流内に不安定土砂が多く見られることから、今後の大雨等により災害が発生する危険性があるため、早期対策が必要である。

○整備によって得られる効果
本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の人家や道路の保全が図られる。

(2) 事業内容

谷止工3基

(3) 整備目標等

いわて県民計画（2019～2028）
第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度）
Ⅵ 仕事・収入
39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります
③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進
山地災害防止機能が確保された集落数（集落）〔累計〕
現状値：1,000集落（令和4年）
目標値：1,020集落（令和8年）

(4) 事業計画期間及び総事業費

○事業計画期間：令和8年度～令和10年度
（用地着手予定年度：令和－年度、工事着手予定年度：令和9年度）
○総事業費：90 百万円

(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無
- ・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：有
- ・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：C
生物的環境の評価：3
地形・地質、自然環境の評価：4
植生及び県レッドデータブック登載種の状況：無
- ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：有
希少野生動植物の生息の確認状況：無

(2) 環境配慮事項

・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。

○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。

項目評価	a	b	c
------	---	---	---

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考
必要性 (20点)	(1) 保全対象 ①人家戸数(8点)	・ 10戸～19戸	8	6	16戸
	②公共施設(4点)		4	0	該当なし
	③道路等(4点)	・ 市町村道	4	2	市道630m
	④河川(4点)		4	0	該当なし
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)	・ 著しい	5	5	令和元年台風19号
	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度 ①山腹の状況(16点)		16	
		②森林の状況(6点)	・ 幼・老齢林、疎林	6	
		③斜面の傾斜(6点)	・ 30度以上	6	
		④断層等の有無(6点)		6	
		⑤落石の危険性(6点)		6	
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度 ①山腹崩壊危険度評点(16点)	・ 12点未満 (C)	16	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定
		②荒廃発生源直下の 溪床勾配(8点)	・ 9度～13度	8	溪床勾配13度
		③平均溪床勾配(8点)	・ 11度以上	8	平均溪床勾配14度
		④溪流の荒廃(8点)	・ あり	8	6
効率性 (30点)	(1) 経済性 ・ 費用便益比(B/C)(20点)	・ 5以上	20	20	B/C=6.55
	(2) 早期効果度 ・ 工事期間(10点)	・ 事業年数が5年以下	10	10	事業期間3年
計(100点)			100	71	

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	.	(b)	.	c
------	---	---	-----	---	---

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:林野公共事業における事業評価の手法について(令和7年4月)

基準年:令和7年

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	事業費	74.954	
	総 費 用 (C)	74.954	
便益項目	災害防止便益	491.209	
	総 便 益 (B)	491.209	
費用便益比(B/C)		6.55	

総合評価

総 合 評 価	AA ・ (A) ・ B ・ C
---------	------------------

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの)

令和7年10月3日作成

事業名	復旧治山事業		補助・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課											
路線名等		地区名	おかやま 岡山	市町村	一関市											
事業概要	〔事業根拠法令等：森林法第41条〕															
	(1) 事業目的															
	○解決すべき課題 当地区は、一関市の西部に位置している。近年の局地的な豪雨により、溪岸浸食を起こし溪流内に不安定土砂が多く見られることから、今後の大雨等により災害が発生する危険性があるため、早期対策が必要である。															
	○整備によって得られる効果 本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、森林に対し土砂流出防備の公益的機能が図られる。															
	(2) 事業内容 谷止工1基、床固工2基															
事業概要	(3) 整備目標等															
	いわて県民計画（2019～2028） 第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度） VI 仕事・収入 39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります ③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進 山地災害防止機能が確保された集落数（集落）〔累計〕 現状値：1,000集落（令和4年） 目標値：1,020集落（令和8年）															
	(4) 事業計画期間及び総事業費															
	○事業計画期間：令和8年度～令和11年度 （用地着手予定年度：令和－年度、工事着手予定年度：令和9年度） ○総事業費：130 百万円															
社会経済情勢等の状況	(1) 全国の状況															
	治山事業は、森林の維持造成を通じて、山地災害から国民の生命・財産を保全するとともに、水源の涵養、生活環境の保全・形成等を図る重要な国土保全政策の一つとされている。															
	(2) 本県内の状況															
	治山事業（治山等激甚災害対策特別緊急、山地治山総合対策、流域保全総合治山等、予防治山等）及び県単治山（崩壊地復旧）事業は、荒廃山地、荒廃危険山地等の復旧・整備等を行う事業であり、令和6年度は、本県内56箇所で開催している。															
	(3) 施工地域における状況															
社会経済情勢等の状況	地区住民からは、土砂災害の恐怖から解放され、安全な生活が営めるよう、早期の対策を強く要望されている。															
	(参考) 予算の動向															
	令和7年度当初予算の対前年比（当初予算対比）は、1.04となっており、計画的に事業対象箇所を整備することとしている。															
	過去3年間の県当初予算（治山事業費）の状況															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費（百万円）</td> <td>1,309</td> <td>1,338</td> <td>1,394</td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td>1.09</td> <td>1.02</td> <td>1.04</td> </tr> </tbody> </table>					年度	R5	R6	R7	事業費（百万円）	1,309	1,338	1,394	対前年比	1.09	1.02
年度	R5	R6	R7													
事業費（百万円）	1,309	1,338	1,394													
対前年比	1.09	1.02	1.04													

自然環境等の状況	<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無 ・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無 ・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：B <ul style="list-style-type: none"> 生物的環境の評価：5 地形・地質、自然環境の評価：2 植生及び県レッドデータブック登載種の状況：無 ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：有 <ul style="list-style-type: none"> 希少野生動植物の生息の確認状況：無 <p>(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。 <p>○ <u>自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</u></p>																																																																																																				
	<div style="text-align: right;">項目評価 a . b . c</div>																																																																																																				
事業計画の妥当性	<p>(1) 事業に関する指標からみた評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価指標</th> <th>区分</th> <th>配点</th> <th>評点</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">必要性 (20点)</td> <td>(1) 保全対象 ①人家戸数(8点)</td> <td>・ 0 戸</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>②公共施設(4点)</td> <td>・ 0 箇所</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>③道路等(4点)</td> <td>・ その他道路</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>林道産女川線ほか1</td> </tr> <tr> <td>④河川(4点)</td> <td>・ 1 級河川</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>磐井川</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重要性 (10点)</td> <td>(1) 災害履歴(5点)</td> <td>・ 著しい</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>H20地震地すべり、土砂流出発生</td> </tr> <tr> <td>(2) 他事業との連携(5点)</td> <td></td> <td>5</td> <td>0</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">緊急性 (40点)</td> <td rowspan="5">主に山腹工の場合</td> <td>(1) 山腹崩壊危険度 ①山腹の状況(16点)</td> <td>・ 亀裂、陥没等あり</td> <td>16</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">/</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>②森林の状況(6点)</td> <td>・ 幼・老齢林、疎林</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>③斜面の傾斜(6点)</td> <td>・ 25度～29度</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>④断層等の有無(6点)</td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>⑤落石の危険性(6点)</td> <td>・ あり</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主に溪間工の場合</td> <td>(1) 崩壊土砂流出危険度 ①山腹崩壊危険度評点(16点)</td> <td>・ 20点以上(A)</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定</td> </tr> <tr> <td>②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)</td> <td>・ 9度～13度</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>溪床勾配10度</td> </tr> <tr> <td>③平均溪床勾配(8点)</td> <td>・ 5度～10度</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>平均溪床勾配5度</td> </tr> <tr> <td>④溪流の荒廃(8点)</td> <td>・ あり</td> <td>8</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率性 (30点)</td> <td>(1) 経済性 ・ 費用便益比(B/C)(20点)</td> <td>・ 1以上～3未満</td> <td>20</td> <td>10</td> <td>B/C=1.77</td> </tr> <tr> <td>(2) 早期効果度 ・ 工事期間(10点)</td> <td>・ 事業年数が5年以下</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>事業期間4年</td> </tr> <tr> <td colspan="3">計(100点)</td> <td>100</td> <td>64</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ <u>事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。</u></p>						評価指標		区分	配点	評点	備考	必要性 (20点)	(1) 保全対象 ①人家戸数(8点)	・ 0 戸	8	0	該当なし	②公共施設(4点)	・ 0 箇所	4	0	該当なし	③道路等(4点)	・ その他道路	4	1	林道産女川線ほか1	④河川(4点)	・ 1 級河川	4	4	磐井川	重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)	・ 著しい	5	5	H20地震地すべり、土砂流出発生	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし	緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度 ①山腹の状況(16点)	・ 亀裂、陥没等あり	16	/		②森林の状況(6点)	・ 幼・老齢林、疎林	6	③斜面の傾斜(6点)	・ 25度～29度	6	④断層等の有無(6点)		6	⑤落石の危険性(6点)	・ あり	6	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度 ①山腹崩壊危険度評点(16点)	・ 20点以上(A)	16	16	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定	②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)	・ 9度～13度	8	6	溪床勾配10度	③平均溪床勾配(8点)	・ 5度～10度	8	6	平均溪床勾配5度	④溪流の荒廃(8点)	・ あり	8	6		効率性 (30点)	(1) 経済性 ・ 費用便益比(B/C)(20点)	・ 1以上～3未満	20	10	B/C=1.77	(2) 早期効果度 ・ 工事期間(10点)	・ 事業年数が5年以下	10	10	事業期間4年	計(100点)			100	64	
	評価指標		区分	配点	評点	備考																																																																																															
必要性 (20点)	(1) 保全対象 ①人家戸数(8点)	・ 0 戸	8	0	該当なし																																																																																																
	②公共施設(4点)	・ 0 箇所	4	0	該当なし																																																																																																
	③道路等(4点)	・ その他道路	4	1	林道産女川線ほか1																																																																																																
	④河川(4点)	・ 1 級河川	4	4	磐井川																																																																																																
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)	・ 著しい	5	5	H20地震地すべり、土砂流出発生																																																																																																
	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし																																																																																																
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度 ①山腹の状況(16点)	・ 亀裂、陥没等あり	16	/																																																																																																
		②森林の状況(6点)	・ 幼・老齢林、疎林	6																																																																																																	
		③斜面の傾斜(6点)	・ 25度～29度	6																																																																																																	
		④断層等の有無(6点)		6																																																																																																	
		⑤落石の危険性(6点)	・ あり	6																																																																																																	
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度 ①山腹崩壊危険度評点(16点)	・ 20点以上(A)	16	16	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定																																																																																															
		②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)	・ 9度～13度	8	6	溪床勾配10度																																																																																															
		③平均溪床勾配(8点)	・ 5度～10度	8	6	平均溪床勾配5度																																																																																															
④溪流の荒廃(8点)		・ あり	8	6																																																																																																	
効率性 (30点)	(1) 経済性 ・ 費用便益比(B/C)(20点)	・ 1以上～3未満	20	10	B/C=1.77																																																																																																
	(2) 早期効果度 ・ 工事期間(10点)	・ 事業年数が5年以下	10	10	事業期間4年																																																																																																
計(100点)			100	64																																																																																																	
<div style="text-align: right;">項目評価 a . b . c</div>																																																																																																					

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:林野公共事業における事業評価の手法について(令和7年4月)

基準年:令和7年

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	事業費	105.774	
	総 費 用 (C)	105.774	
便益項目	災害防止便益	187.315	
	総 便 益 (B)	187.315	
費用便益比 (B/C)		1.77	

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項
無

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

無

(4) コスト削減対策の取り組み状況

床固工及び谷止工は、地形や周辺の環境等を考慮し、比較検討により経済的な工法で施工する。

(5) 代替案の比較検討結果

本計画は、荒廃溪流の状況に応じ、必要最低規模かつ最適な構造の床固工及び谷止工を配置することにより、保安林機能を維持・増進させ、保全対象施設等の保全を図るものであることから、代替案は想定しがたい。

(1) 総合評価

総合評価	AA ・ A ・ B ・ C
------	----------------

(事業名) 復旧治山事業 岡山

着手 年度	完了 予定 年度	事業費 (百万円)	自然環境等の 状況に係る評 価結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
令和8年	令和11年	130	a	64	b	1.77

○総合評価に係るコメント

- ・「自然環境等の状況」 : a
- ・「事業に関する指標から見た評価」 : b

当該事業は、地域の保全を図る上で重要な事業であり、事業実施に当たっては、コスト縮減・環境等に配慮するものであること、また、地元住民からの強い要望があり、総合評価が「A」評価であることから、新規事業として着手することが妥当と判断される。

(2) その他特記事項

無

(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和7年10月3日作成

事業名	復旧治山事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課
路線名等		地区名	なぐら 長倉	市町村 一関市

〔事業根拠法令等：森林法第41条〕

事業概要

(1) 事業目的

○解決すべき課題
当地区は、一関市の西部に位置している。近年の局地的な豪雨により、溪岸浸食を起こし溪流内に不安定土砂が多く見られることから、今後の大雨等により災害が発生する危険性があるため、早期対策が必要である。

○整備によって得られる効果
本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の人家や道路の保全が図られる。

(2) 事業内容

谷止工1基、谷止工補修1基

(3) 整備目標等

いわて県民計画（2019～2028）
第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度）
VI 仕事・収入
39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります
③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進
山地災害防止機能が確保された集落数（集落）〔累計〕
現状値：1,000集落（令和4年）
目標値：1,020集落（令和8年）

(4) 事業計画期間及び総事業費

○事業計画期間：令和8年度～令和9年度
（用地着手予定年度：令和－年度、工事着手予定年度：令和9年度）
○総事業費：68 百万円

自然環境等の状況

(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無
- ・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：有
- ・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：C
生物的環境の評価：3
地形・地質、自然環境の評価：2
植生及び県レッドデータブック登載種の状況：無
- ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：有
希少野生動植物の生息の確認状況：無

(2) 環境配慮事項

・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。

○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。

項目評価	a	b	c
------	---	---	---

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考
必要性 (20点)	(1) 保全対象 ①人家戸数(8点)	・ 5戸～ 9戸	8	4	5戸
	②公共施設(4点)		4	0	該当なし
	③道路等(4点)	・ 市町村道	4	2	市道長倉線
	④河川(4点)	・ その他河川	4	1	準用河川久保川
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)	・ あり	5	3	令和5年6月豪雨
	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度 ①山腹の状況(16点)		16	
		②森林の状況(6点)	・ 幼・老齢林、疎林	6	
		③斜面の傾斜(6点)	・ 30度以上	6	
		④断層等の有無(6点)		6	
		⑤落石の危険性(6点)		6	
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度 ①山腹崩壊危険度評点(16点)	・ 12点未満 (C)	16	山腹崩壊危険度①～ ⑤の合計点で判定
		②荒廃発生源直下の 溪床勾配(8点)	・ 9度未満	8	溪床勾配5度
		③平均溪床勾配(8点)	・ 5度～10度	8	平均溪床勾配5度
		④溪流の荒廃(8点)	・ あり	8	
効率性 (30点)	(1) 経済性 ・ 費用便益比(B/C)(20点)	・ 5以上	20	20	B/C=6.57
	(2) 早期効果度 ・ 工事期間(10点)	・ 事業年数が5年以下	10	10	事業期間2年
計(100点)			100	64	

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	.	(b)	.	c
------	---	---	-----	---	---

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:林野公共事業における事業評価の手法について(令和7年4月)

基準年:令和7年

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	事業費	57.493	
	総 費 用 (C)	57.493	
便益項目	災害防止便益	377.557	
	総 便 益 (B)	377.557	
費用便益比(B/C)		6.57	

総合評価

総 合 評 価	AA ・ (A) ・ B ・ C
---------	------------------

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの)

令和7年10月3日作成

事業名	防災林造成事業		補助・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課
路線名等		地区名	こじ小路	市町村	大船渡市

〔事業根拠法令等：森林法第41条〕

事業概要

(1) 事業目的

○解決すべき課題
当地区は、大船渡市の東部に位置している。令和7年2月に発生した林野火災により、森林が焼失するとともに機能が低下した森林からの土砂の流出を防止するため、森林の造成及び溪流の保全整備を図る必要がある。

○整備によって得られる効果
本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工するとともに、被災森林を復旧することにより、下流域の人家や道路の保全が図られる。

(2) 事業内容
谷止工、森林整備60ha

(3) 整備目標等
いわて県民計画（2019～2028）
第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度）
VI 仕事・収入
39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります
③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進
山地災害防止機能が確保された集落数（集落）〔累計〕
現状値：1,000集落（令和4年）
目標値：1,020集落（令和8年）

(4) 事業計画期間及び総事業費
○事業計画期間：令和8年度～令和16年度
（用地着手予定年度：令和-年度、工事着手予定年度：令和8年度）
○総事業費：700 百万円

社会経済情勢等の状況

(1) 全国の状況
治山事業は、森林の維持造成を通じて、山地災害から国民の生命・財産を保全するとともに、水源の涵養、生活環境の保全・形成等を図る重要な国土保全政策の一つとされている。

(2) 本県内の状況
治山事業（治山等激甚災害対策特別緊急、山地治山総合対策、流域保全総合治山等、予防治山等）及び県単治山（崩壊地復旧）事業は、荒廃山地、荒廃危険山地等の復旧・整備等を行う事業であり、令和6年度は、本県内56箇所で開催している。

(3) 施工地域における状況
地区住民からは、土砂災害の恐怖から解放され、安全な生活が営めるよう、早期の対策を強く要望されている。

(参考) 予算の動向
令和7年度当初予算の対前年比（当初予算対比）は、1.04となっており、計画的に事業対象箇所を整備することとしている。

過去3年間の県当初予算（治山事業費）の状況

年度	R5	R6	R7
事業費（百万円）	1,309	1,338	1,394
対前年比	1.09	1.02	1.04

自然環境等の状況	<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無 ・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無 ・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：B <ul style="list-style-type: none"> 生物的環境の評価：5 地形・地質、自然環境の評価：6 植生及び県レッドデータブック登載種の状況：無 ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：無 <ul style="list-style-type: none"> 希少野生動植物の生息の確認状況：無 <p>(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。 <p>○ <u>自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</u></p>	<div>項目評価</div> <div>a . b . c</div>																																																																																
	<p>(1) 事業に関する指標からみた評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価指標</th> <th>区分</th> <th>配点</th> <th>評点</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">必要性 (30点)</td> <td>(1) 保全対象 ①人家戸数(8点)</td> <td>・20戸以上</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>25戸</td> </tr> <tr> <td>②公共施設(4点)</td> <td>・1箇所</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>公民館</td> </tr> <tr> <td>③道路等(4点)</td> <td>・国道、県道、鉄道</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>県道9号</td> </tr> <tr> <td>④河川(4点)</td> <td></td> <td>4</td> <td>0</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>(2) 親水施設(4点)</td> <td></td> <td>4</td> <td>0</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>(3) 防災対策等効果(避難施設、防火施設)(6点)</td> <td>・あり</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>避難施設</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重要性 (10点)</td> <td>(1) 災害履歴(4点)</td> <td>・著しい</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>令和7年2月林野火災</td> </tr> <tr> <td>(2) 他事業との連携(6点)</td> <td>・あり</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>森林災害復旧事業</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">緊急性 (30点)</td> <td>(1) 事業区域内の要整備森林の比率(9点)</td> <td>・30%以上</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>(2) 利用者の範囲(30km圏内人口)(12点)</td> <td></td> <td>12</td> <td>0</td> <td>10万人未満</td> </tr> <tr> <td>(3) 周辺部の公共施設等(9点)</td> <td>・1箇所</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>公民館</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率性 (30点)</td> <td>(1) 経済性 ・費用便益比(B/C)(20点)</td> <td>・3以上～5未満</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>B/C=3.44</td> </tr> <tr> <td>(2) 早期効果度 ・工事期間(10点)</td> <td>・事業年数が6年から10年</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>事業期間10年</td> </tr> <tr> <td colspan="3">計(100点)</td> <td>100</td> <td>63</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ <u>事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。</u></p>	評価指標		区分	配点	評点	備考	必要性 (30点)	(1) 保全対象 ①人家戸数(8点)	・20戸以上	8	8	25戸	②公共施設(4点)	・1箇所	4	2	公民館	③道路等(4点)	・国道、県道、鉄道	4	4	県道9号	④河川(4点)		4	0	該当なし	(2) 親水施設(4点)		4	0	該当なし	(3) 防災対策等効果(避難施設、防火施設)(6点)	・あり	6	4	避難施設	重要性 (10点)	(1) 災害履歴(4点)	・著しい	4	4	令和7年2月林野火災	(2) 他事業との連携(6点)	・あり	6	6	森林災害復旧事業	緊急性 (30点)	(1) 事業区域内の要整備森林の比率(9点)	・30%以上	9	9	100%	(2) 利用者の範囲(30km圏内人口)(12点)		12	0	10万人未満	(3) 周辺部の公共施設等(9点)	・1箇所	9	6	公民館	効率性 (30点)	(1) 経済性 ・費用便益比(B/C)(20点)	・3以上～5未満	20	15	B/C=3.44	(2) 早期効果度 ・工事期間(10点)	・事業年数が6年から10年	10	5	事業期間10年	計(100点)			100	63	
評価指標		区分	配点	評点	備考																																																																													
必要性 (30点)	(1) 保全対象 ①人家戸数(8点)	・20戸以上	8	8	25戸																																																																													
	②公共施設(4点)	・1箇所	4	2	公民館																																																																													
	③道路等(4点)	・国道、県道、鉄道	4	4	県道9号																																																																													
	④河川(4点)		4	0	該当なし																																																																													
	(2) 親水施設(4点)		4	0	該当なし																																																																													
	(3) 防災対策等効果(避難施設、防火施設)(6点)	・あり	6	4	避難施設																																																																													
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(4点)	・著しい	4	4	令和7年2月林野火災																																																																													
	(2) 他事業との連携(6点)	・あり	6	6	森林災害復旧事業																																																																													
緊急性 (30点)	(1) 事業区域内の要整備森林の比率(9点)	・30%以上	9	9	100%																																																																													
	(2) 利用者の範囲(30km圏内人口)(12点)		12	0	10万人未満																																																																													
	(3) 周辺部の公共施設等(9点)	・1箇所	9	6	公民館																																																																													
効率性 (30点)	(1) 経済性 ・費用便益比(B/C)(20点)	・3以上～5未満	20	15	B/C=3.44																																																																													
	(2) 早期効果度 ・工事期間(10点)	・事業年数が6年から10年	10	5	事業期間10年																																																																													
計(100点)			100	63																																																																														

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:林野公共事業における事業評価の手法について(令和7年4月)

基準年:令和7年

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	事業費	527.717	
	総 費 用 (C)	527.717	
便益項目	水源涵養便益	525.604	
	環境保全便益	258.816	
	災害防止便益	1,030.317	
	総 便 益 (B)	1,814.737	
費用便益比 (B/C)		3.44	

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項
無

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

無

(4) コスト削減対策の取り組み状況

谷止工は、地形や周辺の環境等を考慮し、比較検討により経済的な工法で施工する。
森林整備は、植栽工等により林野火災で焼失した森林の早期復旧を図る。

(5) 代替案の比較検討結果

本計画は、荒廃溪流の状況に応じ、必要最低規模かつ最適な構造の谷止工を配置するとともに、焼失した森林を整備することにより、保安林機能を維持・増進させ、保全対象施設等の保全を図るものであることから、代替案は想定しがたい。

(1) 総合評価

総合評価	AA ・ A ・ B ・ C
------	----------------

(事業名) 防災林造成事業 小路

着手 年度	完了 予定 年度	事業費 (百万円)	自然環境等の 状況に係る評 価結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
令和8年	令和16年	700	a	63	b	3.44

○総合評価に係るコメント

- ・「自然環境等の状況」 : a
- ・「事業に関する指標から見た評価」 : b

当該事業は、地域の保全を図る上で重要な事業であり、事業実施に当たっては、コスト縮減・環境等に配慮するものであること、また、地元住民からの強い要望があり、総合評価が「A」評価であることから、新規事業として着手することが妥当と判断される。

(2) その他特記事項

無

(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和7年10月3日作成

事業名	予防治山事業		補助・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課
路線名等		地区名	おおしみず 大清水	市町村	二戸市

〔事業根拠法令等：森林法第41条〕

事業概要

(1) 事業目的

○解決すべき課題
当地区は、二戸市の北部に位置している。近年の大雨等により溪岸浸食を起こし溪流内に不安定土砂が多く見られることから、今後の大雨等により災害が発生する危険性があるため、早期対策が必要である。

○整備によって得られる効果
本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の人家や道路の保全が図られる。

(2) 事業内容

谷止工 1 基

(3) 整備目標等

いわて県民計画（2019～2028）
第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度）
VI 仕事・収入
39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります
③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進
山地災害防止機能が確保された集落数（集落）〔累計〕
現状値：1,000集落（令和4年）
目標値：1,020集落（令和8年）

(4) 事業計画期間及び総事業費

○事業計画期間：令和8年度～令和8年度
（用地着手予定年度：令和-年度、工事着手予定年度：令和8年度）
○総事業費：40 百万円

自然環境等の状況

(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無
- ・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：有
- ・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：A
生物的環境の評価：1
地形・地質、自然環境の評価：2
植生及び県レッドデータブック登載種の状況：無
- ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：有
希少野生動植物の生息の確認状況：無

(2) 環境配慮事項

・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。

○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。

項目評価	a	b	c
------	---	---	---

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考
必要性 (20点)	(1) 保全対象 ①人家戸数(8点)	・ 10戸～19戸	8	6	12戸
	②公共施設(4点)		4	0	該当なし
	③道路等(4点)	・ 国道、県道、鉄道	4	4	県道
	④河川(4点)	・ 1級河川	4	4	馬淵川
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)	・ あり	5	3	令和4年8月豪雨
	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度 ①山腹の状況(16点)		16	
		②森林の状況(6点)	・ 幼・老齢林、疎林	6	
		③斜面の傾斜(6点)	・ 25度～29度	6	
		④断層等の有無(6点)		6	
		⑤落石の危険性(6点)		6	
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度 ①山腹崩壊危険度評点(16点)	・ 12点未満 (C)	16	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定
		②荒廃発生源直下の 溪床勾配(8点)	・ 9度未満	8	溪床勾配2度
		③平均溪床勾配(8点)	・ 5度未満	8	平均溪床勾配2度
		④溪流の荒廃(8点)	・ あり	8	6
効率性 (30点)	(1) 経済性 ・ 費用便益比(B/C)(20点)	・ 5以上	20	20	B/C=9.05
	(2) 早期効果度 ・ 工事期間(10点)	・ 事業年数が5年以下	10	10	事業期間1年
計(100点)			100	69	

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	.	(b)	.	c
------	---	---	-----	---	---

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:林野公共事業における事業評価の手法について(令和7年4月)

基準年:令和7年

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	事業費	34.964	
	総 費 用 (C)	34.964	
便益項目	災害防止便益	316.569	
	総 便 益 (B)	316.569	
費用便益比(B/C)		9.05	

総合評価

総 合 評 価	AA ・ (A) ・ B ・ C
---------	------------------

(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和7年10月3日作成

事業名	予防治山事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課
路線名等		地区名	ふかほり 深堀	市町村 一関市

〔事業根拠法令等：森林法第41条〕

(1) 事業目的

○解決すべき課題
当地区は、一関市の東部に位置している。近年の局地的な豪雨により溪岸浸食を起こし溪流内に不安定土砂が多く見られることから、今後の大雨等により災害が発生する危険性があるため、早期対策が必要である。

○整備によって得られる効果
本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の人家や道路の保全が図られる。

(2) 事業内容

谷止工1基

(3) 整備目標等

いわて県民計画（2019～2028）
第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度）
Ⅵ 仕事・収入
39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります
③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進
山地災害防止機能が確保された集落数（集落）〔累計〕
現状値：1,000集落（令和4年）
目標値：1,020集落（令和8年）

(4) 事業計画期間及び総事業費

○事業計画期間：令和8年度～令和9年度
（用地着手予定年度：令和－年度、工事着手予定年度：令和9年度）
○総事業費：40 百万円

(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無
- ・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無
- ・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：C
生物的環境の評価：3
地形・地質、自然環境の評価：4
植生及び県レッドデータブック登載種の状況：無
- ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：有
希少野生動植物の生息の確認状況：無

(2) 環境配慮事項

・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。

○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。

項目評価	a	b	c
------	---	---	---

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考
必要性 (20点)	(1) 保全対象 ①人家戸数(8点)	・ 5戸～ 9戸	8	4	8戸
	②公共施設(4点)	・ 1箇所	4	2	松川地区自治会館
	③道路等(4点)	・ 市町村道	4	2	市道 地蔵平線
	④河川(4点)	・ その他河川	4	1	運南沢川(準用河川)
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)	・ あり	5	3	令和5年6月豪雨
	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度 ①山腹の状況(16点)		16	
		②森林の状況(6点)	・ 幼・老齢林、疎林	6	
		③斜面の傾斜(6点)	・ 30度以上	6	
		④断層等の有無(6点)		6	
		⑤落石の危険性(6点)		6	
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度 ①山腹崩壊危険度評点(16点)	・ 12点未満 (C)	16	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定
		②荒廃発生源直下の 溪床勾配(8点)	・ 9度未満	8	溪床勾配5度
		③平均溪床勾配(8点)	・ 5度～10度	8	平均溪床勾配5度
		④溪流の荒廃(8点)	・ あり	8	
効率性 (30点)	(1) 経済性 ・ 費用便益比(B/C)(20点)	・ 5以上	20	20	B/C=6.55
	(2) 早期効果度 ・ 工事期間(10点)	・ 事業年数が5年以下	10	10	事業期間2年
計(100点)			100	66	

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	.	(b)	.	c
------	---	---	-----	---	---

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:林野公共事業における事業評価の手法について(令和7年4月)

基準年:令和7年

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	事業費	33.891	
	総 費 用 (C)	33.891	
便益項目	災害防止便益	222.036	
	総 便 益 (B)	222.036	
費用便益比(B/C)		6.55	

総合評価

総 合 評 価	AA ・ (A) ・ B ・ C
---------	------------------

(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和7年10月3日作成

事業名	予防治山事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課
路線名等		地区名	なつやま 夏山	市町村 一関市

〔事業根拠法令等：森林法第41条〕

事業概要

(1) 事業目的

○解決すべき課題
当地区は、一関市の北東部に位置している。近年の局地的豪雨により、溪岸浸食を起こし、市道及び農地等に土砂が流出したため、荒廃溪流の復旧整備を図る必要がある。

○整備によって得られる効果
本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の人家や道路の保全が図られる。

(2) 事業内容

谷止工1基

(3) 整備目標等

いわて県民計画（2019～2028）
第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度）
VI 仕事・収入
39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります
③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進
山地災害防止機能が確保された集落数（集落）〔累計〕
現状値：1,000集落（令和4年）
目標値：1,020集落（令和8年）

(4) 事業計画期間及び総事業費

○事業計画期間：令和8年度～令和9年度
（用地着手予定年度：令和－年度、工事着手予定年度：令和9年度）
○総事業費：40 百万円

自然環境等の状況

(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無
- ・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無
- ・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：D
生物的環境の評価：2
地形・地質、自然環境の評価：4
植生及び県レッドデータブック登載種の状況：無
- ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：有
希少野生動植物の生息の確認状況：無

(2) 環境配慮事項

・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。

○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。

項目評価	a	b	c
------	---	---	---

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考
必要性 (20点)	(1) 保全対象 ①人家戸数(8点)	・ 5戸～ 9戸	8	4	9戸
	②公共施設(4点)		4	0	該当なし
	③道路等(4点)	・ 市町村道	4	2	市道 越後沢線
	④河川(4点)	・ その他河川	4	1	夏山川(準用河川)
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)	・ あり	5	3	令和5年6月豪雨
	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度 ①山腹の状況(16点)		16	
		②森林の状況(6点)	・ その他	6	
		③斜面の傾斜(6点)	・ 25度～29度	6	
		④断層等の有無(6点)	・ 断層あり	6	
		⑤落石の危険性(6点)	・ あり	6	
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度 ①山腹崩壊危険度評点(16点)	・ 12点未満 (C)	16	山腹崩壊危険度①～ ⑤の合計点で判定
		②荒廃発生源直下の 溪床勾配(8点)	・ 9度～13度	8	溪床勾配10度
		③平均溪床勾配(8点)	・ 5度～10度	8	平均溪床勾配6度
		④溪流の荒廃(8点)	・ あり	8	
効率性 (30点)	(1) 経済性 ・ 費用便益比(B/C)(20点)	・ 5以上	20	20	B/C=9.36
	(2) 早期効果度 ・ 工事期間(10点)	・ 事業年数が5年以下	10	10	事業期間2年
計(100点)			100	66	

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	.	(b)	.	c
------	---	---	-----	---	---

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:林野公共事業における事業評価の手法について(令和7年4月)

基準年:令和7年

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	事業費	33.891	
	総費用(C)	33.891	
便益項目	災害防止便益	317.260	
	総便益(B)	317.260	
費用便益比(B/C)		9.36	

総合評価

総合評価	AA ・ (A) ・ B ・ C
------	------------------

(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和7年10月3日作成

事業名	予防治山事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課
路線名等		地区名	かみあしざわ 上青沢	市町村 奥州市

〔事業根拠法令等：森林法第41条〕

(1) 事業目的

○解決すべき課題
当地区は、奥州市の北東部に位置している。令和6年8月の豪雨等により溪岸浸食を起し溪流内に不安定土砂が多く見られることから、今後の大雨等により災害が発生する危険性があるため、早期対策が必要である。

○整備によって得られる効果
本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の人家や道路の保全が図られる。

(2) 事業内容

谷止工1基

(3) 整備目標等

いわて県民計画（2019～2028）
第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度）
Ⅵ 仕事・収入
39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります
③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進
山地災害防止機能が確保された集落数（集落）〔累計〕
現状値：1,000集落（令和4年）
目標値：1,020集落（令和8年）

(4) 事業計画期間及び総事業費

○事業計画期間：令和8年度～令和9年度
（用地着手予定年度：令和－年度、工事着手予定年度：令和9年度）
○総事業費：40 百万円

(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無
- ・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無
- ・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：D
生物的環境の評価：2
地形・地質、自然環境の評価：4
植生及び県レッドデータブック掲載種の状況：無
- ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：有
希少野生動植物の生息の確認状況：無

(2) 環境配慮事項

・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。

○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。

項目評価	a	b	c
------	---	---	---

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考
必要性 (20点)	(1) 保全対象 ①人家戸数(8点)	・ 1戸～4戸	8	2	1戸
	②公共施設(4点)		4	0	該当なし
	③道路等(4点)	・ 国道、県道、鉄道	4	4	県道
	④河川(4点)	・ その他河川	4	1	広瀬川支流
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)	・ 著しい	5	5	令和6年8月豪雨
	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度 ①山腹の状況(16点)		16	
		②森林の状況(6点)	・ その他	6	
		③斜面の傾斜(6点)	・ 30度以上	6	
		④断層等の有無(6点)		6	
		⑤落石の危険性(6点)		6	
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度 ①山腹崩壊危険度評点(16点)	・ 12点未満 (C)	16	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定
		②荒廃発生源直下の 溪床勾配(8点)	・ 9度～13度	8	溪床勾配9.9度
		③平均溪床勾配(8点)	・ 5度～10度	8	平均溪床勾配9.7度
		④溪流の荒廃(8点)	・ 著しい	8	8
効率性 (30点)	(1) 経済性 ・ 費用便益比(B/C)(20点)	・ 3以上～5未満	20	15	B/C=4.28
	(2) 早期効果度 ・ 工事期間(10点)	・ 事業年数が5年以下	10	10	事業期間2年
計(100点)			100	65	

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	.	(b)	.	c
------	---	---	-----	---	---

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:林野公共事業における事業評価の手法について(令和7年4月)

基準年:令和7年

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	事業費	34.964	
	総費用(C)	34.964	
便益項目	災害防止便益	149.618	
	総便益(B)	149.618	
費用便益比(B/C)		4.28	

総合評価

総合評価	AA ・ (A) ・ B ・ C
------	------------------

(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和7年10月3日作成

事業名	林地荒廃防止事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課
路線名等		地区名	とどろち 外口	市町村 大船渡市

〔事業根拠法令等：森林法第41条〕

事業概要

(1) 事業目的

○解決すべき課題
当地区は、大船渡市の東部に位置している。令和7年2月の林野火災で森林の焼損が著しく、大雨等により市道等へ土砂流出のおそれがあるため、荒廃溪流の復旧整備を図る必要がある。

○整備によって得られる効果
本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の道路等の保全が図られる。

(2) 事業内容

谷止工1基

(3) 整備目標等

いわて県民計画（2019～2028）
第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度）
Ⅵ 仕事・収入
39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります
③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進
山地災害防止機能が確保された集落数（集落）〔累計〕
現状値：1,000集落（令和4年）
目標値：1,020集落（令和8年）

(4) 事業計画期間及び総事業費

○事業計画期間：令和8年度～令和9年度
（用地着手予定年度：令和-年度、工事着手予定年度：令和9年度）
○総事業費：30 百万円

自然環境等の状況

(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無
- ・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無
- ・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：A
生物的環境の評価:6
地形・地質、自然環境の評価:5
植生及び県レッドデータブック登載種の状況:無
- ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無:有
希少野生動植物の生息の確認状況:無

(2) 環境配慮事項

・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。

○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。

項目評価	a	b	c
------	---	---	---

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考
必要性 (20点)	(1) 保全対象		8	0	0戸
	①人家戸数(8点)		4	0	該当なし
	②公共施設(4点)	・市町村道	4	2	市道
	④河川(4点)		4	0	該当なし
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)	・著しい	5	5	令和7年2月林野火災
	(2) 他事業との連携(5点)	・あり	5	5	森林災害復旧事業等
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度		16	
		①山腹の状況(16点)			
		②森林の状況(6点)	・幼・老齢林、疎林	6	
		③斜面の傾斜(6点)	・30度以上	6	
		④断層等の有無(6点)		6	
		⑤落石の危険性(6点)		6	
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度	・12点未満(C)	16	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定
		①山腹崩壊危険度評点(16点)			
		②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)	・9度～13度	8	溪床勾配10度
		③平均溪床勾配(8点)	・5度～10度	8	平均溪床勾配6度
効率性 (30点)	(1) 経済性	・費用便益比(B/C)(20点)	・1以上～3未満	20	B/C=1.55
	(2) 早期効果度	・工事期間(10点)	・事業年数が5年以下	10	事業期間2年
	計(100点)		100	60	

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	.	(b)	.	c
------	---	---	-----	---	---

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:林野公共事業における事業評価の手法について(令和7年4月)

基準年:令和7年

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	事業費	25.418	
	総費用(C)	25.418	
便益項目	災害防止便益	39.483	
	総便益(B)	39.483	
費用便益比(B/C)		1.55	

総合評価

総合評価	AA ・ (A) ・ B ・ C
------	------------------

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和7年10月3日作成

事業名	漁港整備事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部漁港漁村課
路線名等	おおたなべ ぎょう 太田名部漁港	地区名	おおたなべ 太田名部	市町村 普代村
事業概要	〔事業根拠法令等：漁港及び漁場の整備等に関する法律〕			
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 本地区は、令和7年4月に新たな荷さばき所が供用開始されたことに伴い、他港の漁船の利用が増加しているが、港内静穏度の不足により慎重な作業を余儀なくされていることに加え、係留施設が不足していることにより陸揚げ前後に待機時間が生じている。また、漁港内泊地の混雑による漁船の接触や、漁具干場の不足による漁港外への漁具の運搬作業が発生するなど、漁業活動の効率性・安全性が確保されていない。</p> <p>○整備によって得られる効果 護岸、岸壁及び用地等の整備により、漁業活動の効率化や就労環境の改善が図られる。</p> <p>(2) 事業内容 護岸L=122.0m、C防波堤L=10.5m、-2m物揚場L=163.2m、-3m岸壁L=20.0m、船揚場L=30.0m、臨港道路L=49.8m、用地A=1,900m²</p> <p>(3) 整備目標等 いわて県民計画（2019～2028） 第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度） VI 仕事・収入 37 収益力の高い「食料・木材供給基地」をつくります ④ 生産基盤の着実な整備</p> <p>(4) 事業計画期間及び総事業費 ○事業計画期間：令和8年度～令和15年度 （用地着手予定年度：-年度、工事着手予定年度：令和9年度） ○総事業費：1,320百万円</p>			
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 全国の状況 漁港漁場整備長期計画（令和4年3月25日閣議決定）において、水産業と漁村を取り巻く状況の変化と水産業の現場や国民のニーズを踏まえ、水産業の基盤となる漁港・漁場に求められる役割を改めて確認し、時代の要請に的確に対応するため、「産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化」、「海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保」、「海業（うみぎょう）振興と多様な人材の活躍による漁村の魅力と所得の向上」の3つの重点課題を整理し、漁港・漁場の整備を戦略的かつ画期的に推進することとしている。</p> <p>(2) 本県内の状況 「いわて県民計画（2019～2028）」において、収益力の高い水産業を実現するための生産基盤の着実な整備及び自然災害に強い漁村づくりに向けた防災・減災対策を進めるため、漁港施設の長寿命化や漁場生産力の向上、水産物の陸揚げ作業等の効率化・省力化に資する整備に取り組むとともに、高波などに備えた防波堤等の機能強化等を推進することとしている。 また、「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランに掲げる水産施策のうち、水産基盤整備の具体的な方向性を示すものとして、令和5年度に「岩手県水産基盤整備方針（2023～2026）」を策定し、働きやすい漁業地域づくり、災害に強い漁業地域づくり、魅力あふれる漁業地域づくりに取り組むこととしている。</p> <p>(3) 施工地域における状況 本漁港は、定置網漁業のほか、ワカメ、コンブ等の海面養殖業や、ウニ、アワビ等の採介藻漁業が盛んに営まれている。また、魚市場が立地しており、県北圏域の流通拠点漁港として重要な役割を担っている。 令和7年4月に高度衛生管理型荷さばき所が供用開始されたが、漁業関係者からは、荷さばき所付近の静穏度不足や利用漁船増加に伴う混雑への対応を求められている。</p>			

自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分 ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 B ・希少野生動植物生息の有無 無 ・埋蔵文化財包蔵地の有無 無																																																																																											
	(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費 ・広域振興局で実施している公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、環境に配慮した事業を進めることとする。 ・排出ガス対策型建設機械を使用し大気汚染防止に努める。 ○自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。																																																																																											
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 項目評価 a . b . c </div>																																																																																												
事業計画の妥当性	(1) 事業に関する指標からみた評価																																																																																											
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価指標</th> <th>区分</th> <th>配点</th> <th>評点</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">必要性</td> <td>係船岸充足率</td> <td>60%未満</td> <td>10</td> <td style="text-align: center;">5 55%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>漁港施設用地充足率</td> <td>70%未満</td> <td>10</td> <td style="text-align: center;">4 65%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>漁業経営体数</td> <td>70経営体以上</td> <td>5</td> <td style="text-align: center;">3 89経営体</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域振興</td> <td>2項目以上</td> <td>5</td> <td style="text-align: center;">5 2項目</td> <td>山村地域、過疎地域</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">重要性</td> <td>利用漁船数</td> <td>200隻以上</td> <td>5</td> <td style="text-align: center;">4 261隻</td> <td></td> </tr> <tr> <td>属地陸揚量</td> <td>1,000 t 以上</td> <td>5</td> <td style="text-align: center;">5 5,091.4t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>属地陸揚金額</td> <td>3 億円以上</td> <td>5</td> <td style="text-align: center;">5 8.32億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>漁港機能</td> <td>3 項目以上</td> <td>5</td> <td style="text-align: center;">5 5項目</td> <td>流通、TAC、防災、養殖、定置</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">緊急性</td> <td>静穏度充足率</td> <td>40%未満</td> <td>10</td> <td style="text-align: center;">8 22%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>被災履歴</td> <td>越波等による被災歴あり</td> <td>5</td> <td style="text-align: center;">5 被災歴あり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>関連事業</td> <td>2 事業以上</td> <td>5</td> <td style="text-align: center;">5 2事業</td> <td>機能保全、浜活</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">効率性</td> <td>費用便益比 (B/C)</td> <td>1.20以上</td> <td>15</td> <td style="text-align: center;">15 1.25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>改善度</td> <td>1.20以上</td> <td>5</td> <td style="text-align: center;">5 1.53</td> <td>係船岸充足率</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">熟度</td> <td>地元の協力体制</td> <td>非常に良い</td> <td>10</td> <td style="text-align: center;">10 非常に良い</td> <td>地元漁協に対して事業内容を説明し、協力の了承が得られている。市町村負担金について了承が得られている。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">84</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					評価指標		区分	配点	評点	備 考	必要性	係船岸充足率	60%未満	10	5 55%		漁港施設用地充足率	70%未満	10	4 65%		漁業経営体数	70経営体以上	5	3 89経営体		地域振興	2項目以上	5	5 2項目	山村地域、過疎地域	重要性	利用漁船数	200隻以上	5	4 261隻		属地陸揚量	1,000 t 以上	5	5 5,091.4t		属地陸揚金額	3 億円以上	5	5 8.32億円		漁港機能	3 項目以上	5	5 5項目	流通、TAC、防災、養殖、定置	緊急性	静穏度充足率	40%未満	10	8 22%		被災履歴	越波等による被災歴あり	5	5 被災歴あり		関連事業	2 事業以上	5	5 2事業	機能保全、浜活	効率性	費用便益比 (B/C)	1.20以上	15	15 1.25		改善度	1.20以上	5	5 1.53	係船岸充足率	熟度	地元の協力体制	非常に良い	10	10 非常に良い	地元漁協に対して事業内容を説明し、協力の了承が得られている。市町村負担金について了承が得られている。	計				84	
	評価指標		区分	配点	評点	備 考																																																																																						
	必要性	係船岸充足率	60%未満	10	5 55%																																																																																							
		漁港施設用地充足率	70%未満	10	4 65%																																																																																							
		漁業経営体数	70経営体以上	5	3 89経営体																																																																																							
		地域振興	2項目以上	5	5 2項目	山村地域、過疎地域																																																																																						
	重要性	利用漁船数	200隻以上	5	4 261隻																																																																																							
		属地陸揚量	1,000 t 以上	5	5 5,091.4t																																																																																							
		属地陸揚金額	3 億円以上	5	5 8.32億円																																																																																							
		漁港機能	3 項目以上	5	5 5項目	流通、TAC、防災、養殖、定置																																																																																						
	緊急性	静穏度充足率	40%未満	10	8 22%																																																																																							
		被災履歴	越波等による被災歴あり	5	5 被災歴あり																																																																																							
		関連事業	2 事業以上	5	5 2事業	機能保全、浜活																																																																																						
	効率性	費用便益比 (B/C)	1.20以上	15	15 1.25																																																																																							
		改善度	1.20以上	5	5 1.53	係船岸充足率																																																																																						
	熟度	地元の協力体制	非常に良い	10	10 非常に良い	地元漁協に対して事業内容を説明し、協力の了承が得られている。市町村負担金について了承が得られている。																																																																																						
	計				84																																																																																							
	○事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が80点以上であることから「a」とした。																																																																																											
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 項目評価 a . b . c </div>																																																																																											

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法：水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン(令和7年6月)

基準年：令和7年

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	事業費	984.9	
	総 費 用 (C)	984.9	
便益項目	水産物の生産性向上	910.9	
	漁業就業環境の向上	318.2	
	総 便 益 (B)	1,229.1	
費用便益比 (B/C)		1.25	

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項
特になし

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

特になし

(4) コスト縮減対策の取り組み状況

- ・再生資材（砕石）の使用
- ・既設消波ブロックの流用
- ・地形や周辺の環境等を考慮し、施工性・経済性等を総合的に評価し、最も経済的になるよう検討する。

(5) 代替案の比較検討結果

本事業は既存の施設を改良することにより、作業の効率化や安全性の向上を図るものであり、代替案立案の可能性はない。

(1) 総合評価

総合評価	AA・A・B・C
------	----------

(事業名)太田名部地区漁港整備事業

着手 年度	完了予 定年度	事業費 (百万円)	自然環 境等の 状況に 係る評 価結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R8	R15	1,320	a	84	a	1.25

○総合評価に係るコメント

- ・本漁港は、県北圏域の流通拠点漁港であり、本事業の実施により、漁業活動の効率化及び就労環境の改善が図られ、水産業の振興に資するものである。
- ・「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価、また「事業計画の妥当性」については、評価指標の評点の合計が80点以上となっていることから「a」評価としており、総合評価を「AA」とした。
- ・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、事業の実施が妥当であると判断し、効率的で高収益な水産業の実現に資する流通基盤の着実な整備を実施していく必要があるものとする。

(2) その他特記事項

特になし

総
合
評
価

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和7年 10月3日作成

事業名	漁港整備事業	(補助) 単独	担当部課名	農林水産部漁港漁村課	
路線名等	おとべぎょう 音部漁港	地区名	おとべ 音部	市町村	宮古市
事業概要	〔事業根拠法令等：漁港及び漁場の整備等に関する法律〕				
	(1) 事業目的				
	<p>○解決すべき課題</p> <p>本漁港は、舗装された用地の不足により、漁船の陸上保管場所が少なく、臨港道路上や民有地に置かざるを得ない状況にあるほか、定置網や養殖用の漁具等の保管・修理を漁港外の民有地で行っており、出漁の都度、漁港まで漁具を運搬している。また、準備・休けいの係留施設が不足しており、出漁待ちの発生や漁獲物の陸揚げ・搬出作業と漁船の上下架作業が輻輳するなど、非効率な漁業活動を強いられている。加えて、荒天時には、護岸からの越波により臨港道路の通行に支障が生じており、漁船の見回り・強固係留作業の安全性が確保されていない。</p> <p>○整備によって得られる効果</p> <p>用地舗装など既存ストックを有効活用した整備により、漁業生産の効率性や安全性の向上、就労環境の改善を図る。</p>				
	(2) 事業内容				
	用地 A=14,700m ² 、船揚場 L=30.7m、-2m物揚場L=43.1m、護岸L=53.0m				
社会経済情勢等の状況	(3) 整備目標等				
	<p>いわて県民計画 (2019～2028)</p> <p>第2期アクションプラン-政策推進プラン- (2023～2026)</p> <p>VI-37-④ 生産基盤の着実な整備</p>				
	(4) 事業計画期間及び総事業費				
	<p>○事業計画期間 : 令和8年度～令和10年度</p> <p>(用地着手予定年度 : ー 年度、工事着手予定年度 : 令和8年度)</p> <p>○総事業費 : 450.3百万円</p>				
	(1) 全国の状況				
社会経済情勢等の状況	<p>漁港漁場整備長期計画 (令和4年3月25日閣議決定) において、水産業と漁村を取り巻く状況の変化と水産業の現場や国民のニーズを踏まえ、水産業の基盤となる漁港・漁場に求められる役割を改めて確認し、時代の要請に的確に対応するため、「産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化」、「海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保」、「海業 (うみぎょう) 振興と多様な人材の活躍による漁村の魅力と所得の向上」の3つの重点課題を整理し、漁港・漁場の整備を戦略的かつ画期的に推進することとしている。</p>				
	(2) 本県内の状況				
	<p>「いわて県民計画 (2019～2028)」において、収益力の高い水産業を実現するための生産基盤の着実な整備及び自然災害に強い漁村づくりに向けた防災・減災対策を進めるため、漁港施設の長寿命化や漁場生産力の向上、水産物の陸揚げ作業等の効率化・省力化に資する整備に取り組むとともに、高波などに備えた防波堤等の機能強化等を推進することとしている。</p> <p>また、「いわて県民計画 (2019～2028)」第2期アクションプランに掲げる水産施策のうち、水産基盤整備の具体的な方向性を示すものとして、令和5年度に「岩手県水産基盤整備方針 (2023～2026)」を策定し、働きやすい漁業地域づくり、災害に強い漁業地域づくり、魅力あふれる漁業地域づくりに取り組むこととしている。</p>				
	(3) 施工地域における状況				
	<p>本漁港は、宮古市重茂半島に位置し、コンブ・ワカメの海面養殖業、アワビ・ウニの採介漁業が盛んに営まれており、養殖漁業と栽培漁業を主力としたつくり育てる漁業を積極的に推進している。また、意欲ある担い手の確保・育成が順調に進んでいる地区であるとともに、本漁港には漁協自営の加工施設が立地しており、重茂半島全域で生産された養殖コンブ・ワカメの集出荷拠点として、重要な役割を有している。</p> <p>漁業関係者からは、漁業作業の効率化、省力化及び就労環境改善のための施設整備を求められている。</p>				

自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分 ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 B ・希少野生動植物生息の有無 有 (県レッドデータBランク) ・埋蔵文化財包蔵地の有無 無																																																																																										
	(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費 ・広域振興局で実施している公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、環境に配慮した事業を進めることとする。 ・排出ガス対策型建設機械を使用し大気汚染防止に努める。 ・再生資材（碎石）を積極的に活用し資源の有効活用を図る。 ○自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。																																																																																										
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 項目評価 a . b . c </div>																																																																																											
事業計画の妥当性	(1) 事業に関する指標からみた評価																																																																																										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>評価指標</th> <th>区分</th> <th>配点</th> <th>評点</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">必要性</td> <td>係船岸充足率</td> <td>30%未満</td> <td>10</td> <td>$\frac{9}{26\%}$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>漁港施設用地充足率</td> <td>70%未満</td> <td>10</td> <td>$\frac{4}{62\%}$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>漁業経営体数</td> <td>100経営体以上</td> <td>5</td> <td>$\frac{4}{100経営体}$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域振興</td> <td>2項目以上</td> <td>5</td> <td>$\frac{5}{2項目}$</td> <td>山村地域、過疎地域</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">重要性</td> <td>利用漁船数</td> <td>200隻以上</td> <td>5</td> <td>$\frac{4}{237隻}$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>属地陸揚量</td> <td>1,000 t 以上</td> <td>5</td> <td>$\frac{5}{3,859t}$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>属地陸揚金額</td> <td>3億円以上</td> <td>5</td> <td>$\frac{5}{8.6億円}$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>漁港機能</td> <td>2項目</td> <td>5</td> <td>$\frac{3}{2項目}$</td> <td>養殖、増殖</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">緊急性</td> <td>静穏度充足率</td> <td>40%未満</td> <td>10</td> <td>$\frac{8}{26\%}$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>被災履歴</td> <td>越波等するが被災歴なし</td> <td>5</td> <td>$\frac{3}{被災歴なし}$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>関連事業</td> <td>2事業以上</td> <td>5</td> <td>$\frac{5}{2事業}$</td> <td>水産環境、浜活</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率性</td> <td>費用便益比 (B/C)</td> <td>1.2以上</td> <td>15</td> <td>$\frac{15}{1.50}$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>改善度</td> <td>1.1以上</td> <td>5</td> <td>$\frac{3}{1.12}$</td> <td>係船岸充足率、漁港施設用地充足率</td> </tr> <tr> <td>熟度</td> <td>地元の協力体制</td> <td>非常に良い</td> <td>10</td> <td>$\frac{10}{非常に良い}$</td> <td>地元漁協に対して事業内容を説明し、協力の了承が得られている。市町村負担金について了承が得られている。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td></td> <td>100</td> <td>83</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						評価指標	区分	配点	評点	備 考	必要性	係船岸充足率	30%未満	10	$\frac{9}{26\%}$		漁港施設用地充足率	70%未満	10	$\frac{4}{62\%}$		漁業経営体数	100経営体以上	5	$\frac{4}{100経営体}$		地域振興	2項目以上	5	$\frac{5}{2項目}$	山村地域、過疎地域	重要性	利用漁船数	200隻以上	5	$\frac{4}{237隻}$		属地陸揚量	1,000 t 以上	5	$\frac{5}{3,859t}$		属地陸揚金額	3億円以上	5	$\frac{5}{8.6億円}$		漁港機能	2項目	5	$\frac{3}{2項目}$	養殖、増殖	緊急性	静穏度充足率	40%未満	10	$\frac{8}{26\%}$		被災履歴	越波等するが被災歴なし	5	$\frac{3}{被災歴なし}$		関連事業	2事業以上	5	$\frac{5}{2事業}$	水産環境、浜活	効率性	費用便益比 (B/C)	1.2以上	15	$\frac{15}{1.50}$		改善度	1.1以上	5	$\frac{3}{1.12}$	係船岸充足率、漁港施設用地充足率	熟度	地元の協力体制	非常に良い	10	$\frac{10}{非常に良い}$	地元漁協に対して事業内容を説明し、協力の了承が得られている。市町村負担金について了承が得られている。		計		100	83
	評価指標	区分	配点	評点	備 考																																																																																						
必要性	係船岸充足率	30%未満	10	$\frac{9}{26\%}$																																																																																							
	漁港施設用地充足率	70%未満	10	$\frac{4}{62\%}$																																																																																							
	漁業経営体数	100経営体以上	5	$\frac{4}{100経営体}$																																																																																							
	地域振興	2項目以上	5	$\frac{5}{2項目}$	山村地域、過疎地域																																																																																						
重要性	利用漁船数	200隻以上	5	$\frac{4}{237隻}$																																																																																							
	属地陸揚量	1,000 t 以上	5	$\frac{5}{3,859t}$																																																																																							
	属地陸揚金額	3億円以上	5	$\frac{5}{8.6億円}$																																																																																							
	漁港機能	2項目	5	$\frac{3}{2項目}$	養殖、増殖																																																																																						
緊急性	静穏度充足率	40%未満	10	$\frac{8}{26\%}$																																																																																							
	被災履歴	越波等するが被災歴なし	5	$\frac{3}{被災歴なし}$																																																																																							
	関連事業	2事業以上	5	$\frac{5}{2事業}$	水産環境、浜活																																																																																						
効率性	費用便益比 (B/C)	1.2以上	15	$\frac{15}{1.50}$																																																																																							
	改善度	1.1以上	5	$\frac{3}{1.12}$	係船岸充足率、漁港施設用地充足率																																																																																						
熟度	地元の協力体制	非常に良い	10	$\frac{10}{非常に良い}$	地元漁協に対して事業内容を説明し、協力の了承が得られている。市町村負担金について了承が得られている。																																																																																						
	計		100	83																																																																																							
○事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が 80 点以上であることから「a」とした。																																																																																											
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 項目評価 a . b . c </div>																																																																																											

事業計画の妥当性

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法：水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン(令和7年6月) 基準年：令和7年

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	事業費	383.89	
	総 費 用 (C)	383.89	
便 益 項 目	水産物の生産性向上	467.44	
	漁業就業環境の向上	110.30	
	総 便 益 (B)	577.74	
費 用 便 益 比 (B/C)		1.50	

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項
特になし

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

特になし

(4) コスト縮減対策の取り組み状況

・再生資材（砕石）の使用による縮減額 約4,300千円

・地形や周辺の環境等を考慮し、施工性・経済性等を総合的に評価し、最も経済的になるよう検討する。

(5) 代替案の比較検討結果

本事業は、既存の施設を改良することにより、作業の効率化や安全性の向上を図るものであり、代替案立案の可能性はない。

(1) 総合評価

総 合 評 価	AA ・ A ・ B ・ C
---------	----------------

(事業名)音部地区漁港整備事業

着手 年度	完了予 定年度	事業費 (百万円)	自然環 境等の 状況に 係る評 価結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R8	R10	450.3	a	83	a	1.50

○総合評価に係るコメント

- ・当該漁港は、地域水産業の拠点であり、本事業の実施により、漁業生産の効率化が図られ、水産業の振興に資するものである。
- ・「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価、また、「事業計画の妥当性」については、評価指標の評点の合計が80 点以上 となっていることから「a」評価としており、総合評価を「AA」とした。
- ・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、事業の実施が妥当であると判断し、効率的で高収益な水産業の実現に資する生産基盤の着実な整備を実施していく必要があるものとする。

(2) その他特記事項

特になし

総
合
評
価

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和7年 10月3日作成

事業名	漁港整備事業		補助・単独	担当部課名	農林水産部漁港漁村課	
路線名等	やまだ ぎょう 山田 漁港	地区名	やまだ 山田	市町村	下閉伊郡山田町	
事業概要	〔事業根拠法令等：漁港及び漁場の整備等に関する法律〕					
	(1) 事業目的					
	<p>○解決すべき課題</p> <p>本漁港は、定置網の陸揚げ・積込みを行う岸壁の背後用地が未舗装のため、定置網等の漁具保管・修理を行うことができず、岸壁から遠く離れた場所を使用して作業をしている状況であるほか、漁港内の荷さばき施設に隣接する用地が未舗装であることから、水産物を運搬するフォークリフトが輻輳し、非効率な漁業活動を強いられている。</p> <p>○整備によって得られる効果</p> <p>用地舗装により、岸壁近くでの漁具保管・修理が可能となるほか、荷さばき所周辺の輻輳が解消され、漁業活動の効率化が図られる。</p>					
	(2) 事業内容					
	用地舗装 A=3,850m ²					
自然環境等の状況	(3) 整備目標等					
	<p>いわて県民計画 (2019～2028)</p> <p>第2期アクションプラン-政策推進プラン- (2023～2026)</p> <p>VI-37-④ 生産基盤の着実な整備</p>					
	(4) 事業計画期間及び総事業費					
	<p>○事業計画期間 : 令和8年度～令和9年度</p> <p>(用地着手予定年度 : - 年度、工事着手予定年度 : 令和8年度)</p> <p>○総事業費 : 26.0百万円</p>					
	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分					
自然環境等の状況	<ul style="list-style-type: none"> 岩手県自然環境保全指針による保全区分 C 希少野生動植物生息の有無 無 埋蔵文化財包蔵地の有無 無 					
	(2) 環境配慮事項					
	<ul style="list-style-type: none"> 広域振興局で実施している公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、環境に配慮した事業を進めることとする。 排出ガス対策型建設機械を使用し大気汚染防止に努める。 再生資材（碎石）を積極的に使用し資源の有効活用を図る。 					
	○自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方法に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 項目評価 a . b . c </div>					

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備 考
必要性	係船岸充足率	90%以上	10	0 100%	
	漁港施設用地充足率	90%以上	10	0 97%	
	漁業経営体数	70経営体 以上	5	3 72経営体	
	地域振興	2項目以上	5	5 2項目	過疎地域、辺地地域
重要性	利用漁船数	200隻以上	5	4 251隻	
	属地陸揚量	1000t以上	5	5 5154t	
	属地陸揚金額	3億円以上	5	5 10.3億円	
	漁港機能	3項目以上	5	5 6項目	避難、防災、栽培、養 殖、増殖、定置
緊急性	静穏度充足率	90%以上	10	0 92%	
	被災履歴	越波、被災歴なし	5	0 越波、被災歴なし	
	関連事業	2事業以上	5	5 2事業	機能保全、浜活
効率性	費用便益比(B/C)	1.20以上	15	15 3.65	
	改善度	1.20以上	5	5 1.22	用地充足率
熟度	地元の協力体制	非常に良い	10	10 非常に良い	地元漁協に対して事業内容を説明し、協力の 了承が得られている。 市町村負担金について了承が得られている。
計			100	62	

○事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a . (b) . c
------	-------------

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン(令和7年6月改訂) 基準年:令和7年

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	事業費	22.31	
	総 費 用 (C)	22.31	
便益項目	水産物の生産性向上	81.48	
	総 便 益 (B)	81.48	
費用便益比(B/C)		3.65	

総合評価

総 合 評 価	AA ・ A ・ B ・ C
---------	----------------

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和7年 10月3日作成

事業名	漁港整備事業	補助・ <u>単独</u>	担当部課名	農林水産部漁港漁村課
路線名等	たろう ぎょこう 田老 漁港	地区名	たろう 田老	市町村 宮古市

〔事業根拠法令等：漁港及び漁場の整備等に関する法律〕

事業概要

(1) 事業目的

○解決すべき課題
本漁港の清浄海水供給施設は、漁港外との海水交換により港内水質を維持するとともに、漁港内で水産物の加工等に清浄海水を使用することを目的として整備したものである。
震災後、漁港内でウニ等の陸上養殖が行われており、養殖に適した量の海水供給が必要となっているが、既存施設は海水供給量を電源の『入・切』のみで制御する仕様となっており、非効率な運用を強いられている。また、近年の物価高騰に伴う電気料金上昇により、維持管理費が増大している。そのため、インバーター（電気の周波数や電圧を自在に調整することにより、電力の無駄をなくし、省エネに貢献するもの）を設置し、現地の状況に合った細かな運転制御により、適切な海水供給と維持管理の効率化が必要となっている。

○整備によって得られる効果
インバーターを整備することにより、現地の状況にあった海水供給量の制御が可能となることから維持管理費の低減が図られる。

(2) 事業内容
清浄海水供給施設 N=1 式

(3) 整備目標等
いわて県民計画（2019～2028）
第2期アクションプラン-政策推進プラン-（2023～2026）
VI-37-④ 生産基盤の着実な整備

(4) 事業計画期間及び総事業費
○事業計画期間 ： 令和8年度

(用地着手予定年度 ： - 年度、工事着手予定年度 ： 令和8年度)

○総事業費 ： 5.2百万円

自然環境等の状況

(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・ 岩手県自然環境保全指針による保全区分 A
- ・ 希少野生動植物生息の有無 有（県レッドデータB～Dランク）
- ・ 埋蔵文化財包蔵地の有無 無

(2) 環境配慮事項
・ 事業実施に先立ち、公共事業に係る希少野生動植物調査協議会の対象外であることを確認している。

○自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方法に沿って対応をしていることから「b」とした。

項目評価	a . b . c
------	---

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備 考
必要性	係船岸充足率	50%未満	10	6 48%	
	漁港施設用地充足率	80%未満	10	3 75%	
	漁業経営体数	70経営体 以上	5	3 76経営体	
	地域振興	2項目以上	5	5 2項目	山村地域、過疎地域
重要性	利用漁船数	300隻以上	5	5 340隻	
	属地陸揚量	1000t以上	5	5 1619t	
	属地陸揚金額	3億円以上	5	5 4.18億円	
	漁港機能	3項目以上	5	5 8項目	流通・加工、TAC、防災、観光、栽培、養殖、増殖、定置
緊急性	静穏度充足率	40%未満	10	8 39%	
	被災履歴	越波、被災歴なし	5	0 越波、被災歴なし	
	関連事業	2事業以上	5	5 3事業	漁村再生、水産環境、浜活
効率性	費用便益比(B/C)	1.20以上	15	15 3.59	
	改善度	1.00	5	0 1.00	
熟度	地元の協力体制	非常に良い	10	10 非常に良い	地元漁協に対して事業内容を説明し、協力の了承が得られている。 市町村負担金について了承が得られている。
計			100	75	

○事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価 a . (b) . c

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン(令和7年6月改訂) 基準年:令和7年

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	事業費	4.55	
	総 費 用 (C)	4.55	
便益項目	水産物の生産性向上	16.34	
	総 便 益 (B)	16.34	
費用便益比(B/C)		3.59	

総合評価

総 合 評 価

AA . A . (B) . C

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和7年10月6日作成

事業名	地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)	補助・単独	担当部課名	県土整備部道路建設課		
路線名等	いっぽんこくどう 一般国道 282号	地区名	いつかいち 五日市	市町村 八幡平市		
事業概要	〔事業根拠法令等：道路法第12条、第50条〕					
	(1) 事業目的					
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 解決すべき課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般国道282号は、盛岡市から青森県平川市を結ぶ幹線道路であり、北東北の物流・観光・産業を支えているほか、並行する東北縦貫自動車道路の通行止め時には迂回路として機能するとともに、岩手県地域防災計画における緊急輸送路道路（第1次路線）及び重要物流道路制度における代替・補完路に位置付けられている。 ・ 当該区間は、急カーブ区間が存在することに加え、人家が連担している中で幅員が狭小であることから、特に冬期における車両のすれ違いなど安全で円滑な交通の支障となっている。 ○ 整備によって得られる効果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通あい路区間の解消により、災害時の緊急輸送道路及び重要物流道路制度における代替・補完路の機能強化とともに、安全で円滑な交通の確保が図られる。 					
	(2) 事業内容					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画延長：L=700m（2車線（片側歩道）） ・ 計画幅員：W=6.5（12.5）m 					
社会経済情勢等の状況	(3) 整備目標等					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 線形不良、幅員狭小の解消：旧道延長700m 					
	(4) 事業計画期間及び総事業費					
	○事業計画期間：令和8年度～令和17年度 （用地着手予定年度：令和10年度、工事着手予定年度：令和13年度） ○総事業費：1,100百万円					
	(1) 全国の状況					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国の主要施策の基本方針として、「防災・減災、国土強靱化」「予防保全型メンテナンスへの本格転換」「人流・物流を支えるネットワーク・拠点の整備」「2050年カーボンニュートラルの実現に向けた道路の脱炭素化の推進」「道路システムのDX」「道路空間の安全・安心や賑わいの創出」を定め、道路施策に取り組むこととしている。 						
(2) 本県内の状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いわて県民計画（2019～2028）において、社会基盤分野として『防災対策や産業振興など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手』を政策推進の基本的な考え方としている。 ・ この中で道路分野では、災害に強い道路ネットワークを構築するため、幹線道路の整備や緊急輸送道路等の防災機能の強化及び日常生活を支える安全・安心な道づくりのため、救急輸送ルートの整備や地域の実情に応じた道路整備、物流の効率化など生産性の向上を図るため、内陸部と港湾を結ぶ道路や工業団地、インターチェンジへのアクセス道路の整備を推進することとしている。 						
(3) 施工地域における状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 八幡平市から当該地区の道路整備について強い要望がある。 						
(参考) 予算の動向						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路改築関係予算は震災前（平成22年度）の約6割程度で推移している。 ・ 今後は整備効果の早期発現を図るため、「選択と集中」により継続地区に重点投資するほか、新規地区は、必要性、緊急性等の高い箇所を厳選して着手することとしている。 						
道路建設課所管事業（補助・県単）の過去5年間の予算状況						
年度	H22	R3	R4	R5	R6	R7
事業費（百万円）	11,078	5,293	6,160	6,271	5,926	6,626
対前年度比	—	20.8%	116.4%	101.8%	94.5%	111.8%
※ R6以前は2月補正予算、R7は当初予算。直轄負担金は含まない。						

自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分 <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県自然環境保全指針による保全区分 : C、D ・ 希少野生動植物の生息の有無 : 有 (県レッドデータC, Dランク) ・ 埋蔵文化財包蔵地の有無 : 有 (散布地・城館跡) 																																																																																																																																			
	(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実施にあたっては、広域振興局等で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら、必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進めることとする。 ・ 埋蔵文化財包蔵地については、関係機関と協議のうえ、必要に応じて調査等を実施する。 ・ 施工にあたっては、排ガス対策及び低騒音型建設機械の使用、再生アスファルト合材及び再生砕石の使用を基本とする。 																																																																																																																																			
※ 自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。																																																																																																																																				
<div style="text-align: right;">項目評価 a . b . c</div>																																																																																																																																				
事業計画の妥当性	(1) 事業に関する指標からみた評価																																																																																																																																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価指標</th> <th>区分</th> <th>配点</th> <th>評点</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="9">必要性</td> <td>車道等幅員</td> <td>現況最小幅員<規定値-2m</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>現況幅員6.5m (規定値7.0m)</td> </tr> <tr> <td>曲線半径</td> <td>現況最小半径<-10km/h縮小値</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>現況曲線半径50m (縮小値80m)</td> </tr> <tr> <td>縦断勾配</td> <td>現況勾配≤規定値 (5%)</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>現況縦断勾配3.8% (規定値5%)</td> </tr> <tr> <td>歩道設置の必要性</td> <td>1項目以上該当</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>人家連坦地区</td> </tr> <tr> <td>混雑度</td> <td>現況混雑度<1.0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0.34</td> </tr> <tr> <td>定時性</td> <td>10km/h以上</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>速度差11.8km/h</td> </tr> <tr> <td>事故率</td> <td>履歴なし</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0件/億台キロ</td> </tr> <tr> <td>過疎地域等の振興</td> <td>過疎山振</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>八幡平市</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>30</td> <td>20</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">重要性</td> <td>ネットワークの位置付け</td> <td>代替・補完路</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>代替・補完路</td> </tr> <tr> <td>産業振興、生活支援</td> <td>4項目以上該当</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>物流支援、観光支援、公共施設アクセス、交通拠点アクセス、通園通学路の安全性向上</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>30</td> <td>30</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">緊急性</td> <td>関連事業の有無</td> <td>なし</td> <td>5</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等</td> <td>あり</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>通行危険箇所 (急傾斜地の崩壊)</td> </tr> <tr> <td>部分供用の有無</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10km以内に迂回路</td> <td>なし</td> <td>5</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>15</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率性</td> <td>費用便益比 (B/C)</td> <td>$1.5 \leq B/C < 3.0$</td> <td>20</td> <td>18</td> <td>B/C=2.2 (3.1)</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>20</td> <td>18</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">熟度</td> <td>地元の協力</td> <td>0%</td> <td>3</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地元要望</td> <td>あり</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>5</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td></td> <td>100</td> <td>80</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					評価指標		区分	配点	評点	備 考	必要性	車道等幅員	現況最小幅員<規定値-2m	5	5	現況幅員6.5m (規定値7.0m)	曲線半径	現況最小半径<-10km/h縮小値	5	5	現況曲線半径50m (縮小値80m)	縦断勾配	現況勾配≤規定値 (5%)	5	0	現況縦断勾配3.8% (規定値5%)	歩道設置の必要性	1項目以上該当	3	3	人家連坦地区	混雑度	現況混雑度<1.0	2	0	0.34	定時性	10km/h以上	2	2	速度差11.8km/h	事故率	履歴なし	3	0	0件/億台キロ	過疎地域等の振興	過疎山振	5	5	八幡平市	小計		30	20		重要性	ネットワークの位置付け	代替・補完路	15	15	代替・補完路	産業振興、生活支援	4項目以上該当	15	15	物流支援、観光支援、公共施設アクセス、交通拠点アクセス、通園通学路の安全性向上	小計		30	30		緊急性	関連事業の有無	なし	5	0		冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等	あり	5	5	通行危険箇所 (急傾斜地の崩壊)	部分供用の有無	-	-	-		10km以内に迂回路	なし	5	5		小計		15	10		効率性	費用便益比 (B/C)	$1.5 \leq B/C < 3.0$	20	18	B/C=2.2 (3.1)	小計		20	18		熟度	地元の協力	0%	3	0		地元要望	あり	2	2		小計		5	2		合計			100	80	
	評価指標		区分	配点	評点	備 考																																																																																																																														
	必要性	車道等幅員	現況最小幅員<規定値-2m	5	5	現況幅員6.5m (規定値7.0m)																																																																																																																														
		曲線半径	現況最小半径<-10km/h縮小値	5	5	現況曲線半径50m (縮小値80m)																																																																																																																														
		縦断勾配	現況勾配≤規定値 (5%)	5	0	現況縦断勾配3.8% (規定値5%)																																																																																																																														
		歩道設置の必要性	1項目以上該当	3	3	人家連坦地区																																																																																																																														
		混雑度	現況混雑度<1.0	2	0	0.34																																																																																																																														
		定時性	10km/h以上	2	2	速度差11.8km/h																																																																																																																														
		事故率	履歴なし	3	0	0件/億台キロ																																																																																																																														
		過疎地域等の振興	過疎山振	5	5	八幡平市																																																																																																																														
		小計		30	20																																																																																																																															
	重要性	ネットワークの位置付け	代替・補完路	15	15	代替・補完路																																																																																																																														
		産業振興、生活支援	4項目以上該当	15	15	物流支援、観光支援、公共施設アクセス、交通拠点アクセス、通園通学路の安全性向上																																																																																																																														
		小計		30	30																																																																																																																															
	緊急性	関連事業の有無	なし	5	0																																																																																																																															
		冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等	あり	5	5	通行危険箇所 (急傾斜地の崩壊)																																																																																																																														
		部分供用の有無	-	-	-																																																																																																																															
		10km以内に迂回路	なし	5	5																																																																																																																															
		小計		15	10																																																																																																																															
	効率性	費用便益比 (B/C)	$1.5 \leq B/C < 3.0$	20	18	B/C=2.2 (3.1)																																																																																																																														
		小計		20	18																																																																																																																															
	熟度	地元の協力	0%	3	0																																																																																																																															
		地元要望	あり	2	2																																																																																																																															
		小計		5	2																																																																																																																															
	合計			100	80																																																																																																																															
	※ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が80点以上であることから「a」とした。																																																																																																																																			
<div style="text-align: right;">項目評価 a . b . c</div>																																																																																																																																				

事業計画の妥当性

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法：道路建設課所管道路事業費用便益分析マニュアル（令和7年8月）

基準年：令和7年度

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	改築費	768.1	
	維持費	8.6	
	総 費 用 (C)	776.7	
便益項目	時間短縮便益	482.9	
	走行経費減少便益	27.8	
	事故減少便益	0.0	
	3 便益 ①	510.7	
	環境改善便益	1.3	
	拡張便益	1,223.4	
	その他便益 ②	1,224.7	
	小計 (①+②)	1,735.4	
	修正便益 ③	705.8	
	総便益 (B) ①+②+③	2,441.2	
費用便益比 (B/C) B (①+②) /C		2.2	
(参考) 修正費用便益比 B (①+②+③) /C		3.1	

参考 将来交通量 2,499台/日 (R22)

・ 総合評価では、地域修正係数による修正便益を考慮した修正B/Cを参考とする。

・ 端数の四捨五入の関係で、各計数の和が一致しない場合がある。

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

・ 特になし

(4) コスト縮減対策の取り組み状況

・ 当該工区で発生する掘削土は、他工事への効率的な流用を図ることでコスト縮減に努める。

(5) 代替案の比較検討結果

・ 現道拡幅を基本としており、別ルートとした場合に比べて用地補償及び工事費等の経済性に優れる案としたものであり、代替案はない。

(1) 総合評価

総合評価	AA・A・B・C
------	----------

(事業名)地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型) 国 282号 五日市

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R8	R17	1,100	a	80	a	B/C=2.2 (修正B/C=3.1)

○総合評価に係るコメント

- ・ 一般国道282号は、盛岡市から青森県平川市を結ぶ幹線道路であり、北東北の物流・観光・産業を支えているほか、並行する東北縦貫自動車道路の通行止め時には迂回路として機能するとともに、岩手県地域防災計画における緊急輸送路道路(第1次路線)及び重要物流道路制度における代替・補完路に位置付けられている。
- ・ 当該区間は、急カーブ区間が存在することに加え、人家が連担している中で幅員が狭小であることから、特に冬期における車両のすれ違いなど安全で円滑な交通の支障となっている。
- ・ 交通あい路区間の解消により、災害時の緊急輸送道路及び重要物流道路制度における代替・補完路の機能強化とともに、安全で円滑な交通の確保が図られる。
- ・ 自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価、また、「事業計画の妥当性」については、評価指標の合計が80点以上となることから「a」評価としており、総合評価を「AA」とした。
- ・ 社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、事業の実施が妥当であると判断したものである。

(2) その他特記事項

- ・ 特になし

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和7年10月6日作成

事業名	地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)	補助・単独	担当部課名	県土整備部道路建設課			
路線名等	いっぽんこくどう 一般国道 340号	地区名	はちまん 八幡 いくつかいち 五日市	市町村 遠野市			
事業概要	〔事業根拠法令等：道路法第12条、第50条〕						
	(1) 事業目的						
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 解決すべき課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般国道340号は、陸前高田市を起点とし、青森県八戸市に至る路線であり、北上高地を縦断する唯一の幹線道路として、防災や地域間交流の面できわめて重要な役割を担っており、岩手県地域防災計画における緊急輸送道路（第1次路線）及び重要物流道路制度における代替・補完路に位置付けられている。 ・ 当該区間の近隣には、遠野市の主要な観光地であるカップ淵や伝承園が立地しており、観光にも利用される重要な路線である。 ・ 当該区間は、急カーブが連続し交通死亡事故が発生するなど、交通あい路区間となっており、安全で円滑な交通の支障となっている。 ○ 整備によって得られる効果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通あい路区間の解消により、災害時の緊急輸送道路及び重要物流道路制度における代替・補完路の機能強化とともに、安全で円滑な交通の確保が図られる。 						
	(2) 事業内容						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画延長：L=1,820m（2車線（片側歩道）） ・ 計画幅員：W=6.5（12.0）m 						
社会経済情勢等の状況	(3) 整備目標等						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 線形不良、幅員狭小の解消：旧道延長1,820m 						
	(4) 事業計画期間及び総事業費						
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業計画期間：令和8年度～令和17年度 (用地着手予定年度：令和10年度、工事着手予定年度：令和11年度) ○ 総事業費：2,000百万円 						
	(1) 全国の状況						
社会経済情勢等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国の主要施策の基本方針として、「防災・減災、国土強靱化」「予防保全型メンテナンスへの本格転換」「人流・物流を支えるネットワーク・拠点の整備」「2050年カーボンニュートラルの実現に向けた道路の脱炭素化の推進」「道路システムのDX」「道路空間の安全・安心や賑わいの創出」を定め、道路施策に取り組むこととしている。 						
	(2) 本県内の状況						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いわて県民計画（2019～2028）において、社会基盤分野として『防災対策や産業振興など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手』を政策推進の基本的な考え方としている。 ・ この中で道路分野では、災害に強い道路ネットワークを構築するため、幹線道路の整備や緊急輸送道路等の防災機能の強化及び日常生活を支える安全・安心な道づくりのため、救急輸送ルートの整備や地域の実情に応じた道路整備、物流の効率化など生産性の向上を図るため、内陸部と港湾を結ぶ道路や工業団地、インターチェンジへのアクセス道路の整備を推進することとしている。 						
	(3) 施工地域における状況						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠野市から当該地区の道路整備について強い要望がある。 						
社会経済情勢等の状況	(参考) 予算の動向						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路改築関係予算は震災前（平成22年度）の約6割程度で推移している。 ・ 今後は整備効果の早期発現を図るため、「選択と集中」により継続地区に重点投資するほか、新規地区は、必要性、緊急性等の高い箇所を厳選して着手することとしている。 						
	道路建設課所管事業（補助・県単）の過去5年間の予算状況						
	年度	H22	R3	R4	R5	R6	R7
	事業費（百万円）	11,078	5,293	6,160	6,271	5,926	6,626
対前年度比	—	20.8%	116.4%	101.8%	94.5%	111.8%	
※ R6以前は2月補正予算、R7は当初予算。直轄負担金は含まない。							

自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分 <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県自然環境保全指針による保全区分 : B、C、D ・ 希少野生動植物の生息の有無 : 有 (県レッドデータB, C, Dランク) ・ 埋蔵文化財包蔵地の有無 : 有 (集落跡、散布地) 																																																																																																																																			
	(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実施にあたっては、広域振興局等で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら、必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進めることとする。 ・ 埋蔵文化財包蔵地については、関係機関と協議のうえ、必要に応じて調査等を実施する。 ・ 施工にあたっては、排ガス対策及び低騒音型建設機械の使用、再生アスファルト合材及び再生砕石の使用を基本とする。 																																																																																																																																			
※ 自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。																																																																																																																																				
<div style="text-align: right;">項目評価</div> <div style="display: flex; justify-content: flex-end; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">a</div> . b . c </div>																																																																																																																																				
事業計画の妥当性	(1) 事業に関する指標からみた評価																																																																																																																																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">評価指標</th> <th style="width: 25%;">区分</th> <th style="width: 5%;">配点</th> <th style="width: 5%;">評点</th> <th style="width: 60%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="9">必要性</td> <td>車道等幅員</td> <td>現況最小幅員<規定値-2m</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>現況幅員6.5m(規定値7.5m)</td> </tr> <tr> <td>曲線半径</td> <td>現況最小半径<-10km/h縮小値</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>現況曲線半径70m(縮小値80m)</td> </tr> <tr> <td>縦断勾配</td> <td>現況勾配≤規定値(5%)</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>現況縦断勾配3.5%(規定値5%)</td> </tr> <tr> <td>歩道設置の必要性</td> <td>1項目以上該当</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>人家連坦地区</td> </tr> <tr> <td>混雑度</td> <td>現況混雑度<1.0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>定時性</td> <td>10km/h以上</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>速度差10.5km/h</td> </tr> <tr> <td>事故率</td> <td>履歴あり</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>16.9件/億台キロ</td> </tr> <tr> <td>過疎地域等の振興</td> <td>過疎山振</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>遠野市</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>30</td> <td>21</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">重要性</td> <td>ネットワークの位置付け</td> <td>代替・補完路</td> <td>15</td> <td>15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>産業振興、生活支援</td> <td>4項目以上該当</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>物流支援、農業支援、観光支援、救急医療アクセス、公共施設アクセス、通園通学路の安全性向上</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>30</td> <td>30</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">緊急性</td> <td>関連事業の有無</td> <td>あり</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>ほ場整備</td> </tr> <tr> <td>冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等</td> <td>なし</td> <td>5</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>部分供用の有無</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10km以内に迂回路</td> <td>あり</td> <td>5</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>15</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率性</td> <td>費用便益比(B/C)</td> <td>1.0≤B/C<1.5</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>B/C=1.3(2.1)</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>20</td> <td>15</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">熟度</td> <td>地元の協力</td> <td>0%</td> <td>3</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地元要望</td> <td>あり</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>5</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td></td> <td>100</td> <td>73</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						評価指標	区分	配点	評点	備考	必要性	車道等幅員	現況最小幅員<規定値-2m	5	5	現況幅員6.5m(規定値7.5m)	曲線半径	現況最小半径<-10km/h縮小値	5	5	現況曲線半径70m(縮小値80m)	縦断勾配	現況勾配≤規定値(5%)	5	0	現況縦断勾配3.5%(規定値5%)	歩道設置の必要性	1項目以上該当	3	3	人家連坦地区	混雑度	現況混雑度<1.0	2	0	0.7	定時性	10km/h以上	2	2	速度差10.5km/h	事故率	履歴あり	3	1	16.9件/億台キロ	過疎地域等の振興	過疎山振	5	5	遠野市	小計		30	21		重要性	ネットワークの位置付け	代替・補完路	15	15		産業振興、生活支援	4項目以上該当	15	15	物流支援、農業支援、観光支援、救急医療アクセス、公共施設アクセス、通園通学路の安全性向上	小計		30	30		緊急性	関連事業の有無	あり	5	5	ほ場整備	冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等	なし	5	0		部分供用の有無	-	-	-		10km以内に迂回路	あり	5	0		小計		15	5		効率性	費用便益比(B/C)	1.0≤B/C<1.5	20	15	B/C=1.3(2.1)	小計		20	15		熟度	地元の協力	0%	3	0		地元要望	あり	2	2		小計		5	2		合計			100	73	
	評価指標	区分	配点	評点	備考																																																																																																																															
	必要性	車道等幅員	現況最小幅員<規定値-2m	5	5	現況幅員6.5m(規定値7.5m)																																																																																																																														
		曲線半径	現況最小半径<-10km/h縮小値	5	5	現況曲線半径70m(縮小値80m)																																																																																																																														
		縦断勾配	現況勾配≤規定値(5%)	5	0	現況縦断勾配3.5%(規定値5%)																																																																																																																														
		歩道設置の必要性	1項目以上該当	3	3	人家連坦地区																																																																																																																														
		混雑度	現況混雑度<1.0	2	0	0.7																																																																																																																														
		定時性	10km/h以上	2	2	速度差10.5km/h																																																																																																																														
		事故率	履歴あり	3	1	16.9件/億台キロ																																																																																																																														
		過疎地域等の振興	過疎山振	5	5	遠野市																																																																																																																														
		小計		30	21																																																																																																																															
	重要性	ネットワークの位置付け	代替・補完路	15	15																																																																																																																															
		産業振興、生活支援	4項目以上該当	15	15	物流支援、農業支援、観光支援、救急医療アクセス、公共施設アクセス、通園通学路の安全性向上																																																																																																																														
		小計		30	30																																																																																																																															
	緊急性	関連事業の有無	あり	5	5	ほ場整備																																																																																																																														
		冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等	なし	5	0																																																																																																																															
		部分供用の有無	-	-	-																																																																																																																															
		10km以内に迂回路	あり	5	0																																																																																																																															
		小計		15	5																																																																																																																															
	効率性	費用便益比(B/C)	1.0≤B/C<1.5	20	15	B/C=1.3(2.1)																																																																																																																														
		小計		20	15																																																																																																																															
	熟度	地元の協力	0%	3	0																																																																																																																															
		地元要望	あり	2	2																																																																																																																															
		小計		5	2																																																																																																																															
	合計			100	73																																																																																																																															
	※ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。																																																																																																																																			
<div style="text-align: right;">項目評価</div> <div style="display: flex; justify-content: flex-end; align-items: center;"> a . <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px; margin: 0 5px;">b</div> . c </div>																																																																																																																																				

事業計画の妥当性

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法：道路建設課所管道路事業費用便益分析マニュアル（令和7年8月）

基準年：令和7年度

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	改築費	1,459	
	維持費	27	
	総 費 用 (C)	1,486	
便益項目	時間短縮便益	1,919	
	走行経費減少便益	81	
	事故減少便益	0	
	3 便益 ①	2,000	
	環境改善便益	4	
	拡張便益	0	
	その他便益 ②	4	
	小計 (①+②)	2,004	
	修正便益 ③	1,220	
	総便益 (B) ①+②+③	3,224	
費用便益比 (B/C) B (①+②) /C		1.3	
(参考) 修正費用便益比 B (①+②+③) /C		2.1	

参考 将来交通量 5,156台/日 (R22)

・ 総合評価では、地域修正係数による修正便益を考慮した修正B/Cを参考とする。

・ 端数の四捨五入の関係で、各計数の和が一致しない場合がある。

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

・ 経営体育成基盤整備事業 高野・似田貝地区（ほ場整備）

(4) コスト縮減対策の取り組み状況

・ 当該工区で使用する盛土材は、他工事からの効率的な流用を図ることでコスト縮減に努める。

(5) 代替案の比較検討結果

次の案と比較検討したが、以下の理由から本計画案が適当となったものである。

○ 東側バイパス案

・ 長大トンネルが必要となる。施工延長も長く、不経済である。

○ 西側バイパス案

・ 市道の道路拡幅が必要となり補償物件が多い。施工延長も長く、不経済である。

(本計画案 現道拡幅案)

・ 東側、西側バイパス案と比べ施工延長が短く、用地取得面積が少ない。また、工事費も安価であり、経済的である。

(1) 総合評価

総合評価	AA・ A ・B・C
------	-------------------

(事業名)地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型) 国 340号 八幡～五日市

着手 年度	完了予 定年度	事業費 (百万円)	自然環 境等の 状況に 係る評 価結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R8	R17	2,000	a	73	b	B/C=1.3 (修正B/C=2.1)

○総合評価に係るコメント

- ・ 一般国道340号は、陸前高田市を起点とし、青森県八戸市に至る路線であり、北上高地を縦断する唯一の幹線道路として、防災や地域間交流の面できわめて重要な役割を担っており、岩手県地域防災計画における緊急輸送道路(第1次路線)及び重要物流道路制度における代替・補完路に位置付けられている。
- ・ 当該区間の近隣には、遠野市の主要な観光地であるカップ淵や伝承園が立地しており、観光にも利用される重要な路線である。
- ・ 当該区間は、急カーブが連続し交通死亡事故が発生するなど、交通あい路区間となっており、安全で円滑な交通の支障となっている。
- ・ 交通あい路区間の解消により、災害時の緊急輸送道路及び重要物流道路制度における代替・補完路の機能強化とともに、安全で円滑な交通の確保が図られる。
- ・ 自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価、また、「事業計画の妥当性」については、評価指標の合計が60点以上80点未満となることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。
- ・ 社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、事業の実施が妥当であると判断したものである。

(2) その他特記事項

- ・ 特になし

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの)令和7年10月7日作成

事業名	地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)	(補助)・単独	担当部課名	県土整備部道路建設課		
路線名等	いづばんこくどう 一般国道 456号	地区名	わせた 早稲田	市町村 奥州市		
事業概要	〔事業根拠法令等：道路法第12条、第50条〕					
	(1) 事業目的					
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 解決すべき課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般国道456号は、盛岡市を起点とし、宮城県気仙沼市に至る延長約104kmの幹線道路である。 ・ 当該区間は、近隣にある江刺中核工業団地等の工業団地から、東北横断自動車道秋田釜石線江刺田瀬ICへアクセスする路線としての役割を担っている。 ・ 当該区間に架橋されている大柳橋（S38架橋）は、幅員狭小であるため、大型車のすれ違いが困難となっている。また、急カーブ区間が存在すること、さらに歩道が未整備であることから、安全で円滑な交通の支障となっている。 ○ 整備によって得られる効果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通あい路区間及び線形不良区間の解消により、安全で円滑な交通と歩行者の安全な通行の確保が図られる。 					
	(2) 事業内容					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画延長：L=670m（2車線（片側歩道）） ・ 計画幅員：W=6.0（11.5）m 					
社会経済情勢等の状況	(3) 整備目標等					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 線形不良、歩道未整備区間の解消：旧道延長670m ・ すれ違い困難である老朽橋の解消：1橋 					
	(4) 事業計画期間及び総事業費					
	○事業計画期間：令和8年度～令和17年度 （用地着手予定年度：令和10年度、工事着手予定年度：令和11年度） ○総事業費：1,230百万円					
	(1) 全国の状況					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国の主要施策の基本方針として、「防災・減災、国土強靱化」「予防保全型メンテナンスへの本格転換」「人流・物流を支えるネットワーク・拠点の整備」「2050年カーボンニュートラルの実現に向けた道路の脱炭素化の推進」「道路システムのDX」「道路空間の安全・安心や賑わいの創出」を定め、道路施策に取り組むこととしている。 						
(2) 本県内の状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いわて県民計画（2019～2028）において、社会基盤分野として『防災対策や産業振興など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手』を政策推進の基本的な考え方としている。 ・ この中で道路分野では、災害に強い道路ネットワークを構築するため、幹線道路の整備や緊急輸送道路等の防災機能の強化及び日常生活を支える安全・安心な道づくりのため、救急輸送ルート of 整備や地域の実情に応じた道路整備、物流の効率化など生産性の向上を図るため、内陸部と港湾を結ぶ道路や工業団地、インターチェンジへのアクセス道路の整備を推進することとしている。 						
(3) 施工地域における状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 奥州市から当該地区の道路整備について強い要望がある。 						
(参考) 予算の動向						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路改築関係予算は震災前（平成22年度）の約6割程度で推移している。 ・ 今後は整備効果の早期発現を図るため、「選択と集中」により継続地区に重点投資するほか、新規地区は、必要性、緊急性等の高い箇所を厳選して着手することとしている。 						
道路建設課所管事業（補助・県単）の過去5年間の予算状況						
年度	H22	R3	R4	R5	R6	R7
事業費（百万円）	11,078	5,293	6,160	6,271	5,926	6,626
対前年度比	—	20.8%	116.4%	101.8%	94.5%	111.8%
※ R6以前は2月補正予算、R7は当初予算。直轄負担金は含まない。						

自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分 <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県自然環境保全指針による保全区分 : E ・ 希少野生動植物の生息の有無 : 無 ・ 埋蔵文化財包蔵地の有無 : 無 																																																																																																																																			
	(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実施にあたっては、広域振興局等で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら、必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進めることとする。 ・ 埋蔵文化財包蔵地については、関係機関と協議のうえ、必要に応じて調査等を実施する。 ・ 施工にあたっては、排ガス対策及び低騒音型建設機械の使用、再生アスファルト合材及び再生砕石の使用を基本とする。 																																																																																																																																			
※ 自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。																																																																																																																																				
<div style="text-align: right;">項目評価 (a) . b . c</div>																																																																																																																																				
事業計画の妥当性	(1) 事業に関する指標からみた評価																																																																																																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価指標</th> <th>区分</th> <th>配点</th> <th>評点</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">必要性</td> <td>車道等幅員</td> <td>現況最小幅員<規定値-2m</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>現況幅員5.5m(規定値7.0m)</td> </tr> <tr> <td>曲線半径</td> <td>現況最小半径<-10km/h縮小値</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>現況曲線半径50m(縮小値80m)</td> </tr> <tr> <td>縦断勾配</td> <td>現況勾配≦規定値(5%)</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>現況縦断勾配1.49%(規定値5%)</td> </tr> <tr> <td>歩道設置の必要性</td> <td>1項目以上該当</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>将来開発計画、前後区間の連続性</td> </tr> <tr> <td>混雑度</td> <td>現況混雑度<1.0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0.21</td> </tr> <tr> <td>定時性</td> <td>10km/h以上</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>速度差10.2km/h</td> </tr> <tr> <td>事故率</td> <td>履歴なし</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0件/億台キロ</td> </tr> <tr> <td>過疎地域等の振興</td> <td>過疎</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>旧江刺市</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小計</td> <td></td> <td>30</td> <td>18</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">重要性</td> <td>ネットワークの位置付け</td> <td>広域振興圏間連絡道路</td> <td>15</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>産業振興、生活支援</td> <td>4項目以上該当</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>物流支援、農業支援、製造業支援、救急医療アクセス、公共施設アクセス</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>30</td> <td>27</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">緊急性</td> <td>関連事業の有無</td> <td>あり</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>河川改修(総合流域防災事業 広瀬川)</td> </tr> <tr> <td>冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等</td> <td>あり</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>大柳橋 大型車すれ違い困難、1963年架橋</td> </tr> <tr> <td>部分供用の有無</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10km以内に迂回路</td> <td>あり</td> <td>5</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>15</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率性</td> <td>費用便益比(B/C)</td> <td>$1.0 \leq B/C < 1.5$</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>B/C=1.4(2.3)</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>20</td> <td>15</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">熟度</td> <td>地元の協力</td> <td>0%</td> <td>3</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地元要望</td> <td>あり</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>5</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td></td> <td>100</td> <td>72</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					評価指標		区分	配点	評点	備 考	必要性	車道等幅員	現況最小幅員<規定値-2m	5	5	現況幅員5.5m(規定値7.0m)	曲線半径	現況最小半径<-10km/h縮小値	5	5	現況曲線半径50m(縮小値80m)	縦断勾配	現況勾配≦規定値(5%)	5	0	現況縦断勾配1.49%(規定値5%)	歩道設置の必要性	1項目以上該当	3	3	将来開発計画、前後区間の連続性	混雑度	現況混雑度<1.0	2	0	0.21	定時性	10km/h以上	2	2	速度差10.2km/h	事故率	履歴なし	3	0	0件/億台キロ	過疎地域等の振興	過疎	5	3	旧江刺市		小計		30	18		重要性	ネットワークの位置付け	広域振興圏間連絡道路	15	12		産業振興、生活支援	4項目以上該当	15	15	物流支援、農業支援、製造業支援、救急医療アクセス、公共施設アクセス	小計		30	27		緊急性	関連事業の有無	あり	5	5	河川改修(総合流域防災事業 広瀬川)	冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等	あり	5	5	大柳橋 大型車すれ違い困難、1963年架橋	部分供用の有無		-	-		10km以内に迂回路	あり	5	0		小計		15	10		効率性	費用便益比(B/C)	$1.0 \leq B/C < 1.5$	20	15	B/C=1.4(2.3)	小計		20	15		熟度	地元の協力	0%	3	0		地元要望	あり	2	2		小計		5	2		合計			100	72
評価指標		区分	配点	評点	備 考																																																																																																																															
必要性	車道等幅員	現況最小幅員<規定値-2m	5	5	現況幅員5.5m(規定値7.0m)																																																																																																																															
	曲線半径	現況最小半径<-10km/h縮小値	5	5	現況曲線半径50m(縮小値80m)																																																																																																																															
	縦断勾配	現況勾配≦規定値(5%)	5	0	現況縦断勾配1.49%(規定値5%)																																																																																																																															
	歩道設置の必要性	1項目以上該当	3	3	将来開発計画、前後区間の連続性																																																																																																																															
	混雑度	現況混雑度<1.0	2	0	0.21																																																																																																																															
	定時性	10km/h以上	2	2	速度差10.2km/h																																																																																																																															
	事故率	履歴なし	3	0	0件/億台キロ																																																																																																																															
	過疎地域等の振興	過疎	5	3	旧江刺市																																																																																																																															
	小計		30	18																																																																																																																																
重要性	ネットワークの位置付け	広域振興圏間連絡道路	15	12																																																																																																																																
	産業振興、生活支援	4項目以上該当	15	15	物流支援、農業支援、製造業支援、救急医療アクセス、公共施設アクセス																																																																																																																															
	小計		30	27																																																																																																																																
緊急性	関連事業の有無	あり	5	5	河川改修(総合流域防災事業 広瀬川)																																																																																																																															
	冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等	あり	5	5	大柳橋 大型車すれ違い困難、1963年架橋																																																																																																																															
	部分供用の有無		-	-																																																																																																																																
	10km以内に迂回路	あり	5	0																																																																																																																																
	小計		15	10																																																																																																																																
効率性	費用便益比(B/C)	$1.0 \leq B/C < 1.5$	20	15	B/C=1.4(2.3)																																																																																																																															
	小計		20	15																																																																																																																																
熟度	地元の協力	0%	3	0																																																																																																																																
	地元要望	あり	2	2																																																																																																																																
	小計		5	2																																																																																																																																
合計			100	72																																																																																																																																
※ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。																																																																																																																																				
<div style="text-align: right;">項目評価 a . (b) . c</div>																																																																																																																																				

事業計画の妥当性

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法：道路建設課所管道路事業費用便益分析マニュアル（令和7年8月）

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	改築費	896	
	維持費	32	
	総 費 用 (C)	928	
便益項目	時間短縮便益	386	
	走行経費減少便益	20	
	事故減少便益	0	
	3 便益 ①	406	
	環境改善便益	1	
	拡張便益	936	
	その他便益 ②	937	
	小計 (①+②)	1,343	
	修正便益 ③	818	
	総便益 (B) ①+②+③	2,161	
費用便益比 (B/C) B (①+②) /C		1.4	
(参考) 修正費用便益比 B (①+②+③) /C		2.3	

・ 総合評価では、地域修正係数による修正便益を考慮した修正B/Cを参考とする。

・ 端数の四捨五入の関係で、各計数の和が一致しない場合がある。

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

・ 広瀬川の河川改修（総合流域防災事業）

・ 江刺フロンティアパークⅡの整備による工業団地の拡張

(4) コスト削減対策の取り組み状況

・ 当該工区で使用する盛土材は、他工事からの効率的な流用を図ることでコスト削減に努める。

(5) 代替案の比較検討結果

・ 現道拡幅を基本としており、別ルートとした場合に比べて用地補償及び工事費等の経済性に優れる案としたものであり、代替案はない。

総合評価

(事業名)地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型) 国 456号 早稲田

○総合評価に係るコメント

- (2) その他特記事項

- 86

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和7年10月6日作成

事業名	地域連携道路整備事業 (地域密着型)	補助・単独	担当部課名	県土整備部道路建設課		
路線名等	しゅようちほうどう 主要地方道 花巻北上線	地区名	さらき 更木	市町村 北上市		
事業概要	〔事業根拠法令等：道路法第15条、第56条〕					
	(1) 事業目的					
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 解決すべき課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本路線は、花巻市を起点とし、北上市に至る北上川東岸の幹線道路であり、一般国道4号を補完する路線であるとともに岩手県地域防災計画における緊急輸送道路（第2次路線）に位置づけられている。 ・ 当該区間は交差点に右折レーンが設置されていないことに加えて、交差点の交差角が不良であるなど、安全で円滑な交通の支障となっている。 ・ 当該区間の近隣には、キオクシア岩手などの工場が立地する北上工業団地があり、工業団地の通勤等にも利用される重要な路線である。 ○ 整備によって得られる効果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通あい路区間の解消により、災害時の緊急輸送道路及び一般国道4号の補完路の機能強化とともに、北上工業団地方面への通勤者の安全で円滑な交通の確保が図られる。 					
	(2) 事業内容					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画延長：L=340m（2車線（片側歩道）） ・ 計画幅員：W=6.5（12.0）m 					
社会経済情勢等の状況	(3) 整備目標等					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 線形不良の解消：旧道延長340m 					
	(4) 事業計画期間及び総事業費					
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業計画期間：令和8年度～令和15年度 (用地着手予定年度：令和10年度、工事着手予定年度：令和13年度) ○ 総事業費：700百万円 					
	(1) 全国の状況					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国の主要施策の基本方針として、「防災・減災、国土強靱化」「予防保全型メンテナンスへの本格転換」「人流・物流を支えるネットワーク・拠点の整備」「2050年カーボンニュートラルの実現に向けた道路の脱炭素化の推進」「道路システムのDX」「道路空間の安全・安心や賑わいの創出」を定め、道路施策に取り組むこととしている。 						
(2) 本県内の状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いわて県民計画（2019～2028）において、社会基盤分野として『防災対策や産業振興など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手』を政策推進の基本的な考え方としている。 ・ この中で道路分野では、災害に強い道路ネットワークを構築するため、幹線道路の整備や緊急輸送道路等の防災機能の強化及び日常生活を支える安全・安心な道づくりのため、救急輸送ルートの整備や地域の実情に応じた道路整備、物流の効率化など生産性の向上を図るため、内陸部と港湾を結ぶ道路や工業団地、インターチェンジへのアクセス道路の整備を推進することとしている。 						
(3) 施工地域における状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 北上市から当該地区の道路整備について強い要望がある。 						
(参考) 予算の動向						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路改築関係予算は震災前（平成22年度）の約6割程度で推移している。 ・ 今後は整備効果の早期発現を図るため、「選択と集中」により継続地区に重点投資するほか、新規地区は、必要性、緊急性等の高い箇所を厳選して着手することとしている。 						
道路建設課所管事業（補助・県単）の過去5年間の予算状況						
年度	H22	R3	R4	R5	R6	R7
事業費（百万円）	11,078	5,293	6,160	6,271	5,926	6,626
対前年度比	—	20.8%	116.4%	101.8%	94.5%	111.8%
※ R6以前は2月補正予算、R7は当初予算。直轄負担金は含まない。						

自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分 <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県自然環境保全指針による保全区分 : E ・ 希少野生動植物の生息の有無 : 無 ・ 埋蔵文化財包蔵地の有無 : 有 (散布地) 					
	(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実施にあたっては、広域振興局等で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら、必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進めることとする。 ・ 埋蔵文化財包蔵地については、関係機関と協議のうえ、必要に応じて調査等を実施する。 ・ 施工にあたっては、排ガス対策及び低騒音型建設機械の使用、再生アスファルト合材及び再生砕石の使用を基本とする。 					
※ 自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。						
<div style="text-align: right;">項目評価 a . b . c</div>						
事業計画の妥当性	(1) 事業に関する指標からみた評価					
		評価指標	区分	配点	評点	備 考
	必要性	車道等幅員	現況最小幅員<規定値-2m	5	5	現況幅員7.0m(規定値7.5m)
		曲線半径	現況最小半径<-10km/h縮小値	5	0	現況曲線半径160m(規定値150m)
		縦断勾配	現況勾配≤規定値(5%)	5	0	現況縦断勾配2%(規定値5%)
		歩道設置の必要性	1項目以上該当	3	3	通園通学路指定、前後区間連続性確保
		混雑度	現況混雑度<1.0	2	0	0.55
		定時性	10km/h以上	2	1	速度差5.1km/h
		事故率	履歴あり	3	3	90.1件/億台キロ
		過疎地域等の振興	該当なし	5	0	北上市
		小計		30	12	
	重要性	ネットワークの位置付け	緊急輸送道路	5	4	緊急輸送道路
		産業振興、生活支援	4項目以上該当	15	15	物流支援、農業支援、製造業支援、観光支援、公共施設アクセス、通園通学路の安全性向上
		小計		20	19	
	緊急性	関連事業の有無	あり	5	5	北上工業団地(拡張)
		冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等	あり	5	5	通行危険箇所(交差点不良・視距不良の交差点)
		部分供用の有無	あり	2	2	現道拡幅部分
		10km以内に迂回路	あり	3	0	
		小計		15	12	
	効率性	費用便益比(B/C)	$3.0 \leq B/C$	20	20	B/C=3.3(5.3)
		小計		20	20	
	熟度	地元の協力	0%	3	0	
		地元要望	あり	12	12	
		小計		15	12	
	合計			100	75	
	※ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。					
	<div style="text-align: right;">項目評価 a . b . c</div>					

事業計画の妥当性

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法：道路建設課所管道路事業費用便益分析マニュアル（令和7年8月）

基準年：令和7年度

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	改築費	518.9	
	維持費	4.3	
	総 費 用 (C)	523.2	
便益項目	時間短縮便益	389.6	
	走行経費減少便益	18.4	
	事故減少便益	0	
	3 便益 ①	408.0	
	環境改善便益	1.0	
	拡張便益	1,321.5	
	その他便益 ②	1,322.5	
	小計 (①+②)	1,730.5	
	修正便益 ③	1,053.7	
	総便益 (B) ①+②+③	2,784.2	
費用便益比 (B/C) B (①+②) /C		3.3	
(参考) 修正費用便益比 B (①+②+③) /C		5.3	

参考 将来交通量 5,264台/日 (R22)

・ 総合評価では、地域修正係数による修正便益を考慮した修正B/Cを参考とする。

・ 端数の四捨五入の関係で、各計数の和が一致しない場合がある。

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

・ 北上工業団地の拡張

(4) コスト縮減対策の取り組み状況

・ 当該工区で使用する盛土材は、他工事からの効率的な流用を図ることでコスト縮減に努める。

(5) 代替案の比較検討結果

・ 現道拡幅を基本としており、別ルートとした場合に比べて用地補償及び工事費等の経済性に優れる案としたものであり、代替案はない。

(1) 総合評価

総合評価	AA・A・B・C
------	----------

(事業名)地域連携道路整備事業(地域密着型)主 花巻北上線 更木

着手 年度	完了予 定年度	事業費 (百万円)	自然環 境等 の 状 況 に 係 る 評 価 結 果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R8	R15	700	a	75	b	B/C=3.3 (修正B/C=5.3)

○総合評価に係るコメント

- ・ 本路線は、花巻市を起点とし、北上市に至る北上川東岸の幹線道路であり、一般国道4号を補完する路線であるとともに岩手県地域防災計画における緊急輸送道路(第2次路線)に位置づけられている。
- ・ 当該区間は交差点に右折レーンが設置されていないことに加えて、交差点の交差角が不良であるなど、安全で円滑な交通の支障となっている。
- ・ 当該区間の近隣には、キオクシア岩手などの工業が立地する北上工業団地があり、工業団地の通勤等にも利用される重要な路線である。
- ・ 交通あい路区間の解消により、災害時の緊急輸送道路及び一般国道4号の補完路の機能強化とともに、北上工業団地方面への通勤者の安全で円滑な交通の確保が図られる。
- ・ 自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価、また、「事業計画の妥当性」については、評価指標の合計が60点以上80点未満となることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。
- ・ 社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、事業の実施が妥当であると判断したものである。

(2) その他特記事項

- ・ 特になし

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの)

令和 7 年 10 月 17 日 作成

事業名	統合河川環境整備事業		補助・単独	担当部課名	県土整備部河川課	
路線名等	二級河川 けせんがわ かわらがわ 気仙川・川原川	地区名	すなもり 砂盛ほか	市町村	陸前高田市	
事業概要	〔事業根拠法令等：河川法第10条〕					
	<p>(1) 事業目的</p> <p>岩手県陸前高田市（以下、「市」とする）を流れる二級河川気仙川及び川原川は、平成23年東日本大震災津波により甚大な被害を受けたが、震災後における沿川の土地区画整理事業や川原川公園、岩手県の復興の象徴の場である高田松原津波復興祈念公園など復興まちづくりと一体となって整備が進められてきている。</p> <p>市では、今後更なるの交流人口拡大、まちの賑わい創出を図るため、気仙川及び川原川が持つ豊かな水辺環境の利活用による地域経済の活性化を目的とした「陸前高田かわまちづくり計画」の策定・登録に取り組んでいるところである。</p> <p>河川管理者である県としては、河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備によって、親しみやすい水辺空間の提供やイベントにおける利活用促進等を図ることで、かわまちづくり計画を推進し、市が掲げるまちづくり計画の目標達成に寄与することを見込んでいる。</p>					
	<p>(2) 事業内容</p> <p>計画延長L=2, 150m（気仙川1, 200m、川原川950m）、河川管理用通路工、階段護岸工</p>					
	<p>(3) 整備目標等</p> <p>沿川で計画されている「陸前高田かわまちづくり計画」と連携し、河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を行う。</p>					
社会経済情勢等の状況	<p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <p>○事業計画期間：令和8年度～令和12年度 （用地着手予定年度：官地内施工（取得無し）、工事着手予定年度：令和9年度）</p> <p>○総事業費：738百万円</p>					
	<p>(1) 全国の状況</p> <p>公共空間である河川の利用については、国土交通省（旧：建設省）より平成11年8月に通達された「河川敷地占用許可準則（以下、「準則」という。）」に則り、良好な河川環境の保全と適正な利用が図られていた。</p> <p>その後、河川空間を活用したまちづくりや、地域づくりを推進する動きが全国各地で起こったことに伴い、河川敷地利用の選択の幅を広げることにより、地域社会における動きを支援する等、河川敷地の多様な利用の推進が図れるよう、平成17年3月に準則が改正されている。</p> <p>このほか、営業活動を行う事業者等も河川敷地をより有効に利用できるよう、平成23年、平成28年に準則の改正が行われてきたところである。</p> <p>国土交通省では、平成21年度に「かわまちづくり」支援制度を創設し、「河川空間とまち空間が融合した、良好な空間形成を目指す取組み」を支援している。また、平成28年度には、「かわまちづくり」の計画作成に民間事業者等が参画できるようにするため、同支援制度の改定を行い、地域の魅力向上に寄与する取組みを行っている。</p>					
	<p>(2) 本県内の状況</p> <p>県では、平成16年度から平成20年度にかけて水辺環境再生事業を導入し、親水性を持った河川施設を整備することで、地域住民へ良好な水辺環境や自然河川へふれあう場の提供を行っている。</p> <p>また、平成20年度からは、県管理の河川や海岸で、ごみ拾いや草刈り等の活動を行う団体を募集する「いわての河川と海岸ボランティア活動等支援制度」を設立し、これまで数多くの団体による河川の環境美化活動の支援を行っている。</p>					
	<p>(3) 施工地域における状況</p> <p>施工地域において、陸前高田市では、東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂の思いと、まちの賑わい創出に向けた取り組みの両立を念頭に置きながら、親水護岸や河川管理用通路等の整備を行い、河川水辺空間を活用した魅力ある周遊ルートや、SUPやカヤック等の水上アクティビティが安全に利用できる場を提供することで、地域の魅力の向上や観光振興の促進を図る「陸前高田かわまちづくり」計画に取り組んでいる。県はこの取組みに対し、必要な河川管理施設を整備するほか、河川敷地占用許可準則第22条に基づき、都市・地域再生等利用区域の支援を実施していくこととしている。</p>					

自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分 ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 <table border="1"><tr><td>A</td></tr></table> ・希少野生動植物生息の有無 <table border="1"><tr><td>有</td></tr></table> (県レッドデータAランク) ・埋蔵文化財包蔵地の有無 <table border="1"><tr><td>無</td></tr></table>					A	有	無																																																																										
	A																																																																																	
有																																																																																		
無																																																																																		
(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費 振興局で実施している公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら関係機関協議並びに現地調査を行い、環境に配慮しながら事業を進めていくこととしている。 ○自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。																																																																																		
<div style="text-align: right;">項目評価 <table border="1"><tr><td>a</td></tr></table> . b . c</div>						a																																																																												
a																																																																																		
事業計画の妥当性	(1) 事業に関する指標からみた評価																																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価指標</th> <th>区分</th> <th>配点</th> <th>評点</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">必要性</td> <td>河川利用回数</td> <td>30,000回以上</td> <td>18</td> <td>12</td> <td>34,750回/年</td> </tr> <tr> <td>イベント実施回数</td> <td>年5回以上</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>R6実績：8回</td> </tr> <tr> <td>市町村の公園整備状況</td> <td>10m²以上</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>74.3m²/人</td> </tr> <tr> <td>周辺の学校・福祉施設</td> <td>あり</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>小学校、高校、福祉施設</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重要性</td> <td>総合計画上の位置付け</td> <td>あり</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>いわて県民計画（2019～2028）第2期AP 岩手県環境基本計画（R3.3）</td> </tr> <tr> <td>市町村等のプロジェクト</td> <td>あり</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>陸前高田市まちづくり総合計画 後期基本計画</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">緊急性</td> <td>類似施設</td> <td>あり</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>川原川公園</td> </tr> <tr> <td>他事業計画・施設</td> <td>あり</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>陸前高田市桜プロジェクト 桜ライン311</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>費用便益比</td> <td>4.0 ≤ B/C < 5.0</td> <td>40</td> <td>35</td> <td>B/C = 4.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">熟度</td> <td>地元の要望</td> <td>あり</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地元の協力</td> <td>あり</td> <td>3</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>管理体制</td> <td>あり</td> <td>5</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td></td> <td>100</td> <td>86</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					評価指標		区分	配点	評点	備 考	必要性	河川利用回数	30,000回以上	18	12	34,750回/年	イベント実施回数	年5回以上	5	5	R6実績：8回	市町村の公園整備状況	10m ² 以上	2	2	74.3m ² /人	周辺の学校・福祉施設	あり	5	5	小学校、高校、福祉施設	重要性	総合計画上の位置付け	あり	5	5	いわて県民計画（2019～2028）第2期AP 岩手県環境基本計画（R3.3）	市町村等のプロジェクト	あり	5	5	陸前高田市まちづくり総合計画 後期基本計画	緊急性	類似施設	あり	5	2	川原川公園	他事業計画・施設	あり	5	5	陸前高田市桜プロジェクト 桜ライン311	効率性	費用便益比	4.0 ≤ B/C < 5.0	40	35	B/C = 4.9	熟度	地元の要望	あり	2	2		地元の協力	あり	3	3		管理体制	あり	5	5		計			100	86	
	評価指標		区分	配点	評点	備 考																																																																												
	必要性	河川利用回数	30,000回以上	18	12	34,750回/年																																																																												
		イベント実施回数	年5回以上	5	5	R6実績：8回																																																																												
		市町村の公園整備状況	10m ² 以上	2	2	74.3m ² /人																																																																												
		周辺の学校・福祉施設	あり	5	5	小学校、高校、福祉施設																																																																												
	重要性	総合計画上の位置付け	あり	5	5	いわて県民計画（2019～2028）第2期AP 岩手県環境基本計画（R3.3）																																																																												
		市町村等のプロジェクト	あり	5	5	陸前高田市まちづくり総合計画 後期基本計画																																																																												
	緊急性	類似施設	あり	5	2	川原川公園																																																																												
		他事業計画・施設	あり	5	5	陸前高田市桜プロジェクト 桜ライン311																																																																												
	効率性	費用便益比	4.0 ≤ B/C < 5.0	40	35	B/C = 4.9																																																																												
	熟度	地元の要望	あり	2	2																																																																													
		地元の協力	あり	3	3																																																																													
		管理体制	あり	5	5																																																																													
	計			100	86																																																																													
	○事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が80点以上であることから「a」とした。																																																																																	
	<div style="text-align: right;">項目評価 <table border="1"><tr><td>a</td></tr></table> . b . c</div>						a																																																																											
	a																																																																																	

事業計画の妥当性

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:河川に係る環境整備の経済評価の手引き 基準年：平成30年度

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	建設費	737.6	
	維持管理費		
	総 費 用 (C)	737.6	
便益項目	便益	3,630.1	
	残存価値	4.9	
	総 便 益 (B)	3,635.0	
費 用 便 益 比 (B/C)		4.9	

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項 なし

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

・いわて県民計画（2019～2028）第2期アクションプラン（令和5年度～令和8年度）

・岩手県環境基本計画（令和3年度～令和12年度）

・陸前高田市まちづくり総合計画 後期基本計画（令和6年度～令和10年度）

(4) コスト縮減対策の取り組み状況

・建設発生残土は他工事へ流用することでコスト縮減に努める。

(5) 代替案の比較検討結果

・本事業は、既存施設の更新を行い河川空間への親水性の確保を図るものであり、代替案立案の可能性はない。

(1) 総合評価

総合評価

AA ・ A ・ B ・ C

(事業名) 統合河川環境整備事業 二級河川気仙川・川原川 砂盛ほか

着手 年度	完了予 定年度	事業費 (百万円)	自然環境 等の状況 に係る評 価結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R8	R12	738	a	86	a	4.9

○総合評価に係るコメント

本事業では、河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備によって、親しみやすい水辺空間の提供やイベントにおける利活用促進等を図ることで、かわまちづくり計画を推進し、市が掲げるまちづくり計画の目標達成に寄与することを見込んでいる。

「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価、また「事業計画の妥当性」については、評価指標の評点の合計が80点以上となっていることから、「a」評価としており、総合評価を「AA」とした。

本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、事業の実施が妥当であると判断したものである。

(2) その他特記事項

なし

総合
評価

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの)

令和7年10月2日作成

事業名	通常砂防事業	補助	担当部課名	県土整備部砂防災害課	
路線名等	その他	地区名	いしはま 小石浜の沢(6)	市町村	大船渡市
事業概要	〔事業根拠法令等：砂防法〕				
	(1) 事業目的				
	<p>○解決すべき課題</p> <p>小石浜の沢(6)は大船渡市三陸町の小石浜地区に位置する土石流危険渓流である。渓流下流には人家12戸、県道・町道・私鉄・津波一次避難所に指定されている小石浜公民館・消防団屯所等の保全対象がある。流域内は崩壊地形跡や溪床・溪岸の浸食が著しく、降雨に伴う浸食により土砂災害が懸念され、土石流が発生した際は、甚大な被害のおそれがある。また、当該箇所は令和7年2月に大船渡市で発生した大規模林野火災の焼損被害を受けた範囲であり、溪床に焼損した倒木や不安定土砂が多く体積していることから、出水時に特に甚大な被害をもたらす土砂災害となるおそれがある。</p> <p>○整備によって得られる効果</p> <p>砂防施設を整備することにより、上記の保全対象への土砂災害を防止することができる。</p>				
	(2) 事業内容				
	砂防堰堤 1基				
社会経済情勢等の状況	(3) 整備目標等				
	<p>土砂災害の危険が高い箇所において、砂防事業等を実施する。</p> <p>いわて県民計画(2019～2028)第2期アクションプラン</p> <p>IX 社会基盤 46安全・安心を支える社会資本を整備します</p> <p>①ハード対策とソフト施策を効率的に組み合わせた防災・減災対策</p>				
	(4) 事業計画期間及び総事業費				
	<p>○事業計画期間 : 令和8年度～令和12年度</p> <p>(用地着手予定年度 : 令和10年度、工事着手予定年度 : 令和11年度)</p> <p>○総事業費 : 500百万円</p>				
	(1) 全国の状況				
<p>平成23年3月11日の東日本大震災津波、平成26年8月の広島市を襲った前線による豪雨、平成27年9月の鬼怒川の氾濫を代表とする関東・東北豪雨、平成29年7月の九州北部豪雨、平成30年7月の西日本豪雨、令和元年10月の東日本台風、令和2年7月の九州から西日本・東日本の豪雨、令和6年1月の能登半島地震等に見られるように、自然災害により尊い人命や家屋等の財産が甚大な被害を受けている。このようなことから、着実にハード整備を進めるとともに、土砂災害警戒区域等の指定等のソフト施策の充実などにより、地域全体の防災意識の構築を図っていく。</p>					
(2) 本県内の状況					
<p>平成28年8月台風第10号及び令和元年10月台風第19号等より、本県においても大規模な浸水、土石流、がけ崩れ被害が発生していることから、防災事業に対する関心が依然として高まっており、効果的な事業の推進に努める必要がある。</p> <p>土砂災害対策施設整備を着実に進めるとともに、土砂災害警戒区域等の指定、市町村による防災マップの策定及び公表など、ハード・ソフト対策を組み合わせた効果的な事業の推進に努めている。</p>					
(3) 施工地域における状況					
<p>当該渓流は、崩壊地形跡が見られ溪床・溪岸の侵食が著しいことから、土石流の発生が懸念されている。また、当該箇所は令和7年2月に発生した大規模林野火災において、激しい焼損被害を受けた箇所であり、流域内に多数の焼損流木や不安定土砂が体積している状況である。流域の下流には人家12戸、県道・市道・私鉄・津波一次避難所に指定されている小石浜公民館・消防団屯所等の保全対象があり、土石流発生時には甚大な被害のおそれがある。</p> <p>砂防施設を整備し、住民の生命・財産及び公共施設を保全する必要がある。</p>					

自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分 <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td rowspan="3">県レッドデータAランク</td> </tr> <tr> <td>有</td> </tr> <tr> <td>無</td> </tr> </table> <div style="clear: both;"></div> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 ・希少野生動植物生息の有無 ・埋蔵文化財包蔵地の有無 ・景観形成区域 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">岩手県景観計画区域(一般地域 農山漁村景観地区)</div>						A	県レッドデータAランク	有	無																																																																			
	A	県レッドデータAランク																																																																											
	有																																																																												
	無																																																																												
(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費 振興局で実施している公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら環境に配慮した事業計画の推進及び工事の施工を行うものとする。 《環境等への配慮に要する経費》 切土や盛土については植生による緑化を図る。																																																																													
○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全区分に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。																																																																													
項目評価 (a) . b c																																																																													
事業計画の妥当性	(1) 事業に関する指標からみた評価																																																																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価指標</th> <th>区分</th> <th>配点</th> <th>評点</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">必要性</td> <td>保全人家</td> <td>5戸≦保全人家<50戸</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>12戸</td> </tr> <tr> <td>保全公共施設等</td> <td>あり</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>県道・市道・私鉄</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重要性</td> <td>市町村地域防災計画の位置付け</td> <td>あり</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>津波避難路</td> </tr> <tr> <td>政策課題</td> <td>あり</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>指定津波一時避難所、消防団屯所</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">緊急性</td> <td>溪床勾配</td> <td>10度>角度</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>8.45度</td> </tr> <tr> <td>荒廃面積</td> <td>10%≦荒廃面積</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>焼損調査結果より</td> </tr> <tr> <td>堆積土砂厚</td> <td>堆積土厚<2m</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>0.5m</td> </tr> <tr> <td>溪流危険度</td> <td>被害 なし</td> <td>15</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>整備状況</td> <td>整備率80%未満</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>施設なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率性</td> <td>経済性</td> <td>3.0≦B/C5.0</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>B/C=3.5</td> </tr> <tr> <td>早期効果度</td> <td>事業年数≦5年</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>5年</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td>100</td> <td>70</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						評価指標		区分	配点	評点	備 考	必要性	保全人家	5戸≦保全人家<50戸	10	8	12戸	保全公共施設等	あり	10	10	県道・市道・私鉄	重要性	市町村地域防災計画の位置付け	あり	5	5	津波避難路	政策課題	あり	5	5	指定津波一時避難所、消防団屯所	緊急性	溪床勾配	10度>角度	5	0	8.45度	荒廃面積	10%≦荒廃面積	5	5	焼損調査結果より	堆積土砂厚	堆積土厚<2m	5	2	0.5m	溪流危険度	被害 なし	15	0		整備状況	整備率80%未満	10	10	施設なし	効率性	経済性	3.0≦B/C5.0	20	15	B/C=3.5	早期効果度	事業年数≦5年	10	10	5年	計			100	70	
	評価指標		区分	配点	評点	備 考																																																																							
	必要性	保全人家	5戸≦保全人家<50戸	10	8	12戸																																																																							
		保全公共施設等	あり	10	10	県道・市道・私鉄																																																																							
	重要性	市町村地域防災計画の位置付け	あり	5	5	津波避難路																																																																							
		政策課題	あり	5	5	指定津波一時避難所、消防団屯所																																																																							
	緊急性	溪床勾配	10度>角度	5	0	8.45度																																																																							
		荒廃面積	10%≦荒廃面積	5	5	焼損調査結果より																																																																							
		堆積土砂厚	堆積土厚<2m	5	2	0.5m																																																																							
		溪流危険度	被害 なし	15	0																																																																								
		整備状況	整備率80%未満	10	10	施設なし																																																																							
	効率性	経済性	3.0≦B/C5.0	20	15	B/C=3.5																																																																							
		早期効果度	事業年数≦5年	10	10	5年																																																																							
	計			100	70																																																																								
	○事業に関する指標からみた評価については各評価指標の合計が60点以上であることから「b」とした。																																																																												
	項目評価 a . (b) . c																																																																												

事業計画の妥当性

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:砂防関係事業の費用便益分析マニュアル(案)

基準年:令和7年

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	建設費	427	
	維持管理	7	
	総 費 用 (C)	434	
便益項目	人家・事業所	156	
	道路・鉄道	56	
	人的被害(逸失利益)	37	
	応急対策	9	
	人的被害(精神損害)	1,273	
	総 便 益 (B)	1,531	
費用便益比 (B/C)		3.5	

※金額は現在価値化した金額を記載している。

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項
なし

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

なし

(4) コスト削減対策の取り組み状況

砂防堰堤の位置選定にあたり、単独及び複数基の砂防堰堤により土石流を処理できる配置及び規模を複数案比較し、最も経済的になるよう検討する。

(5) 代替案の比較検討結果

砂防堰堤以外については、発生源における山腹工や砂溜工等が考えられるが、溪床に不安定土砂が多く堆積しているため、対策として不十分なものとなったり、対策工に多くの費用を要したり、ランニングコストが高くなる工法とならざるを得ないことが予想される。
また、保全対象施設の移転は現実的に不可能であり、砂防堰堤ほかハード整備以外の代替案はない。

(1) 総合評価

総合評価	AA A B ・ C
------	-------------------

(事業名)通常砂防事業 小石浜の沢 (6)

着手 年度	完了予 定年度	事業費 (百万円)	自然環境等 の状況に係 る評価結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R8	R12	500	a	70	b	3.5

○総合評価に係るコメント

「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価とし、「事業計画の妥当性」については、評価指標の評点の合計が60点以上80点以下となっていることから「b」評価とし、総合評価を「A」とした。

当事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、事業の実施が妥当であると判断したものである。

(2) その他特記事項

なし

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和7年9月8日作成

事業名	急傾斜地崩壊対策事業	補助	担当部課名	県土整備部砂防災害課
路線名等	—	地区名	あべたて 安倍館	市町村 盛岡市
事業概要	〔事業根拠法令等：急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律〕			
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題</p> <p>当該地は岩手県盛岡市安倍館町地区に位置するがけ高約7.8m、勾配約40度の急傾斜地であり、平成18年に土砂災害特別警戒区域等に指定されている。斜面の上部には人家16戸の保全対象がある。当該斜面は荒廃が進んでおり、平成8年の大雨により崖上の一部が崩壊し、人家1戸を取り壊し移転済みである。今後も豪雨等による崩壊が発生する恐れがあることから、地元から対策施設の整備要望が強い。</p> <p>○整備によって得られる効果</p> <p>急傾斜地崩壊対策施設の整備により、上記保全対象の保全が図られる。</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>法面对策工 2,360m²</p> <p>(3) 整備目標等</p> <p>土砂災害の危険が高い箇所において、急傾斜地崩壊対策事業を実施する。</p> <p>いわて県民計画（2019～2028）第2期アクションプラン</p> <p>IX 社会基盤 46安全・安心を支える社会資本を整備します</p> <p>①ハード対策とソフト施策を効率的に組み合わせた防災・減災対策</p> <p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <p>○事業計画期間 : 令和8年度～令和13年度</p> <p>(用地着手予定年度 : 令和8年度、工事着手予定年度 : 令和13年度)</p> <p>○総事業費 : 500百万円</p>			
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 全国の状況</p> <p>平成23年3月11日の東日本大震災津波、平成26年8月の広島市を襲った前線による豪雨、平成27年9月の鬼怒川の氾濫を代表とする関東・東北豪雨、平成29年7月の九州北部豪雨、平成30年7月の西日本豪雨、令和元年10月の東日本台風、令和2年7月の九州から西日本・東日本の豪雨、令和6年1月の能登半島地震等に見られるように、自然災害により尊い人命や家屋等の財産が甚大な被害を受けている。このようなことから、着実にハード整備を進めるとともに、土砂災害警戒区域等の指定等のソフト施策の充実などにより、地域全体の防災意識の構築を図っていく。</p> <p>(2) 本県内の状況</p> <p>平成28年8月台風第10号及び令和元年10月台風第19号等により、本県においても大規模な浸水及び土石流、がけ崩れ被害が発生していることから、防災事業に対する関心が依然として高まっており、効果的な事業の推進に努める必要がある。</p> <p>土砂災害対策施設整備を着実に進めるとともに、土砂災害警戒区域等の指定、市町村による防災マップの策定及び公表など、ハード・ソフト対策を組み合わせた効果的な事業の推進に努めている。</p> <p>(3) 施工地域における状況</p> <p>当該斜面は荒廃が進んでおり、平成8年の大雨により崖上の一部が崩壊し、人家1戸を取り壊し移転した経緯がある。保全対象には人家16戸がある。</p> <p>今後の豪雨による土砂災害の危険性が高いため、急傾斜地崩壊対策施設を整備し、住民の生命財産及び公共施設を保全すること目的として事業を行うものである。</p>			

自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分 ・ 岩手県自然環境保全指針による保全区分 <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>E</td></tr><tr><td>無</td></tr><tr><td>有</td></tr></table> 安倍館（厨川城）遺跡 ・ 希少野生動植物生息の有無 ・ 埋蔵文化財包蔵地の有無 ・ 景観形成区域 <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>盛岡市景観計画区域（市街地景観地区 河川景観保全地域）</td></tr></table>					E	無	有	盛岡市景観計画区域（市街地景観地区 河川景観保全地域）																																																														
	E																																																																						
無																																																																							
有																																																																							
盛岡市景観計画区域（市街地景観地区 河川景観保全地域）																																																																							
(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費 振興局で実施している公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら環境に配慮した事業計画の推進及び工事の施工を行うものとする。 《環境等への配慮に要する経費》 切土や盛土については植生による緑化を図る。																																																																							
○自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。																																																																							
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">項目評価</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">a</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">b</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">c</td> </tr> </table>					項目評価	a	b	c																																																															
項目評価	a	b	c																																																																				
事業計画の妥当性	(1) 事業に関する指標からみた評価																																																																						
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2">評価指標</th> <th>区分</th> <th>配点</th> <th>評点</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">必要性</td> <td>保全人家</td> <td>10戸≦保全人家</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>16戸</td> </tr> <tr> <td>保全公共施設等</td> <td>なし</td> <td>10</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重要性</td> <td>市町村地域防災計画の位置付け</td> <td>あり</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>盛岡市地域防災計画に位置付けあり</td> </tr> <tr> <td>政策課題</td> <td>なし</td> <td>5</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">緊急性</td> <td>斜面の角度</td> <td>30度≦角度<45度</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>39.3度</td> </tr> <tr> <td>斜面の高さ</td> <td>5m≦高さ<10m</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>7.8m</td> </tr> <tr> <td>斜面の地質</td> <td>1m≦表土厚</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>1.40m</td> </tr> <tr> <td>斜面の危険度（災害履歴・前兆現象）</td> <td>人家等に被害を与えた。または、被害を与えるおそれ大きい。</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>H8斜面の一部崩壊あり 人家1戸取壊し移転</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率性</td> <td>経済性（費用便益比(B/C)）</td> <td>5.0≦B/C</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>B/C=6.4</td> </tr> <tr> <td>早期効果度（工事期間）</td> <td>5年<事業年数≦7年</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>6年</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td></td> <td>100</td> <td>71</td> <td></td> </tr> </table>					評価指標		区分	配点	評点	備考	必要性	保全人家	10戸≦保全人家	10	10	16戸	保全公共施設等	なし	10	0		重要性	市町村地域防災計画の位置付け	あり	5	5	盛岡市地域防災計画に位置付けあり	政策課題	なし	5	0		緊急性	斜面の角度	30度≦角度<45度	5	2	39.3度	斜面の高さ	5m≦高さ<10m	10	4	7.8m	斜面の地質	1m≦表土厚	5	5	1.40m	斜面の危険度（災害履歴・前兆現象）	人家等に被害を与えた。または、被害を与えるおそれ大きい。	20	20	H8斜面の一部崩壊あり 人家1戸取壊し移転	効率性	経済性（費用便益比(B/C)）	5.0≦B/C	20	20	B/C=6.4	早期効果度（工事期間）	5年<事業年数≦7年	10	5	6年	計			100	71	
	評価指標		区分	配点	評点	備考																																																																	
	必要性	保全人家	10戸≦保全人家	10	10	16戸																																																																	
		保全公共施設等	なし	10	0																																																																		
	重要性	市町村地域防災計画の位置付け	あり	5	5	盛岡市地域防災計画に位置付けあり																																																																	
		政策課題	なし	5	0																																																																		
	緊急性	斜面の角度	30度≦角度<45度	5	2	39.3度																																																																	
		斜面の高さ	5m≦高さ<10m	10	4	7.8m																																																																	
		斜面の地質	1m≦表土厚	5	5	1.40m																																																																	
		斜面の危険度（災害履歴・前兆現象）	人家等に被害を与えた。または、被害を与えるおそれ大きい。	20	20	H8斜面の一部崩壊あり 人家1戸取壊し移転																																																																	
	効率性	経済性（費用便益比(B/C)）	5.0≦B/C	20	20	B/C=6.4																																																																	
		早期効果度（工事期間）	5年<事業年数≦7年	10	5	6年																																																																	
	計			100	71																																																																		
	○事業に関する指標からみた評価については各評価指標の合計が60点以上であることから「b」とした。																																																																						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">項目評価</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">a</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">b</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">c</td> </tr> </table>					項目評価	a	b	c																																																															
項目評価	a	b	c																																																																				

事業計画の妥当性

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:砂防関係事業の費用便益分析マニュアル(案)基準年:令和7年

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	建設費	436	
	維持管理	16	
	総 費 用 (C)	452	
便益項目	人家・事務所	300	
	人的被害 (損失利益)	114	
	応急対策	18	
	人的被害 (精神損害)	2,445	
総 便 益 (B)		2,877	
費 用 便 益 比 (B/C)		6.4	

※金額は現在価値化したもの。

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項
なし

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

なし

(4) コスト縮減対策の取り組み状況

急傾斜地崩壊対策施設の工法を選定するにあたり、施工性・景観性・経済性等を総合的に評価したうえで、最も経済的になるよう検討する。

(5) 代替案の比較検討結果

他工法として抑止杭工や切土工+法面保護工等が考えられるが、斜面の伐開及び切土を要し、近接している多数の民家の移設が必要となり、現実的に不可能である。ユニットネット工法ほかハード整備以外の代替案はない。

総 合 評 価	(1) 総合評価						
	総 合 評 価				A A ・ A ・ B ・ C		
	(事業名) 急傾斜地崩壊対策事業 安倍館						
	着手 年度	完了予 定年度	事業費 (百万円)	自然環 境等の 状況に 係る評 価結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
					評価点数	評価結果	
	R8	R13	500	a	71	b	6.4
	○総合評価に係るコメント						
	本事業により、急傾斜地崩壊対策施設を整備することにより、土砂災害による被害を軽減し、人命や財産などの保全に寄与するものである。						
	「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価とし、「事業計画の妥当性」については、評価指標の評点の合計が71点となっていることから「b」評価とし、総合評価を「A」とした。						
	当事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、事業の実施が妥当であると判断したものである。						
(2) その他特記事項 なし							

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの)

令和7年10月3日作成

事業名	都市計画道路整備事業		補助・単独	担当部課名	都市計画課
路線名等	都市計画道路向中野安倍館線 <small>むかいなかのあべたてせん</small>	地区名	仙北三丁目 <small>せんぼくさんちようめ</small>	市町村	盛岡市
事業概要	〔事業根拠法令等：都市計画法第59条〕				
	(1) 事業目的 ○解決すべき課題 本路線は、盛岡広域都市計画に定められた都市計画道路であり、また、中心市街地と仙北地区を結び、「もりおか交通戦略」にバスを中心とした公共交通軸として位置付けられた重要な路線である。 仙北三丁目地区は現状2車線であり、前後が4車線で整備済みあることからボトルネックとなっており、慢性的な渋滞が発生しバス運行の定時性、速達性が損なわれている現状である。 ○整備によって得られる効果 当該区間の4車線化整備により、交通混雑の緩和を図り、車両の円滑な運行を確保するとともに、公共交通（バス等）の定時性、速達性の確保が図られる。				
	(2) 事業内容 全体計画延長 L=370m 幅員W=22.0m～23.0m 道路改築延長 L=370m				
	(3) 整備目標等 市街地における幹線道路密度3.50km/km ² （都市計画中央審議会中間申告） （令和6年度岩手県実績値：2.11km/km ² ）				
社会経済情勢等の状況	(4) 事業計画期間及び総事業費 ○事業計画期間：令和8年度～令和16年度 （用地着手予定年度：令和9年度、工事着手予定年度：令和12年度） ○総事業費：3,500百万円				
	(1) 全国の状況 ・競争力、成長力の確保や地域の活性化のための道路整備が求められており、地域の自立と活力の強化、安全・安心の確保、環境の保全と豊かな生活環境の創造などの政策課題について、重点的・効率的に事業を推進することとしている。				
	(2) 本県内の状況 ・「いわて県民計画（2019～2028）」では、快適で魅力あるまちをつくるため、都市計画道路などの都市基盤の整備や老朽化が進む施設の適切な維持管理を推進することとしている。 ・また、「岩手県道路事業実施計画」では、交通渋滞の緩和、中心市街地の活性化、安全な歩行空間の確保などを図るための道路整備を進めていくこととしている。				
	(3) 施工地域における状況 ・盛岡市より当該地区の整備促進について要望がある。				
(参考) 予算の動向 ・道路改築関係予算は平成10年度をピークとして減少傾向である。 ・今後は整備効果の早期発現を図るため、「選択と集中」により継続地区に重点投資するほか、新規地区は、必要性、緊急性等の高い箇所を厳選して着手することとしている。					

自然環境等の状況	<p>(1) 動植物・地形・地質・歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 E ・希少野生動植物生息の有無 有り（県レッドデータAランク） ・埋蔵文化財包蔵地の有無 無し <p>(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振興局で実施している公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら関係機関との協議並びに現地調査を行い、環境に配慮しながら事業を実施することとする。 ・施工にあたっては、排ガス対策及び低騒音型建設機械の使用、再生アスファルト合材及び再生砕石の使用を基本とする。 <p>※ 自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</p>																																																																																																																
	<div style="text-align: right;">項目評価 (a) . b . c</div>																																																																																																																
事業計画の妥当性	<p>(1) 事業に関する指標からみた評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価指標</th> <th>区分</th> <th>配点</th> <th>評点</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">必要性</td> <td>混雑度</td> <td>混雑度1.0以上</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1.51</td> </tr> <tr> <td>歩行者交通量</td> <td>交通量100人/12h以上</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>485人/12h</td> </tr> <tr> <td>自転車交通量</td> <td>交通量500台/12h以上</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>486台/12h</td> </tr> <tr> <td>歩道整備状況</td> <td>整備済</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>整備済</td> </tr> <tr> <td>前後区間整備状況</td> <td>前後整備済</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>前後整備済</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>20</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">重要性</td> <td>交通機能、防災機能</td> <td>主要幹線（4車線）</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>4車線</td> </tr> <tr> <td>中心市街地活性化支援</td> <td>商業用途内</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>商業用途内</td> </tr> <tr> <td>公共交通支援</td> <td>駅と市街地を結ぶ道路</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>駅に接続するバス路線有り</td> </tr> <tr> <td>景観への配慮</td> <td>電線地中化指定路線</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>指定なし</td> </tr> <tr> <td>地域課題等との関連</td> <td>県北沿岸振興等地域課題に対応する道路</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>地域課題に対応する道路</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>35</td> <td>28</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">緊急性</td> <td>渋滞ポイント、老朽協</td> <td>渋滞箇所、交通危険箇所</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>主要渋滞箇所</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>10</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率性</td> <td>費用便益比（B/C）</td> <td>$2.0 \leq B/C$</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>20</td> <td>20</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">熟度</td> <td>地域の合意形成</td> <td>合意形成に向け協議が進められている地域</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>概ね地域合意</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>15</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>75</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。</p>						評価指標		区分	配点	評点	備 考	必要性	混雑度	混雑度1.0以上	3	3	1.51	歩行者交通量	交通量100人/12h以上	3	3	485人/12h	自転車交通量	交通量500台/12h以上	3	0	486台/12h	歩道整備状況	整備済	5	0	整備済	前後区間整備状況	前後整備済	6	6	前後整備済	小計		20	12		重要性	交通機能、防災機能	主要幹線（4車線）	10	10	4車線	中心市街地活性化支援	商業用途内	5	5	商業用途内	公共交通支援	駅と市街地を結ぶ道路	5	5	駅に接続するバス路線有り	景観への配慮	電線地中化指定路線	5	0	指定なし	地域課題等との関連	県北沿岸振興等地域課題に対応する道路	10	8	地域課題に対応する道路	小計		35	28		緊急性	渋滞ポイント、老朽協	渋滞箇所、交通危険箇所	10	5	主要渋滞箇所	小計		10	5		効率性	費用便益比（B/C）	$2.0 \leq B/C$	20	20	2.3	小計		20	20		熟度	地域の合意形成	合意形成に向け協議が進められている地域	15	10	概ね地域合意	小計		15	10		計			100	75	
	評価指標		区分	配点	評点	備 考																																																																																																											
必要性	混雑度	混雑度1.0以上	3	3	1.51																																																																																																												
	歩行者交通量	交通量100人/12h以上	3	3	485人/12h																																																																																																												
	自転車交通量	交通量500台/12h以上	3	0	486台/12h																																																																																																												
	歩道整備状況	整備済	5	0	整備済																																																																																																												
	前後区間整備状況	前後整備済	6	6	前後整備済																																																																																																												
	小計		20	12																																																																																																													
重要性	交通機能、防災機能	主要幹線（4車線）	10	10	4車線																																																																																																												
	中心市街地活性化支援	商業用途内	5	5	商業用途内																																																																																																												
	公共交通支援	駅と市街地を結ぶ道路	5	5	駅に接続するバス路線有り																																																																																																												
	景観への配慮	電線地中化指定路線	5	0	指定なし																																																																																																												
	地域課題等との関連	県北沿岸振興等地域課題に対応する道路	10	8	地域課題に対応する道路																																																																																																												
	小計		35	28																																																																																																													
緊急性	渋滞ポイント、老朽協	渋滞箇所、交通危険箇所	10	5	主要渋滞箇所																																																																																																												
	小計		10	5																																																																																																													
効率性	費用便益比（B/C）	$2.0 \leq B/C$	20	20	2.3																																																																																																												
	小計		20	20																																																																																																													
熟度	地域の合意形成	合意形成に向け協議が進められている地域	15	10	概ね地域合意																																																																																																												
	小計		15	10																																																																																																													
計			100	75																																																																																																													
<div style="text-align: right;">項目評価 a . (b) . c</div>																																																																																																																	

事業計画の妥当性

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:費用便益分析マニュアル、道路投資の評価に関する指標（案）第1編、第2編

基準年：令和7年度

区 分		今回評価時 (基準年：R7)	備 考
費用項目	改築費	2,620.25	
	維持費	5.37	
	総 費 用 (C)	2,625.6	
便益項目	時間短縮便益	3,973.1	
	走行経費減少便益	170.0	
	事故減少便益	10.8	
	3 便益 ①	4,153.8	
	拡張便益	2,007.3	
	その他便益 ②	2,007.3	
	総便益 (B) ①+②	6,161.1	
費用便益比 (B/C)		2.3	

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項

・ 拡張便益として歩行の安全性・快適性の向上を考慮している。

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

・ 特になし

(4) コスト縮減対策の取り組み状況

・ 他事業への残土の流用

(5) 代替案の比較検討結果

・ 本事業は都市計画決定された都市計画道路の4車線化整備のため、代替案の可能性はない。

総合評価

総合評価

AA

A

B

C

(事業名)都市計画道路整備事業

都市計画道路向中野安倍館線

仙北三丁目

着手 年度	完了予 定年度	事業費 (百万円)	自然環境 等の状況 に係る評 価結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R8	R16	3500	a	75	b	2.3

○総合評価に係るコメント

・「自然環境等の状況」については、自然環境保全方針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応を予定していることから「a」評価、また「事業計画の妥当性」については、評価指標の合計が60点以上80点未満」となっていることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。

・当該箇所は現状2車線であり、前後が4車線で整備済みあることからボトルネックとなっており、慢性的な渋滞が発生しバス運行の定時性、速達性が損なわれている現状である。

・このことから早急に道路を整備し、円滑な車両の通行や歩行者の安全確保を図る必要があり、公共交通（バス等）の定時性、速達性の確保が図られるものであることから、事業の実施が妥当であると判断したものである。

(2) その他特記事項

なし

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和7年10月7日作成

事業名	広域公園整備事業	補助・単独	担当部課名	県土整備部都市計画課		
路線名等	いわてけんりつ 岩手県立	ごしょこういきこうえん 御所湖広域公園	地区名	しずくいしちやうにしあにわ 雫石町西安庭地内ほか	市町村	盛岡市・雫石町
事業概要	〔事業根拠法令等：都市公園法、県立都市公園条例〕					
	(1) 事業目的					
	<p>○ 解決すべき課題</p> <p>御所湖広域公園は、御所ダムによって作られた湖面とその周辺を活用し、盛岡地方生活圏におけるレクリエーション需要への対応と、環境保全及び景観の調和等を目的に整備が進められ平成27年度に一旦整備完了しているが、開園から40年以上が経過し、施設の老朽化が顕著であることや整備からの時間の経過とともに、現在の遊び方や使い方等、利用者のニーズに対応しきれいていないものが出てきている。</p> <p>○ 整備によって得られる効果</p> <p>利用者と地域等のニーズに基づいた施設の再整備により、時代に即した施設の配置や誰もが利用でき、どんな世代でも安心して過ごし楽しめる空間づくりが図られる。</p>					
	(2) 事業内容					
	<p>都市計画決定面積：311.6ha 供用済面積 96.6ha</p> <p>供用済面積のうち乗物広場、町場地区園地、ファミリーランド、御所大橋運動場等の機能的活用が十分に図られていない空地 5.2haの公園施設（遊戯施設、運動施設、便益施設）の再整備</p>					
社会経済情勢等の状況	(3) 整備目標等					
	<p>誰もが安心して楽しめる公園として再整備を実施し、公園利用者数の増加を図る。</p> <p>〔御所湖広域公園利用者数〕</p> <p>当初現況値(令和6年度末) 112,984人 → 目標値 120,000人(令和12年度末)</p>					
	(4) 事業計画期間及び総事業費					
	<p>○事業計画期間：令和8年度～令和14年度</p> <p>(用地着手予定年度：官地内施工(取得無し)、工事着手予定年度：令和8年度)</p> <p>○総事業費：980百万円</p>					
	(1) 全国の状況					
<p>少子高齢化や人口減少、都市化による環境問題、地方活性化、都市間競争の激化、社会資本の老朽化、財政・人員の制約、価値観の多様化などを背景に、緑地やオープンスペースの政策は、より一層住みやすく持続可能な都市へ再構築することを全国各地で進めていくべきとされている。</p> <p>新たな時代における公園の役割は、個人と社会の「Well-being（幸福・健康）」の向上に貢献するため、地域課題や公園の特性に応じ、その多機能性のポテンシャルを更に発揮することが重要とされている。</p> <p>これらのことから国では、平成29年都市公園法の改正による民間活力による新たな都市公園の整備手法の創設や、都市緑地法等の改正による国主導の戦略的な緑政策を進めている。</p>						
(2) 本県内の状況						
<p>「いわて県民計画（2019～2028）」では、「居住環境・コミュニティ」の基本方向の中で、持続可能なまちづくりに向け、市町村との連携により適正な土地利用を図りながら、道路や公園などの都市基盤やユニバーサルデザインによる公共施設等の整備を推進するとしている。</p>						
(3) 施工地域における状況						
<ul style="list-style-type: none"> ダム湖利用実態調査によると、調査対象の全国120箇所のダムのうち御所ダムの年間利用者数（74.5万人：令和元年度）は全国2位となっており、施工地域におけるレクリエーション需要は依然として高い状態にある。 令和2年度に実施した利用者や県民アンケートでは、訪問経験者の65.0%が総合的に「満足」と評価し、うち8割以上が「また来たい」と回答しており、利用者の高い満足度と再訪意向が示された状況であるといえる。 						
(参考) 予算の動向						
<p>広域公園整備事業費は、ここ5年程度は岩手県公園施設長寿命化計画に基づく施設の修繕や改築を実施しており、施工内容等により増減はあるものの御所湖広域公園は年間概ね50～100百万円の事業費で推移している。</p>						

自然環境等の状況	<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 : C、D ・希少野生動植物の有無 : あり (県レッドデータブックBランク) ・埋蔵文化財 : あり (湖周辺に複数の遺跡群あり) <p>(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振興局で実施している公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら関係機関との協議並びに現地調査を行い、環境に配慮しながら事業を実施することとする。 ・施工にあたっては、排ガス対策及び低騒音型建設機械の使用、再生アスファルト合材及び再生砕石の使用を基本とする。 <p>※ 自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</p>																																																																																				
	<div>項目評価</div> <div>a . b . c</div>																																																																																				
事業計画の妥当性	<p>(1) 事業に関する指標からみた評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価指標</th> <th>区分</th> <th>配点</th> <th>評点</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">必要性</td> <td>一人当たりの都市公園面積 (m²/人)</td> <td>11.5m²/人以上 ～12.5m²未満</td> <td>10</td> <td>4 (現況12.3m²)</td> <td>盛岡広域圏内</td> </tr> <tr> <td>県立広域公園の利用者数</td> <td>100千人以上</td> <td>10</td> <td>10 (現況113千人)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防災公園となりうる都市公園割合 (2m²/人)</td> <td>4倍以上～7倍未満</td> <td>5</td> <td>3 (現況6.2倍)</td> <td>盛岡広域圏内</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">重要性</td> <td>「総合計画」の主要な指標の向上に寄与</td> <td>なし</td> <td>5</td> <td>0 (なし)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市町村等支援策</td> <td>なし</td> <td>5</td> <td>0 (なし)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「緑の基本計画」、「公園緑地計画」の位置づけ</td> <td>あり</td> <td>10</td> <td>10 (あり)</td> <td>盛岡市緑の基本計画</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">緊急性</td> <td>地域課題・上位計画との整備スケジュール</td> <td>地域課題・関連事業を支援する公園</td> <td>10</td> <td>10 (該当)</td> <td>御所ダムビジョン</td> </tr> <tr> <td>レクリエーション施設整備水準 (箇所数)</td> <td>50箇所～65箇所</td> <td>5</td> <td>4 (現況56箇所)</td> <td>盛岡広域圏内</td> </tr> <tr> <td>スポーツ施設整備水準 (人口1万人あたり設置数)</td> <td>6箇所未満</td> <td>5</td> <td>5 (現況3.1箇所)</td> <td>盛岡広域圏内</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>費用便益比</td> <td>1.5 ≤ B/C < 2.0</td> <td>20</td> <td>18 (B/C=1.9)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">熟度</td> <td rowspan="3">地域の合意形成</td> <td>地元の要望及び期待度</td> <td>5</td> <td>5 (あり)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持管理運営体制</td> <td>5</td> <td>5 (あり)</td> <td>指定管理制度</td> </tr> <tr> <td>用地の確保、進捗度</td> <td>5</td> <td>5 (あり)</td> <td>官地内施工</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td></td> <td>100</td> <td>79</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。</p>					評価指標		区分	配点	評点	備考	必要性	一人当たりの都市公園面積 (m ² /人)	11.5m ² /人以上 ～12.5m ² 未満	10	4 (現況12.3m ²)	盛岡広域圏内	県立広域公園の利用者数	100千人以上	10	10 (現況113千人)		防災公園となりうる都市公園割合 (2m ² /人)	4倍以上～7倍未満	5	3 (現況6.2倍)	盛岡広域圏内	重要性	「総合計画」の主要な指標の向上に寄与	なし	5	0 (なし)		市町村等支援策	なし	5	0 (なし)		「緑の基本計画」、「公園緑地計画」の位置づけ	あり	10	10 (あり)	盛岡市緑の基本計画	緊急性	地域課題・上位計画との整備スケジュール	地域課題・関連事業を支援する公園	10	10 (該当)	御所ダムビジョン	レクリエーション施設整備水準 (箇所数)	50箇所～65箇所	5	4 (現況56箇所)	盛岡広域圏内	スポーツ施設整備水準 (人口1万人あたり設置数)	6箇所未満	5	5 (現況3.1箇所)	盛岡広域圏内	効率性	費用便益比	1.5 ≤ B/C < 2.0	20	18 (B/C=1.9)		熟度	地域の合意形成	地元の要望及び期待度	5	5 (あり)		維持管理運営体制	5	5 (あり)	指定管理制度	用地の確保、進捗度	5	5 (あり)	官地内施工	計			100	79	
	評価指標		区分	配点	評点	備考																																																																															
必要性	一人当たりの都市公園面積 (m ² /人)	11.5m ² /人以上 ～12.5m ² 未満	10	4 (現況12.3m ²)	盛岡広域圏内																																																																																
	県立広域公園の利用者数	100千人以上	10	10 (現況113千人)																																																																																	
	防災公園となりうる都市公園割合 (2m ² /人)	4倍以上～7倍未満	5	3 (現況6.2倍)	盛岡広域圏内																																																																																
重要性	「総合計画」の主要な指標の向上に寄与	なし	5	0 (なし)																																																																																	
	市町村等支援策	なし	5	0 (なし)																																																																																	
	「緑の基本計画」、「公園緑地計画」の位置づけ	あり	10	10 (あり)	盛岡市緑の基本計画																																																																																
緊急性	地域課題・上位計画との整備スケジュール	地域課題・関連事業を支援する公園	10	10 (該当)	御所ダムビジョン																																																																																
	レクリエーション施設整備水準 (箇所数)	50箇所～65箇所	5	4 (現況56箇所)	盛岡広域圏内																																																																																
	スポーツ施設整備水準 (人口1万人あたり設置数)	6箇所未満	5	5 (現況3.1箇所)	盛岡広域圏内																																																																																
効率性	費用便益比	1.5 ≤ B/C < 2.0	20	18 (B/C=1.9)																																																																																	
熟度	地域の合意形成	地元の要望及び期待度	5	5 (あり)																																																																																	
		維持管理運営体制	5	5 (あり)	指定管理制度																																																																																
		用地の確保、進捗度	5	5 (あり)	官地内施工																																																																																
計			100	79																																																																																	
<div>項目評価</div> <div>a . b . c</div>																																																																																					

事業計画の妥当性

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法：改訂第4版大規模公園費用対効果分析手法マニュアル（H29.4、改訂R6.3）

基準年：令和7年度

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	用地費	5,948.0	
	施設費	30,782.0	
	維持管理費	12,157.0	
	総 費 用 (C)	48,887.0	
便益項目	直接利用価値	22,595.0	
	間接利用価値	68,859.0	
	総 便 益 (B)	91,454.0	
費用便益比 (B/C)		1.9	

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

「御所ダム建設事業」（国土交通省） 昭和42年～昭和56年

「御所ダムレイクパーク事業」（国土交通省） 平成元年～平成10年

「岩手県立御所湖広域公園艇庫・漕艇場」（岩手県） 昭和58年9月供用開始

「盛岡手づくり村」（盛岡市） 昭和61年5月開業

「つなぎ多目的運動場」（盛岡市） 平成26年4月開園

(4) コスト縮減対策の取り組み状況

- ・盛土材に他事業の発生土を活用しコスト縮減を図る。
- ・発生土の効率的な流用を図るほか、実施設計及び施工段階でより経済的な工法・材料等を採用し、コスト縮減に努める。

(5) 代替案の比較検討結果

- ・本事業は、既に供用済の公園施設の中で再整備を実施するものであり、代替案立案の可能性はない。

(1) 総合評価

総合評価	AA ・ A ・ B ・ C
------	----------------

(事業名) 広域公園整備事業 御所湖広域公園

着手 年度	完了予 定年度	事業費 (百万円)	自然環 境等 の状 況に 係る 評 価 結 果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R8	R14	980	a	79	b	1.9

○総合評価に係るコメント

- ・「自然環境等の状況」については、自然環境保全方針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応を予定していることから「a」評価、また「事業計画の妥当性」については、評価指標の合計が60点以上80点未満」となっていることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。
- ・本事業は、公園利用者や地域のニーズに基づく施設の再整備により、誰もが利用でき、安全安心で快適な空間づくりに寄与するものである。
- ・本事業の目的を達成するために、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、事業の実施が妥当であると判断したものである。

(2) その他特記事項

- ・なし

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和7年10月6日作成

事業名	公営住宅建設事業（公営住宅）	補助・単独	担当部課名	県土整備部建築住宅課			
路線名等	けんえいときわ 県営常盤アパート	地区名		市町村	奥州市		
事業概要	〔事業根拠法令等：公営住宅法〕						
	(1) 事業目的						
	○解決すべき課題 公営住宅に対する高い需要に対し的確な供給を図るとともに、昭和60年代に建設され老朽化した住宅ストックについて、計画的に改善を進めていく必要がある。						
	○整備によって得られる効果 建物の劣化や設備の陳腐化が顕著となった住宅について、設備改善、高齢化対応改善及び長寿命化改善を行うことにより住宅ストックの有効活用、ライフサイクルコストの縮減等が図られる。						
	(2) 事業内容						
社会経済情勢等の状況	・計画棟数：4棟（80戸）						
	・構造種別：中層耐火構造（鉄筋コンクリート4階建）						
	・実施内容：共同住宅の改修工事一式						
	(3) 整備目標等						
	・公営住宅における高齢者仕様整備率：令和7年度までに50%（県全体） （令和6年度実績58.6%） ※岩手県住宅マスタープラン						
	(4) 事業計画期間及び総事業費						
	○事業計画期間：令和8年度～令和14年度 （用地着手予定年度：－年度、工事着手予定年度：令和10年度）						
	○総事業費：1,130.32百万円						
	(1) 全国の状況						
	・高齢化の進展や所得格差が拡大傾向にある社会状況において、住宅セーフティネットとしての公営住宅の役割は依然重要であり、需要は高い。						
	・更新期を迎えつつある老朽化した公営住宅ストックが大量に存在しており、厳しい財政状況下において更新や維持管理を適切かつ計画的に実施し、需要に対応していくことが課題となっている。						
	(2) 本県内の状況						
	・全国の状況と同様に県営住宅に対する需要は高い。						
	・老朽化が進行する県営住宅を将来にわたり適正に維持し、需要に対応していくため、県では令和8年度に「岩手県公営住宅等長寿命化計画」を改訂予定であり、本事業はこの計画に基づき実施するものである。						
	(3) 施工地域における状況						
	・県営常盤アパートは、昭和60年代から平成初期にかけて建設された全4棟80戸の団地である。既に、耐用年数の1/2を超過しており、建物本体及び設備等に老朽化がみられることから、早急に改善を実施する必要がある。						
	(参考) 予算の動向						
	(百万円)						
	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	事業費	448	450	364	421	424	628
対前年度比	—	1.00	0.81	1.16	1.01	1.48	

自然環境等の状況		<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 E ・稀少野生動植物生息の有無 なし ・埋蔵文化財包蔵地の有無 なし <p>(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業は既存公営住宅の改善事業であり、自然環境の改変を伴うものではない。 ・改善計画において、省エネルギー化及び長寿命化に資する計画とすることにより、ライフサイクルコスト及びライフサイクルCO₂の削減を図ることとしている。 <p>○自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方針に沿った対応をすることから「b」とした。</p>																																																													
	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 10px;"> 項目評価 a . b . c </div>																																																														
事業計画の妥当性	<p>(1) 事業に関する指標からみた評価</p>																																																														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価指標</th> <th>区分</th> <th>配点</th> <th>評点</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">必要性</td> <td>住宅困窮世帯の多寡</td> <td>15%以上</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>年収500万円以下民間借家世帯の割合（15.0%）</td> </tr> <tr> <td>需要量の多寡</td> <td>2倍以上</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>過去の応募倍率の平均値（0.13倍）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">重要性</td> <td>高齢社会対応施策</td> <td>適合率80%以上</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>高齢化対応改善 適合項目/適用項目=5/6=83%</td> </tr> <tr> <td>環境負荷低減施策</td> <td>2項目該当</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>リサイクル対策 コスト削減</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">緊急性</td> <td>長寿社会施策の必要性</td> <td>あり</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>高齢化対応改善</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">効率性</td> <td>居住水準向上効果</td> <td>$1.0 \leq B/C$</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>$B/C=1.05$</td> </tr> <tr> <td>地域波及効果</td> <td>2項目該当</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>コミュニティの活性化 地域景観向上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">熟度</td> <td>関係者の了解</td> <td>なし</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>従前入居者の理解</td> </tr> <tr> <td>仮住居の確保</td> <td>あり</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>仮移転先確保</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td></td> <td>100</td> <td>72</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		評価指標		区分	配点	評点	備 考	必要性	住宅困窮世帯の多寡	15%以上	10	10	年収500万円以下民間借家世帯の割合（15.0%）	需要量の多寡	2倍以上	10	0	過去の応募倍率の平均値（0.13倍）	重要性	高齢社会対応施策	適合率80%以上	10	8	高齢化対応改善 適合項目/適用項目=5/6=83%	環境負荷低減施策	2項目該当	10	4	リサイクル対策 コスト削減	緊急性	長寿社会施策の必要性	あり	10	10	高齢化対応改善	効率性	居住水準向上効果	$1.0 \leq B/C$	20	20	$B/C=1.05$	地域波及効果	2項目該当	10	10	コミュニティの活性化 地域景観向上	熟度	関係者の了解	なし	10	0	従前入居者の理解	仮住居の確保	あり	10	10	仮移転先確保	計			100	72
評価指標		区分	配点	評点	備 考																																																										
必要性	住宅困窮世帯の多寡	15%以上	10	10	年収500万円以下民間借家世帯の割合（15.0%）																																																										
	需要量の多寡	2倍以上	10	0	過去の応募倍率の平均値（0.13倍）																																																										
重要性	高齢社会対応施策	適合率80%以上	10	8	高齢化対応改善 適合項目/適用項目=5/6=83%																																																										
	環境負荷低減施策	2項目該当	10	4	リサイクル対策 コスト削減																																																										
緊急性	長寿社会施策の必要性	あり	10	10	高齢化対応改善																																																										
効率性	居住水準向上効果	$1.0 \leq B/C$	20	20	$B/C=1.05$																																																										
	地域波及効果	2項目該当	10	10	コミュニティの活性化 地域景観向上																																																										
熟度	関係者の了解	なし	10	0	従前入居者の理解																																																										
	仮住居の確保	あり	10	10	仮移転先確保																																																										
計			100	72																																																											
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 10px;"> 項目評価 a . b . c </div>																																																															

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法: 公営住宅整備事業に係る新規事業採択時評価手法 (平成28年3月) 国土交通省

基準年: 令和7年度

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	建設費	1,071.1	
	修繕費	13.3	
	その他事業コスト	92.5	
	総 費 用 (C)	1,130.3	社会的割引率4%
便益項目	家賃	2,154.4	
	建物残存価値	107.1	
	総 便 益 (B)	1,184.3	社会的割引率4%
費用便益比 (B/C)		1.05	

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項
特になし

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

特になし

(4) コスト縮減対策の取り組み状況

- ・「岩手県公営住宅等長寿命化計画」に基づき、長寿命化型の改善や予防保全的な維持管理を実施することにより、ライフサイクルコストの縮減を図っていく。
- ・長寿命化改善によるライフサイクルコストの縮減額 約82千円/戸・年
(建設から45年で建替える場合と長寿命化により70年で建替える場合の比較による試算)

(5) 代替案の比較検討結果

- ・本事業により長寿命化を図った場合には、従来の更新手法である建替えを実施した場合と比較して、ライフサイクルコストの縮減が図られる(上記(4))。

総合評価	(1) 総合評価						
	総合評価				AA ・ A ・ B ・ C		
	(事業名) 公営住宅建設事業 (公営住宅) 常盤アパート						
	着手 年度	完了予 定年度	事業費 (百万円)	自然環 境等 の状 況に 係る 評 価 結 果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
					評価点数	評価結果	
	R8	R14	1, 130. 32	b	72	b	1. 05
	<p>○総合評価に係るコメント</p> <p>・当該アパートは、老朽化や機能劣化が著しい状態にあるが、本事業により改善を実施することによって、入居者の利便が向上するとともに、長寿命化改善によるストックの有効活用及びライフサイクルコストの縮減が図られるものである。</p> <p>・「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿った対応をしていることから「b」評価、「事業計画の妥当性」については、評価指標の評点の合計が60点以上80点未満となっていることから「b」評価としており、総合評価は「B」とした。</p>						
	(2) その他特記事項						
	特になし						

Ⅱ 継続評価

公共事業継続評価 事業別評価地区数

【農林水産部】

事業の種類	事業名	担当課	総合評価区分				
			AA	A	B	C	合計
農業農村整備事業	1 かんがい排水事業	農村建設課		2			2
	2 経営体育成基盤整備事業	〃	28	30			58
	3 畑地帯総合整備事業	〃		1			1
	4 中山間地域総合整備事業(生産基盤)	〃		1			1
	5 中山間地域総合整備事業(生活、一般、広域)	〃	2				2
	6 農道整備事業	〃		2			2
	7 農村災害対策事業	〃		1			1
	8 農村地域防災減災事業	〃	2	8			10
	小 計		32	45			77
治山事業	9 復旧治山事業	森林保全課	1	10			11
	10 緊急予防治山事業	〃	2	5			7
	11 地すべり防止事業	〃		1			1
	12 防災林造成事業	〃		1			1
	13 予防治山事業	〃	1	7			8
	14 県単治山事業	〃		1			1
	小 計		4	25			29
林道事業	15 林道整備事業	森林保全課	2	18		3	23
	小 計		2	18		3	23
水産基盤整備事業	16 漁港整備事業	漁港漁村課	1	15			16
	17 漁場整備事業	〃	3				3
	小 計		4	15			19
合 計			42	103		3	148

【県土整備部】

事業の種類	事業名	担当課	総合評価区分				
			AA	A	B	C	合計
道路事業	18 地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型)	道路建設課	1	4			5
	19 地域連携道路整備事業(地域密着型)	〃	3	19			22
	20 道路環境改善事業(交通安全施設整備)	道路環境課		10			10
	21 道路環境改善事業(無電柱化推進)	〃	5	1			6
	22 道路環境改善事業(防雪・凍雪害防止)	〃		2			2
	小 計		9	36			45
河川事業	23 広域河川改修事業	河川課	2	1			3
	24 総合流域防災事業(河川)	〃	1	1			2
	25 治水施設整備事業	〃	1	1	1		3
	小 計		4	3	1		8
砂防事業	26 通常砂防事業	砂防災害課	6	20			26
	27 火山砂防事業	〃		1			1
	28 県単砂防事業	〃		1			1
	29 総合流域防災事業(地すべり)	〃		1			1
	30 急傾斜地崩壊対策事業	〃	3	4			7
	小 計		9	27			36
都市計画事業	31 都市計画道路整備事業	都市計画課		1			1
	小 計			1			1
公営住宅建設事業	32 公営住宅建設事業(公営住宅)	建築住宅課			2		2
	小 計				2		2
	合 計		22	67	3		92

継続評価 合計	64	170	3	3	240
---------	----	-----	---	---	-----

継続評価

公共事業評価 継続評価調書(箇所一覧)

農林水産部農村建設課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価	
かんがい排水事業	十二丁目堰	花巻市	R7	R12	頭首工 1式 導水管路工 650m	1,367,000	30,000	2.2%	a	21.00	7.75	10.00	14.00	12.50	65.25	b	A	1.45
	下前	西和賀町	R1	R8	用水路 1,741m	282,600	268,438	95.0%	a	13.50	11.00	7.00	13.50	18.75	63.75	b	A	1.08
経営体育成基盤整備事業	北下幅中	奥州市	R2	R12	区画整理 149.7ha 暗渠排水 120.0ha	4,907,000	915,000	18.6%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.47
	真城西	奥州市	R2	R11	区画整理 156.5ha 暗渠排水 142.6ha	4,764,000	617,100	13.0%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.11
	小山中央南	奥州市	H30	R10	区画整理 147.7ha 暗渠排水 135.1ha	4,522,000	3,048,952	67.4%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.46
	鴨沢	奥州市	R2	R12	区画整理 90.6ha 暗渠排水 84.4ha	4,069,000	456,000	11.2%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.34
	赤生津	奥州市	R5	R14	区画整理 93.1ha	2,809,000	96,554	3.4%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.46
	増沢西部	奥州市	H30	R10	区画整理 62.4ha 暗渠排水 62.4ha	2,669,000	823,800	30.9%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.35
	四ツ屋	奥州市	R2	R12	区画整理 68.1ha 暗渠排水 46.4ha	2,440,000	885,000	36.3%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.13
	水押	北上市	R4	R13	区画整理 50.4ha 暗渠排水 50.4ha	2,420,000	340,770	14.1%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.17
	原・蟹沢	金ヶ崎町	R2	R9	区画整理 66.5ha 暗渠排水 59.4ha	2,141,000	914,823	42.7%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.27
	玉里中堰	奥州市	R2	R11	区画整理 48.3ha 暗渠排水 48.0ha	2,111,000	485,000	23.0%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.33
	北下幅北	奥州市	R2	R9	区画整理 48.8ha 暗渠排水 41.4ha	1,830,000	645,000	35.2%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.39
	姉体秋成	奥州市	R1	R11	区画整理 55.1ha 暗渠排水 26.8ha	1,686,000	1,187,587	70.4%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.11
	上西風	奥州市	R3	R9	区画整理 26.1ha 暗渠排水 26.1ha	1,115,000	112,000	10.0%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.22
	大森・鳥の海上	金ヶ崎町	R1	R8	区画整理 35.5ha 暗渠排水 32.7ha	1,088,000	1,011,850	93.0%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.31
	東田西部	奥州市	R3	R8	区画整理 28.0ha 暗渠排水 25.2ha	1,093,000	528,000	48.3%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.14
	五位塚	奥州市	R4	R9	区画整理 22.6ha 暗渠排水 19.2ha	1,101,000	104,500	9.5%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.15
		柴沼	花巻市	R3	R12	区画整理 45.7ha 暗渠排水 34.6ha 用排水施設整備 14.0ha	2,181,000	651,968	29.9%	a	25.00	11.00	16.66	12.00	18.75	83.41	a	AA

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果										特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②／① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価	(参考) B/C	
										必要性(25)	重要性(15)	緊急性(20)	効率性(20)	熟度(20)	計(100)	評価結果			
経営体育成基盤整備事業	小山西	奥州市	H30	R10	区画整理 168.0ha 暗渠排水 159.1ha	4,984,000	3,037,038	60.9%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	16.25	82.91	a	AA	1.64	
	小山東	奥州市	R1	R11	区画整理 133.9ha 暗渠排水 110.0ha	4,616,000	1,506,780	32.6%	a	25.00	13.00	16.66	9.50	18.75	82.91	a	AA	1.08	
	北下幅南	奥州市	R2	R12	区画整理 113.0ha 暗渠排水 95.9ha	4,001,000	967,000	24.2%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	16.25	82.91	a	AA	1.43	
	太田	花巻市	R3	R12	区画整理 228.7ha 暗渠排水 165.4ha	4,669,000	1,200,693	25.7%	a	25.00	11.00	9.16	18.00	18.75	81.91	a	AA	1.17	
	後藤川	八幡平市	H30	R9	区画整理 103.1ha 暗渠排水 102.3ha	2,900,000	2,256,800	77.8%	a	21.25	13.00	16.66	12.00	18.75	81.66	a	AA	1.41	
	大興寺1期	花巻市	R6	R15	区画整理 86.0ha 暗渠排水 68.7ha	3,062,000	58,500	1.9%	a	25.00	9.00	16.66	12.00	18.75	81.41	a	AA	1.14	
	砂子	花巻市	R2	R11	区画整理 65.5ha 暗渠排水 65.3ha	2,929,000	834,611	28.5%	a	25.00	9.00	16.66	12.00	18.75	81.41	a	AA	1.17	
	矢次	矢巾町	R2	R9	区画整理 30.5ha 暗渠排水 26.0ha	1,226,000	890,830	72.7%	a	25.00	9.00	16.66	12.00	18.75	81.41	a	AA	1.24	
	鍋割	花巻市	R4	R9	区画整理 14.0ha 暗渠排水 13.9ha	503,000	227,200	45.2%	a	25.00	9.00	16.66	12.00	18.75	81.41	a	AA	1.50	
	曲田	一関市	H30	R8	区画整理 21.7ha 暗渠排水 17.0ha	1,242,000	1,176,564	94.7%	a	17.50	13.00	20.00	12.00	18.75	81.25	a	AA	1.64	
	大瀬川1期	花巻市	R7	R19	区画整理 70.2ha	3,045,000	2,000	0.1%	a	25.00	7.75	16.66	12.00	18.75	80.16	a	AA	1.17	
	広宮沢	矢巾町	R4	R9	区画整理 29.8ha 暗渠排水 24.9ha	1,238,000	430,190	34.7%	a	25.00	7.00	16.66	12.00	18.75	79.41	b	A	1.25	
	鳥海	一戸町	H24	R8	区画整理 92.8ha 暗渠排水 88.0ha	3,089,000	3,029,505	98.1%	a	17.50	11.00	20.00	12.00	18.75	79.25	b	A	1.43	
	下小山田	花巻市	R5	R14	区画整理 101.0ha 暗渠排水 99.6ha	3,886,000	173,677	4.5%	a	25.00	9.00	16.66	12.00	16.25	78.91	b	A	1.35	
	角川原	奥州市	H27	R10	区画整理 41.2ha 暗渠排水 41.2ha	1,914,000	1,813,022	94.7%	a	21.25	13.00	17.50	12.00	15.00	78.75	b	A	1.10	
	高野・似田貝	遠野市	R4	R13	区画整理 52.4ha	1,926,000	568,918	29.5%	a	25.00	13.00	10.00	12.00	18.75	78.75	b	A	1.35	
	西黒沢	一関市	H29	R10	区画整理 69.2ha 暗渠排水 60.1ha	2,539,000	1,683,950	66.3%	a	17.50	13.00	16.66	12.00	18.75	77.91	b	A	1.34	
	下大桑	一関市	H30	R9	区画整理 41.8ha 暗渠排水 38.2ha	1,666,000	1,182,551	71.0%	a	17.50	13.00	16.66	12.00	18.75	77.91	b	A	1.44	
	厳美・滝原ひがし	一関市	R1	R8	区画整理 25.6ha 暗渠排水 22.4ha	692,000	603,413	87.2%	a	17.50	13.00	16.66	12.00	18.75	77.91	b	A	1.71	
	赤坂田	八幡平市	R6	R11	区画整理 21.5ha 暗渠排水 4.5ha	986,000	14,803	1.5%	a	21.25	15.00	10.00	12.00	18.75	77.00	b	A	1.15	
	戸沢	八幡平市	R4	R9	区画整理 11.5ha 暗渠排水 10.1ha	606,000	274,199	45.2%	a	21.25	15.00	10.00	12.00	18.75	77.00	b	A	1.23	
	金取	遠野市	R3	R9	区画整理 19.3ha 暗渠排水 19.8ha	936,000	551,240	58.9%	a	25.00	11.00	10.00	12.00	18.75	76.75	b	A	1.11	

農林水産部農村建設課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果										特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②／① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価								総合評価	
										必要性(25)	重要性(15)	緊急性(20)	効率性(20)	熟度(20)	計(100)	評価結果			
経営体育成基盤整備事業	福田	二戸市	R1	R8	区画整理 40.0ha 暗渠排水 39.9ha	1,659,000	1,384,573	83.5%	a	21.25	11.00	13.33	12.00	18.75	76.33	b	A	1.45	
	畑の沢	一関市	R5	R10	区画整理 7.3ha 暗渠排水 6.5ha	400,000	36,000	9.0%	a	17.50	7.00	20.00	12.00	18.75	75.25	b	A	1.11	
	石田南・南下幅南部1期	奥州市	R7	R21	区画整理 100.6ha 暗渠排水 95.9ha	3,046,000	2,000	0.1%	a	21.25	13.00	10.00	12.00	18.75	75.00	b	A	1.35	
	平良木	花巻市	R1	R9	区画整理 66.6ha 暗渠排水 61.8ha	3,559,000	3,446,530	96.8%	a	25.00	9.00	10.00	12.00	18.75	74.75	b	A	1.15	
	石鳩岡	花巻市	R5	R10	区画整理 28.5ha 暗渠排水 21.3ha	1,302,000	97,477	7.5%	a	25.00	9.00	10.00	12.00	18.75	74.75	b	A	1.13	
	星山・犬吠森	紫波町	H26	R8	区画整理 114.3ha 暗渠排水 112.5ha	3,974,000	3,671,450	92.4%	a	21.25	9.00	13.33	18.00	12.50	74.08	b	A	1.18	
	川舟	西和賀町	R3	R12	区画整理 105.4ha 暗渠排水 105.0ha	3,952,000	616,706	15.6%	a	17.50	9.00	16.66	12.00	18.75	73.91	b	A	1.21	
	山内	二戸市	R1	R10	区画整理 24.5ha 暗渠排水 19.7ha	1,226,000	865,762	70.6%	a	21.25	11.00	10.00	12.00	18.75	73.00	b	A	1.26	
	増沢	一関市	R6	R11	区画整理 23.3ha	1,168,000	30,272	2.6%	a	17.50	7.00	16.66	12.00	18.75	71.91	b	A	1.24	
	上奥玉	一関市	R1	R10	区画整理 49.2ha 暗渠排水 48.3ha	2,254,000	931,544	41.3%	a	17.50	13.00	10.00	12.00	18.75	71.25	b	A	1.16	
	川台	一関市	R1	R10	区画整理 40.4ha 暗渠排水 37.4ha	1,899,000	1,067,626	56.2%	a	17.50	13.00	10.00	12.00	18.75	71.25	b	A	1.18	
	笹谷	一関市	H29	R8	区画整理 17.4ha 暗渠排水 17.4ha	1,026,000	974,320	95.0%	a	17.50	13.00	10.00	12.00	18.75	71.25	b	A	1.52	
	北方	一関市	R4	R13	区画整理 69.7ha 暗渠排水 68.7ha	2,396,000	126,284	5.3%	a	17.50	7.00	16.66	12.00	16.25	69.41	b	A	1.25	
	新山南	一関市	R3	R12	区画整理 72.4ha 暗渠排水 19.1ha	3,748,000	750,300	20.0%	a	17.50	11.00	10.00	12.00	18.75	69.25	b	A	1.13	
	富沢	一関市	R6	R15	区画整理 88.5ha 暗渠排水 58.4ha	4,133,000	33,830	0.8%	a	17.50	7.00	13.33	12.00	18.75	68.58	b	A	1.18	
	綾織新里	遠野市	R7	R14	区画整理 44.6ha 暗渠排水 10.0ha	1,548,000	2,000	0.1%	a	21.25	5.75	10.00	12.00	18.75	67.75	b	A	1.28	
	小梨1期	一関市	R7	R21	区画整理 58.7a 暗渠排水 54.1ha	2,723,000	2,000	0.1%	a	17.50	7.00	10.00	12.00	18.75	65.25	b	A	1.11	
	興田1期	一関市	R7	R19	区画整理 23.5a 暗渠排水 21.2ha	1,409,000	2,000	0.1%	a	17.50	7.00	10.00	12.00	18.75	65.25	b	A	1.23	
	駒木	一戸町	R7	R12	区画整理 10.9ha 暗渠排水 5.4ha	442,000	1,000	0.2%	a	13.75	9.00	10.00	12.00	18.75	63.50	b	A	1.25	
畑地帯総合整備事業	穴牛・村松・谷地	二戸市	H28	R8	畑地かんがい施設 48.7ha 農道 2.3km	1,261,000	1,202,240	95.3%	a	21.00	7.00	10.00	12.00	15.00	65.00	b	A	1.72	
中山間地域総合整備事業 (生産基盤)	霞沢	一関市	H26	R10	区画整理 37.2ha 用排水路 34.5ha	2,003,000	1,786,909	89.2%	a	20.00	7.00	7.50	12.00	17.50	64.00	b	A	1.13	

農林水産部農村建設課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項	
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②／① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価		(参考) B/C
										必要性(20)	重要性(20)	緊急性(20)	効率性(20)	熟度(20)	計(100)	評価結果			
中山間地域総合整備事業 (生活、一般、広域)	愛宕	奥州市	H26	R10	用排水 465.7ha 暗渠排水 111.8ha 集落道 1,850m	3,875,000	3,348,322	86.4%	a	10.00	19.00	18.00	20.00	16.25	83.25	a	AA	1.41	
	江刈	葛巻町	H22	R8	農業用排水路 3,321m 農道 3,796m 集落排水路 929m 防火水槽 7箇所 交流施設 1箇所	1,373,000	1,324,246	96.4%	a	16.00	18.00	10.00	20.00	18.75	82.75	a	AA	2.23	

農林水産部農村建設課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果										特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②／① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価								総合評価	
										必要性(20)	重要性(20)	緊急性(20)	効率性(20)	熟度(20)	計(100)	評価結果			
農道整備事業	上新田一ノ沢	一関市	H27	R9	農道 2,983m	658,000	540,749	82.2%	a	12.66	16.00	18.00	16.00	12.50	75.16	b	A	1.39	
	上野2期	一戸町	H25	R8	農道 2,902m	1,148,000	602,013	52.4%	a	16.00	17.00	15.00	6.50	11.25	65.75	b	A	1.02	

農林水産部農村建設課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項	
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②／① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価		(参考) B/C
										必要性(20)	重要性(20)	緊急性(30)	効率性(20)	熟度(10)	計(100)	評価結果			
農村災害対策整備事業	岩手山麓	盛岡市・滝沢市	H26	R9	用水路 15,138m	4,938,000	3,031,925	61.4%	a	4.50	10.00	30.00	20.00	8.75	73.25	b	A	1.50	
農村地域防災減災事業	後藤横川目	北上市	R1	R9	用水路 7,513m	1,735,400	1,597,024	92.0%	a	14.00	20.00	25.00	20.00	8.75	87.75	a	AA	1.15	
	北大堰	奥州市	H30	R8	用排水路 1,769m	531,000	281,850	53.1%	a	8.50	20.00	25.00	20.00	7.50	81.00	a	AA	2.03	
	田沢ため池	花巻市	R5	R9	ため池改修 1式	1,019,000	181,301	17.8%	a	9.50	20.00	20.00	20.00	8.75	78.25	b	A	2.22	
	大堤	矢巾町	R7	R9	ため池改修 1式	301,000	20,000	6.6%	a	13.50	20.00	15.00	20.00	8.75	77.25	b	A	1.47	
	北照井堰	一関市、平泉町	H27	R14	用水路 9,416m	2,366,100	1,237,389	52.3%	a	6.50	10.00	30.00	20.00	5.00	71.50	b	A	1.26	
	白銀沢堤	奥州市	R4	R8	ため池改修 1式	568,000	498,000	87.7%	a	7.00	13.33	20.00	20.00	8.75	69.08	b	A	1.56	
	大原堰	奥州市	R1	R8	用排水路 2,350m	369,400	340,664	92.2%	a	4.50	0.00	30.00	20.00	8.75	63.25	b	A	1.11	
	油井名沢	一関市	R3	R10	ため池改修 1式	382,000	154,263	40.4%	a	4.50	20.00	20.00	10.00	8.75	63.25	b	A	1.05	
	樋茂井	奥州市	H29	R8	用水路 4,990m	664,500	633,485	95.3%	a	4.50	10.00	20.00	20.00	7.50	62.00	b	A	1.35	
	猿ヶ石北部幹線	奥州市	H27	R9	用水路 5,901m	597,100	540,190	90.5%	a	4.50	3.33	25.00	20.00	7.50	60.33	b	A	1.20	

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果										特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②／① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価	(参考) B/C	
										必要性(20)	重要性(10)	緊急性(40)	効率性(30)	熟度(-)	計(100)	評価結果			
復旧治山事業	生出町	久慈市	R7	R11	谷止工3基、山腹工1式	161,000	5,000	3.1%	a	14	3	36	30	-	83	a	AA	6.05	
	志戸前川	雫石町	R1	R9	谷止工4基、溪畔林整備1式	987,000	525,683	53.3%	a	18	10	32	15	-	75	b	A	9.97	
	杉沢	八幡平市	R2	R9	床固工23基、流路工1,386m	854,700	326,299	38.2%	a	12	8	30	25	-	75	b	A	1.49	
	川貫	久慈市	R7	R10	谷止工2基	90,500	11,236	12.4%	a	12	3	26	30	-	71	b	A	8.32	
	繫	葛巻町	R7	R9	谷止工5基	213,000	68,201	32.0%	a	10	3	36	20	-	69	b	A	1.52	
	田岡	一戸町	R7	R9	谷止工3基	90,000	38,000	42.2%	a	11	5	28	25	-	69	b	A	4.00	
	緑区(2)	普代村	R7	R10	谷止工2基、山腹工1式	90,000	11,000	12.2%	a	8	5	36	20	-	69	b	A	2.77	
	鈴久名	宮古市	R5	R12	山腹工1式	993,000	179,526	18.1%	a	14	5	32	15	-	66	b	A	1.30	
	上長内	久慈市	R6	R8	谷止工2基	80,000	47,396	59.2%	a	7	3	34	20	-	64	b	A	2.75	
	坂本沢	大船渡市	R2	R8	山腹工2.38ha	697,638	519,962	74.5%	a	14	5	28	15	-	62	b	A	1.86	
	小谷地	野田村	R7	R10	山腹工1式	200,000	36,000	18.0%	a	5	5	32	20	-	62	b	A	1.54	
緊急予防治山事業	安孫	葛巻町	R6	R10	谷止工2基	50,000	26,135	52.3%	a	16	3	34	30	-	83	a	AA	11.58	
	滝の里	陸前高田市	R6	R8	谷止工3基	134,000	77,334	57.7%	a	18	5	28	30	-	81	a	AA	15.75	
	小川	釜石市	R7	R8	谷止工1基	40,000	0	0.0%	a	10	5	34	30	-	79	b	A	8.18	
	石立	岩泉町	R7	R9	谷止工2基	68,000	0	0.0%	a	9	3	36	30	-	78	b	A	7.97	
	新兵ヱ沢	二戸市	R7	R8	谷止工1基	41,000	6,000	14.6%	a	14	0	26	30	-	70	b	A	8.65	
	大明神	葛巻町	R2	R8	山腹工1式、落石予防工(固定工)1式	365,000	310,910	85.2%	a	12	0	30	20	-	62	b	A	2.40	
	晴間沢	九戸村	R7	R8	谷止工1基、既設堰堤工補修1基	53,000	32,001	60.4%	a	12	0	24	25	-	61	b	A	5.26	
地すべり防止事業	槻木平	一関市	R4	R8	地すべり防止工1式	450,000	368,321	81.8%	a	18	3	26	25	-	72	b	A	3.46	
防災林造成事業	刈屋	宮古市	R7	R10	谷止工3基、森林整備30ha	220,000	84,801	38.5%	a	10	5	40	20	-	75	b	A	3.08	

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果										特記事項	
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②／① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価								総合評価		(参考) B/C
										必要性(20)	重要性(10)	緊急性(40)	効率性(30)	熟度(-)	計(100)	評価結果				
予防治山事業	小沢	宮古市	R7	R9	谷止工1基	41,000	0	0.0%	a	12	3	38	30	-	83	a	AA	10.35		
	水上	岩泉町	R6	R9	谷止工2基	65,000	41,178	63.4%	a	12	5	30	30	-	77	b	A	5.64		
	渋梨	大槌町	R7	R8	谷止工1基	50,000	0	0.0%	a	12	3	28	30	-	73	b	A	9.54		
	中の浜	宮古市	R6	R8	谷止工2基	68,000	25,500	37.5%	a	7	5	30	25	-	67	b	A	4.81		
	和野	宮古市	R6	R8	山腹工1式	28,000	5,500	19.6%	a	5	5	32	25	-	67	b	A	3.10		
	蒲道沢	奥州市	R6	R8	谷止工1基	45,000	6,000	13.3%	a	8	3	24	30	-	65	b	A	9.03		
	下平	一戸町	R7	R8	谷止工1基	36,000	5,000	13.9%	a	6	5	26	25	-	62	b	A	3.05		
	上日当	久慈市	R6	R8	谷止工1基	60,000	8,000	13.3%	a	7	3	26	25	-	61	b	A	4.05		
県単治山事業 (崩壊地復旧)	城内	野田村	R7	R8	山腹工1式	28,000	6,000	21.4%	a	12	5	24	30	-	71	b	A	5.85		

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果										特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②／① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価								総合評価	
										必要性(30)	重要性(20)	緊急性(10)	効率性(30)	熟度(10)	計(100)	評価結果			
林道整備事業	松橋	岩泉町	R2	R10	林道改築 幅員W=4.0m 延長L=3,500m	600,000	453,288	75.5%	a	21	15	8	30	10	84	a	AA	2.42	
	小水内	遠野市	R3	R12	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=10,400m	1,300,000	219,371	16.9%	a	24	19	10	20	10	83	a	AA	1.34	
	黒滝	奥州市	R1	R8	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=3,728m	300,000	176,202	58.7%	a	17	14	10	30	5	76	b	A	1.61	
	甫嶺	大船渡市	H25	R9	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=5,600m	900,000	398,158	44.2%	a	21	19	10	15	10	75	b	A	1.21	
	翁沢	西和賀町	H19	R8	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=8,105m	1,048,000	892,667	85.2%	a	25	19	10	15	5	74	b	A	1.29	
	漆山	花巻市	H30	R9	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=6,670m	980,000	398,602	40.7%	a	23	14	10	20	5	72	b	A	1.37	
	高倉沢	宮古市	R5	R14	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=5,500m	1,370,000	82,989	6.1%	a	23	9	3	30	5	70	b	A	1.84	
	赤沢	一関市	H30	R11	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=6,300m	920,000	760,164	82.6%	a	20	14	10	20	5	69	b	A	1.03	
	牛伏高德	宮古市	H22	R16	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=7,400m	1,500,000	286,827	19.1%	a	23	14	10	15	5	67	b	A	1.27	
	平波沢	田野畑村	H22	R11	林道開設 幅員W=5.0m 延長L=5,200m	1,300,000	966,868	74.4%	a	25	17	10	10	5	67	b	A	1.15	
	身沢	久慈市	R7	R13	林道改良 幅員W=4.0m 延長L=2,871m	230,000	28,000	12.2%	a	23	5	5	30	3	66	b	A	2.05	
	ナイヨウ沢	岩泉町	R2	R11	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=1,520m	290,000	14,358	5.0%	a	23	10	8	20	3	64	b	A	1.31	
	渋梨一ノ渡	大槌町	H20	R9	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=8,015m	1,476,000	1,155,102	78.3%	a	22	18	8	10	5	63	b	A	1.16	
	鈴峠2号	葛巻町	H20	R8	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=10,790m	855,000	586,983	68.7%	a	21	14	8	15	5	63	b	A	1.23	
	花見舟打	二戸市	H26	R10	林道開設 幅員W=3.5m 延長L=4,573m	600,000	423,685	70.6%	a	12	18	8	15	10	63	b	A	1.24	
	安孫・平糠	葛巻町、一戸町	H20	R9	林道開設 幅員W=5.0m～7.0m 延長L=5,674m	2,932,654	2,375,911	81.0%	a	26	16	10	5	5	62	b	A	1.04	

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果										特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②／① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価								総合評価	
										必要性(30)	重要性(20)	緊急性(10)	効率性(30)	熟度(10)	計(100)	評価結果			
林道整備事業	黒崎峠	釜石市	R5	R10	林道改良8箇所 延長L=1,185m	70,000	51,000	72.9%	a	21	8	3	25	5	62	b	A	1.49	
	惣畑向	岩泉町	R2	R9	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=873m	590,000	561,588	95.2%	a	17	11	8	15	10	61	b	A	1.23	
	鷹ノ巣・鰻沢	葛巻町	H22	R14	林道開設 幅員W=5.0m 延長L=11,930m	3,363,146	961,694	28.6%	a	26	14	10	5	5	60	b	A	1.06	
	平根	大船渡市	H22	R9	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=5,605m	1,150,000	1,110,943	96.6%	a	18	17	10	10	5	60	b	A	1.17	
	三田貝	岩泉町	H21	R12	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=4,512m	1,035,000	850,945	82.2%	a	23	15	10	5	5	58	c	C	1.06	
	鎌峯沢	陸前高田市	H22	R10	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=8,507m	1,600,000	1,408,779	88.0%	a	18	12	10	5	10	55	c	C	1.02	
	大松沢	陸前高田市	H21	R11	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=5,787m	1,305,000	920,836	70.6%	a	16	10	8	10	10	54	c	C	1.11	

農林水産部漁港漁村課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②／① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価	(参考) B/C
										必要性(30)	重要性(20)	緊急性(20)	効率性(20)	熟度(10)	計(100)	評価結果		
漁港整備事業	重茂漁港	宮古市重茂	H29	R10	護岸70m、-3m岸壁70m、臨港道路540m、-2m物揚場116m 他	1,300,000	831,674	64.0%	a	19	19	16	20	10	84	a	AA	1.39
	広田漁港	陸前高田市広田	R2	R11	南第2防波堤80m、護岸92.7m、-5m岸壁30m 他	1,410,000	677,813	48.1%	a	13	19	16	20	10	78	b	A	1.28
	田老漁港	宮古市田老	R4	R8	-3m岸壁35.8m、護岸80m	133,000	109,000	82.0%	a	17	20	16	15	10	78	b	A	1.43
	崎浜漁港	大船渡市崎浜	R4	R10	南第2防波堤256m、西防波堤70.8m、東防波堤110.9m 等	1,500,000	271,003	18.1%	a	18	15	13	20	10	76	b	A	1.17
	崎浜漁港	大船渡市崎浜	R6	R8	便所1棟	55,000	25,281	46.0%	a	18	15	18	15	10	76	b	A	1.70
	崎浜漁港	大船渡市崎浜	R7	R8	物揚場147.4m、岸壁48.4m	5,000	3,000	60.0%	a	18	15	18	15	10	76	b	A	2.91
	船越漁港	山田町船越	R4	R9	東第1防波堤30m、東防波堤50m、防波堤60m、浮桟橋50m	854,000	457,591	53.6%	a	11	20	9	20	10	70	b	A	1.54
	大船渡漁港	大船渡市大船渡	R4	R8	-7m岸壁135m、浚渫4,340㎡、用地2,100㎡	1,500,000	1,320,237	88.0%	a	9	20	14	16	10	69	b	A	1.16
	大槌漁港	大槌町大槌	R4	R8	用地舗装8,550m ² 、-2.0m物揚場53m、梯子1式、滑り材1式	260,000	78,039	30.0%	a	13	19	8	18	10	68	b	A	1.31

農林水産部漁港漁村課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果										特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②／① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価								総合評価	
										必要性(30)	重要性(20)	緊急性(20)	効率性(20)	熟度(10)	計(100)	評価結果			
漁港整備事業	大浦漁港	山田町大浦	R3	R8	北第1防波堤60m、防災施設1式	415,000	324,034	78.1%	a	14	11	14	18	10	67	b	A	1.23	
	根白漁港	大船渡市根白	R3	R11	東防波堤300.2m、内港第1防波堤75.6m	1,461,000	486,583	33.3%	a	8	18	10	20	10	66	b	A	1.44	
	綾里漁港	大船渡市綾里	R3	R9	南防波堤54.5m、護岸223.5m、船揚場90m 他	1,873,000	632,239	33.8%	a	10	16	11	18	10	65	b	A	1.23	
	両石漁港	釜石市両石	R3	R10	護岸20m、東防波堤125.7m	1,110,000	510,272	46.0%	a	12	14	11	17	10	64	b	A	1.43	
	小白浜漁港	釜石市小白浜	R6	R11	東防波堤50.7m、-4m岸壁55m、用地舗装1,000m2他	607,000	168,195	27.7%	a	15	16	13	9	10	63	b	A	1.11	
	箱崎漁港	釜石市箱崎	R3	R8	北防波堤55m、-3m岸壁30m、船揚場44m	500,000	455,568	91.1%	a	10	12	14	17	10	63	b	A	1.02	
	白浜(鵜)漁港	釜石市白浜(鵜)	H30	R8	第2防波堤L=100m、-3.0m岸壁L=30m	770,000	572,358	74.3%	a	13	12	14	11	10	60	b	A	1.07	

農林水産部漁港漁村課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②／① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価	
										必要性(30)	重要性(20)	緊急性(20)	効率性(20)	熟度(10)	計(100)	評価結果		
漁場整備事業	姉吉・千鷲・石浜漁場	宮古市重茂	R6	R13	藻場造成13.2ha	960,000	102,829	10.7%	a	26	20	18	20	10	94	a	AA	2.41
	摂待・小堀内・小港・沢尻・大磯漁場	宮古市田老	R4	R8	藻場造成22.4ha	1,026,000	454,245	44.3%	a	26	20	16	20	10	92	a	AA	2.92
	吉浜・越喜来漁場	大船渡市大船渡	R5	R13	藻場造成9.5ha	830,000	263,313	31.7%	a	27	20	18	16	10	91	a	AA	1.62

継続評価

公共事業評価 継続評価調書 (箇所一覧)

県土整備部道路建設課

(国：国道、主：主要地方道、一：一般県道)

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果										特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価								総合評価	(参考) B/C
										必要性(30)	重要性(30)	緊急性(15)	効率性(20)	熟度(5)	計(100)	評価結果			
地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)	国 340号	岩泉町 浅内	R4	R10	道路改築 L=1,400m	1,000,000	290,948	29.1%	a	24	30	15	18	5	92	a	AA	1.7 (2.8)	
	国 281号	久慈市 案内～戸呂町口	R2	R9	道路改築 L=1,000m	3,416,000	1,125,330	32.9%	a	15	30	10	18	5	78	b	A	1.6 (4.5)★	
	国 282号	八幡平市 佐比内	H24	R8	道路改築 L=760m	3,007,000	2,841,960	94.5%	a	22	30	10	7	5	74	b	A	0.6 (0.9)	
	国 395号	久慈市、洋野町 阿子木	R3	R10	道路改築 L=2,290m	1,100,000	647,717	58.9%	a	17	30	0	20	5	72	b	A	5.3 (9.3)	
	国 455号	盛岡市 軽町	R7	R14	道路改築 L=910m	1,000,000	40,000	4.0%	a	17	30	5	18	2	72	b	A	1.9 (2.7)	

★…当該工区は補助事業のため、国の指針等により算出。

県土整備部道路建設課

(国：国道、主：主要地方道、一：一般県道)

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果										特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②／① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価	(参考) B/C	
										必要性(30)	重要性(20)	緊急性(15)	効率性(20)	熟度(15)	計(100)	評価結果			
地域連携道路整備事業 (地域密着型)	主 二戸五日市線	二戸市 柿ノ木平	R3	R12	道路改築 L=1,880m	2,000,000	435,548	21.8%	a	17	20	15	15	15	82	a	AA	1.4 (2.4)	
	主 花巻北上線	北上市 黒岩	H21	R11	道路改築 L=670m	1,000,000	646,254	64.6%	a	17	19	12	18	15	81	a	AA	2.4 (3.8)	
	主 大船渡綾里三陸線	大船渡市 中曽根	R2	R10	道路改築 L=1,400m	700,000	325,000	46.4%	a	18	18	10	20	14	80	a	AA	4.6 (7.6)	
	主 軽米種市線	洋野町 城内	R6	R11	道路改築 L=540m	400,000	54,877	13.7%	a	18	19	12	18	12	79	b	A	2.0 (3.6)	
	主 一関北上線	平泉町 長島	R3	R11	道路改築 L=1,960m	2,000,000	514,352	25.7%	a	19	19	7	20	13	78	b	A	6.3 (10.1)	
	主 二戸九戸線	二戸市 白鳥	R7	R16	道路改築 L=1,570m	2,150,000	58,423	2.7%	a	21	19	7	18	12	77	b	A	2.1 (3.8)	
	主 一関北上線	奥州市 大久保～内堀	R4	R13	道路改築 L=1,800m	1,800,000	90,789	5.0%	a	13	19	12	20	12	76	b	A	10.8 (17.4)	
	一 二戸軽米線	軽米町 新町	R2	R9	道路改築(突角尖除、待避所設置) L=1,300m	1,300,000	856,078	65.9%	a	21	18	7	15	15	76	b	A	1.3 (2.3)	
	一 遠野住田線	遠野市 下組町～六日町	R3	R9	道路改築 L=940m	700,000	303,345	43.3%	a	19	18	7	20	12	76	b	A	6.8 (11.0)	
	主 花巻大曲線	西和賀町 笹峠	H19	R12	道路改築 L=800m	700,000	6,764	1.0%	a	20	13	13	18	12	76	b	A	1.9 (3.1)	
	一 玉里梁川線	奥州市 梁川	R1	R12	道路改築 L=1,500m	1,500,000	319,874	21.3%	a	21	19	2	18	15	75	b	A	1.6 (2.6)	
	主 盛岡横手線	西和賀町 泉沢	R2	R8	道路改築 L=786m	750,000	349,672	46.6%	a	18	20	3	18	15	74	b	A	1.9 (3.1)	
	主 盛岡環状線	滝沢市 滝向	R2	R11	道路改築 L=950m	1,530,000	527,222	34.5%	a	15	20	2	20	15	72	b	A	3.0 (4.2)	
	主 本吉室根線	一関市 津谷川	R2	R8	道路改築 L=200m	250,000	143,129	57.3%	a	17	17	2	20	15	71	b	A	7.2 (11.7)	
	主 宮古岩泉線	岩泉町 猿沢	R7	R14	道路改築 L=1,160m	1,250,000	53,000	4.2%	a	18	18	15	7	12	70	b	A	0.7 (1.2)	
	一 世田米矢作線	陸前高田市 生出	R7	R14	道路改築(突角尖除、待避所設置) L=640m	260,000	20,000	7.7%	a	14	17	12	15	12	70	b	A	1.0 (1.6)	
	一 大川松草線	岩泉町 本町～大広	H22	R8	道路改築 L=1,300m	1,400,000	1,187,460	84.8%	a	18	18	10	7	15	68	b	A	0.6 (1.0)	

県土整備部道路建設課

(国：国道、主：主要地方道、一：一般県道)

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②／① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	(参考) B/C	
										必要性(30)	重要性(20)	緊急性(15)	効率性(20)	熟度(15)	計(100)			
地域連携道路整備事業 (地域密着型)	一 佐比内彦部線	紫波町横町	R7	R13	道路改築 L=600m	600,000	26,000	4.3%	a	12	17	5	20	12	66	b	A	6.9 (9.7)
	一 普代小屋瀬線	岩泉町松林～坂本	H25	R9	道路改築(突角尖除、待避所設置) L=1,830m	460,000	251,881	54.8%	a	17	17	10	7	15	66	b	A	0.8 (1.6)
	一 下宮守田瀬線	花巻市田瀬	R6	R13	道路改良(突角剪除) L=360m	145,000	35,282	24.3%	a	13	14	12	15	12	66	b	A	1.2 (2.0)
	一 釜石住田線	住田町中埜	R3	R10	道路改築 L=900m	1,550,000	120,252	7.8%	a	15	18	12	7	13	65	b	A	0.6 (1.1)
	一 金田一温泉線	二戸市金田一	R4	R10	道路改築 L=500m	245,000	92,890	37.9%	a	14	17	12	7	13	63	b	A	0.7 (1.3)

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み			継続評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②／① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価	(参考) B/C	
										必要性(35)	重要性(10)	緊急性(20)	効率性(20)	熟度(15)	計(100)	評価結果			
道路環境改善事業 (交通安全施設整備)	一 渋民田頭線	八幡平市 五百森	R5	R10	歩道整備 L=846m	315,000	149,981	47.6%	a	25	5	15	20	12	77	b	A	2.0	
	国 340号	九戸村 長興寺	R3	R8	歩道設置 L=460m	360,000	346,126	96.1%	a	25	10	15	10	15	75	b	A	1.0	
	一 若柳花泉線	一関市 涌津	R3	R9	歩道設置 L=570m	423,000	155,344	36.7%	a	25	10	15	10	12	72	b	A	1.0	
	国 281号	久慈市 生出町	R6	R12	歩道設置 L=200m	70,000	18,000	25.7%	a	30	5	15	10	12	72	b	A	1.0	
	主 盛岡和賀線	花巻市 北湯口	R3	R11	歩道設置 L=1,404m	530,000	248,647	46.9%	a	20	0	18	20	12	70	b	A	2.0	
	主 花巻北上線	北上市 黒岩	R3	R9	歩道設置 L=910m	250,000	61,268	24.5%	a	20	0	15	20	12	67	b	A	2.5	
	主 北上東和線	北上市 二子	R7	R11	歩道整備 L=160m	119,000	11,100	9.3%	a	25	5	15	10	12	67	b	A	1.0	
	一 胆沢金ヶ崎線	金ヶ崎町 関田前	R4	R9	歩道整備 L=1,050m	380,000	306,710	80.7%	a	18	10	18	20	0	66	b	A	2.0	
	主 上米内湯沢線	盛岡市 浅岸	R4	R8	歩道整備 L=280m	208,000	89,000	42.8%	a	18	10	15	10	12	65	b	A	1.0	
	一 清水野村崎野線	北上市 村崎野	R3	R8	交差点改良 L=65m	34,000	16,000	47.1%	a	30	5	15	10	3	63	b	A	1.2	

県土整備部道路環境課
 (国：国道、主：主要地方道、一：一般県道)

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項	
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②／① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価		(参考) B/C
										必要性(40)	重要性(10)	緊急性(10)	効率性(20)	熟度(20)	計(100)	評価結果			
道路環境改善事業 (無電柱化推進)	一 矢巾停車場線	矢巾町 又兵衛新田	R3	R12	無電柱化 L=2,270m	2,000,000	946,177	47.3%	a	40	10	10	10	20	90	a	AA	1.9	
	一 遠野住田線	遠野市 中央通	R6	R14	無電柱化 L=1,000m	600,000	35,000	5.8%	a	25	10	10	20	20	85	a	AA	2.7	
	国 281号	久慈市 荒町	R5	R12	無電柱化 L=600m	540,000	95,877	17.8%	a	35	10	10	10	20	85	a	AA	1.8	
	一 遠野停車場線	遠野市 新穀町	R6	R14	無電柱化 L=600m	400,000	36,000	9.0%	a	25	10	10	20	20	85	a	AA	2.5	
	一 三日町瀬原線	平泉町 平泉	R4	R13	無電柱化 L=870m	520,000	240,014	46.2%	a	40	10	0	20	10	80	a	AA	5.4	
	一 宮古停車場線	宮古市 栄町	R5	R10	無電柱化 L=150m	230,000	212,000	92.2%	a	25	7	10	10	20	72	b	A	1.7	

県土整備部道路環境課
 (国：国道、主：主要地方道、一：一般県道)

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項	
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価		(参考) B/C
										必要性(30)	重要性(20)	緊急性(10)	効率性(20)	熟度(20)	計(100)	評価結果			
道路環境改善事業 (防雪・凍雪害防止)	主 盛岡横手線	西和賀町 若畑の2	R3	R10	堆雪帯設置 L=1,150m	225,000	82,000	36.4%	a	30	15	0	20	11	76	b	A	2.0 (3.3)	
	一 花巻和賀線	北上市 後藤	H30	R9	堆雪帯設置 L=3,000m	700,000	152,343	21.8%	a	25	10	0	20	13	68	b	A	2.0 (2.9)	

県土整備部河川課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項	
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価		(参考) B/C
										必要性(30)	重要性(5)	緊急性(15)	効率性(40)	熟度(10)	計(100)	評価結果			
広域河川改修事業	北上川(下流)	盛岡市川崎	H27	R25	河川改修L=17,700m	3,107,500	1,200,500	38.6%	a	28	5	13	30	10	86	a	AA	3.3	
	瀬月内川	九戸村	H9	R15	河川改修L=1,790m	1,200,000	392,000	32.7%	a	29	5	2	40	10	86	a	AA	14.3	
	夏川	一関市	H20	R10	河川改修L=5,725m	4,912,300	3,693,000	66.5%	b	28	5	12	40	10	95	a	A	5.8	

県土整備部河川課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価	(参考) B/C
										必要性(30)	重要性(5)	緊急性(15)	効率性(40)	熟度(10)	計(100)	評価結果		
総合流域防災事業(河川)	明内川	野田村	H11	R17	河川改修L=2,610m	3,504,000	2,331,000	66.5%	a	28	5	7	40	10	90	a	AA	14.5
	金流川	一関市	H29	R10	河川改修L=2,020m	1,301,000	1,187,000	91.2%	a	19	5	7	20	10	61	b	A	1.0

県土整備部河川課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項	
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②／① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価		(参考) B/C
										必要性(30)	重要性(5)	緊急性(15)	効率性(40)	熟度(10)	計(100)	評価結果			
治水施設整備事業	人首川	奥州市江刺区次丸	H22	R16	河川改修L=2,800m	580,000	451,853	77.9%	a	20	5	11	40	10	86	a	AA	5.1	
	和賀川	西和賀町	H26	R25	河川改修L=7,700m	2,340,000	939,760	40.2%	a	28	5	1	35	10	79	b	A	4.2	
	久慈川	久慈市大川目	R2	R11	河川改修L=281m	380,000	106,000	27.9%	b	18	5	7	25	5	60	b	B	2.7	

県土整備部砂防災害課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果										特記事項	
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②／① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価								総合評価		(参考) B/C
										必要性(20)	重要性(10)	緊急性(40)	効率性(30)	熟度(－)	計(100)	評価結果				
通常砂防事業	その他水系	山田町 大浦の沢(3)	R4	R9	砂防堰堤2基	644,000	383,000	59.5%	a	20	10	32	25	－	87	a	AA	7.3		
	小本川水系	岩泉町 浅内の沢	R2	R8	既設砂防堰堤のスリット化	500,000	295,000	59.0%	a	18	10	34	25	－	87	a	AA	8.7		
	北上川水系	紫波町 内方の沢(1)	R6	R10	砂防堰堤1基	400,000	69,000	17.3%	a	18	10	32	25	－	85	a	AA	4.8		
	その他水系	大槌町 赤浜の沢-3	R4	R9	砂防堰堤1基	480,000	115,000	24.0%	a	20	10	29	25	－	84	a	AA	8.3		
	北上川水系	花巻市 下中居の沢2	R1	R8	砂防堰堤1基 溪流保全工1式	500,000	217,200	43.4%	a	18	10	29	25	－	82	a	AA	6.4		
	気仙川水系	釜石市 佐須の沢(3)	R6	R10	砂防堰堤1基	376,000	69,000	18.4%	a	18	10	29	25	－	82	a	AA	3.6		
	閉伊川水系	宮古市 北井沢	R6	R12	砂防堰堤1基	550,000	101,000	18.4%	a	18	10	29	20	－	77	b	A	3.0		
	馬淵川水系	一戸町 中屋敷の沢(2)	R5	R9	砂防堰堤1基	420,000	123,200	29.3%	a	20	10	16	30	－	76	b	A	12.8		
	北上川水系	平泉町 日照田の沢	R3	R8	砂防堰堤1基	296,725	229,200	77.2%	a	18	10	22	25	－	75	b	A	3.9		
	北上川水系	遠野市 熊ノ洞沢(4)	R5	R9	砂防堰堤1基	500,000	85,000	17.0%	a	18	10	16	30	－	74	b	A	6.7		
	北上川水系	岩手町 民部田の沢(2)	R4	R9	砂防堰堤1基	430,000	92,000	21.4%	a	20	10	19	25	－	74	b	A	10.2		
	小本川水系	岩泉町 国境の沢8	R5	R9	砂防堰堤1基	270,000	135,000	50.0%	a	14	5	34	20	－	73	b	A	1.0		
	馬淵川水系	二戸市 石切所の沢	H30	R8	砂防堰堤1基	500,000	204,146	40.8%	a	18	10	19	25	－	72	b	A	7.6		
	大槌川水系	大槌町 安渡の沢(3)	R5	R9	砂防堰堤1基	390,000	85,000	21.8%	a	18	10	19	25	－	72	b	A	4.9		
	その他水系	大船渡市 下船渡の沢	R4	R9	砂防堰堤1基	500,000	131,000	26.2%	a	20	10	16	25	－	71	b	A	18.3		
	普代川水系	田野畑村 小バタケ沢	R4	R9	砂防堰堤2基	540,000	149,000	27.6%	a	18	5	31	15	－	69	b	A	2.3		
	小本川水系	岩泉町 穴沢	R4	R9	砂防堰堤1基	500,000	120,000	24.0%	a	18	5	31	15	－	69	b	A	1.2		
	その他水系	陸前高田市 久連坪の沢(2)	R6	R10	砂防堰堤1基 溪流保全工1式	320,000	55,000	17.2%	a	18	10	16	25	－	69	b	A	4.8		

県土整備部砂防災害課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項	
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②／① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価		(参考) B/C
										必要性(20)	重要性(10)	緊急性(40)	効率性(30)	熟度(-)	計(100)	評価結果			
通常砂防事業	馬淵川水系	葛巻町小平沢(2)	R5	R9	砂防堰堤1基	500,000	142,000	28.4%	a	18	5	19	25	-	67	b	A	3.3	
	小本川水系	岩泉町宮本の沢2	R6	R11	砂防堰堤1基 溪流保全工1式	500,000	60,000	12.0%	a	18	5	29	15	-	67	b	A	2.5	
	北上川水系	滝沢市高森の沢	R2	R9	砂防堰堤1基	300,000	280,000	93.3%	a	20	5	16	25	-	66	b	A	36.9	
	北上川水系	八幡平市外水沢	H30	R8	砂防堰堤1基	1,193,000	916,000	76.8%	a	18	5	16	25	-	64	b	A	5.6	
	北上川水系	奥州市地藏壇(1)	R4	R9	砂防堰堤1基	550,000	117,000	21.3%	a	18	10	19	15	-	62	b	A	2.1	
	津谷川水系	一関市上川原の沢	R4	R9	砂防堰堤2基	530,000	155,000	29.2%	a	18	10	14	20	-	62	b	A	4.5	
	北上川水系	八幡平市屋敷沢	R4	R10	砂防堰堤1基	850,000	155,000	18.2%	a	18	10	17	15	-	60	b	A	1.8	
	北上川水系	滝沢市白山の沢	R4	R9	砂防堰堤1基	400,000	108,900	27.2%	a	18	5	17	20	-	60	b	A	4.2	

県土整備部砂防災害課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果								特記事項	
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	(参考) B/C	
										必要性(20)	重要性(10)	緊急性(40)	効率性(30)	熟度(－)	計(100)			評価結果
火山砂防事業	北上川水系	八幡平市スキー場南沢	H29	R8	砂防堰堤1基	708,000	526,700	74.4%	a	18	5	19	25	－	67	b	A	5.5

県土整備部砂防災害課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価	(参考) B/C
										必要性(20)	重要性(10)	緊急性(40)	効率性(30)	熟度(－)	計(100)	評価結果		
県単砂防事業	小本川水系	岩泉町 沢川目の沢(2)	H26	R9	砂防堰堤1基 溪流保全工1式	458,861	304,900	66.4%	a	18	5	29	10	－	62	b	A	1.5

県土整備部砂防災害課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価	(参考) B/C
										必要性(20)	重要性(10)	緊急性(40)	効率性(30)	熟度(－)	計(100)	評価結果		
総合流域防災事業(地すべり)	八幡平市	八幡平	H22	R11	集水井9基抑止杭工2箇所	926,000	674,110	72.8%	a	10	10	35	10	－	65	b	A	1.5

県土整備部砂防災害課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項	
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②／① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価		(参考) B/C
										必要性(20)	重要性(10)	緊急性(40)	効率性(30)	熟度(-)	計(100)	評価結果			
急傾斜地崩壊対策事業	二戸市	大子	R7	R10	植生工A=2,820m2、吹付法枠工 A=103m2	200,000	15,000	7.5%	a	18	10	40	25	-	93	a	AA	4.5	
	釜石市	源太沢・源太沢(3)	R4	R13	法面保護工A=11,780m2 落石防護柵工L=282m	810,000	91,000	11.2%	a	20	10	37	20	-	87	a	AA	11.5	
	釜石市	本郷(2)	R5	R9	簡易吹付法枠工A=3,250m2	200,000	70,000	35.0%	a	10	10	35	30	-	85	a	AA	13.6	
	盛岡市	下米内二丁目	H20	R10	簡易吹付法枠工L=243m	220,000	4,100	1.9%	b	20	10	35	20	-	85	a	A	18.2	
	住田町	赤畑	R5	R10	落石防護柵工L=320m	500,000	95,000	19.0%	a	20	5	29	15	-	69	b	A	2.4	
	一関市	兵沢	R4	R9	法面工A=1,126m2	340,000	115,000	33.8%	a	14	10	30	15	-	69	b	A	2.1	
	宮古市	太田二丁目	R6	R13	法面工1式	730,000	40,000	5.5%	a	10	5	34	15	-	64	b	A	3.0	

県土整備部都市計画課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項	
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価		(参考) B/C
										必要性(20)	重要性(35)	緊急性(10)	効率性(20)	熟度(15)	計(100)	評価結果			
都市計画道路整備事業	上野西法寺線	一戸町高善寺	H29	R11	道路改築 L=580m	3,700,000	2,457,210	66.4%	a	14	26	5	15	15	75	b	A	1.3	

県土整備部建築住宅課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和7年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価	(参考) B/C
										必要性(20)	重要性(20)	緊急性(10)	効率性(30)	熟度(20)	計(100)	評価結果		
公営住宅建設事業 (公営住宅)	盛岡市	緑が丘アパート	R6	R11	個別改善 4棟82戸	1,026,112	68,538	6.7%	b	20	12	10	25	10	77	b	B	1.08
	一関市	銅谷アパート	R4	R8	個別改善 3棟48戸	745,753	462,269	62.0%	b	20	12	10	20	10	72	b	B	0.92

公共事業 継続評価調書(箇所別) 目次

【農林水産部】

事業の種類	事業名	担当課	箇所名	掲載ページ
農業農村整備事業	経営体育成基盤整備事業	農村建設課	小山中央南	140
	経営体育成基盤整備事業	農村建設課	小山西	142
	経営体育成基盤整備事業	農村建設課	小山東	144
	経営体育成基盤整備事業	農村建設課	西黒沢	146
	畑地帯総合整備事業	農村建設課	穴牛・村松・谷地	148
治山事業	復旧治山事業	森林保全課	鈴久名	150
林道事業	林道整備事業	森林保全課	ナイヨウ沢	152
水産基盤整備事業	漁港整備事業	漁港漁村課	重茂	154
	漁港整備事業	漁港漁村課	白浜(鶴)	156

【県土整備部】

事業の種類	事業名	担当課	箇所名	掲載ページ
道路事業	地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型)	道路建設課	佐比内	158
	地域連携道路整備事業(地域密着型)	道路建設課	本町～大広	160
	地域連携道路整備事業(地域密着型)	道路建設課	松林～坂本	162
	道路環境改善事業(無電柱化推進)	道路環境課	平泉	164
河川事業	広域河川改修事業	河川課	瀬月内川	166
砂防事業	急傾斜地崩壊対策事業	砂防災害課	源太沢・源太沢(3)	168

公共事業 継続評価調書(箇所別)

令和 7 年10月 3 日作成

事業名	経営体育成基盤整備事業		補助・単独	担当部課名	農林水産部農村建設課																				
路線名等	—	地区名	おやまちゅうおうみなみ 小山中央南	市町村	奥州市																				
事業概要	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 本地区の水田は、10a程度の小区画不整形で農道も狭小のため、大型機械導入を阻害している。また、水路は用排兼用の土水路であるため、安定的な用水確保ができず維持管理に多大な労力を要しているほか、排水不良をきたし水田の汎用化を阻害している。 これらのことが、農地利用集積の推進を妨げ、担い手の経営規模拡大や地域農業経営の合理化を阻害する要因となっている。</p> <p>○整備によって得られる効果 ほ場の大区画化により大型農業用機械の導入が可能になるとともに、用水路のパイプライン化により用水管理の省力化が図られ、また、排水路の装工及び暗渠排水の整備により水田の汎用化が図られることから、農作業効率が向上し担い手への農地利用集積が加速される。 これにより、担い手の経営規模拡大が進むとともに、地域農業経営の複合化が促進され、地域全体の収益向上が図られる。</p> <p>(2) 事業内容 区画整理 147.7ha</p> <p>(3) 事業計画期間及び総事業費</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業計画期間</th> <th rowspan="2">総事業費 ① [千円]</th> <th colspan="2">令和 7 年度までの進捗見込み</th> </tr> <tr> <th>着手年度</th> <th>完了予定年度</th> <th>② 事業費 [千円]</th> <th>進捗率 ③ = ②/①</th> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>令和10年度</td> <td>4,522,000</td> <td>3,048,952</td> <td>67.4%</td> </tr> </table>					事業計画期間		総事業費 ① [千円]	令和 7 年度までの進捗見込み		着手年度	完了予定年度	② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②/①	平成30年度	令和10年度	4,522,000	3,048,952	67.4%						
	事業計画期間		総事業費 ① [千円]	令和 7 年度までの進捗見込み																					
	着手年度	完了予定年度		② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②/①																				
	平成30年度	令和10年度	4,522,000	3,048,952	67.4%																				
	事業の進捗状況	<p>(1) 整備効果の発現状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 区画整理は、令和 7 年度までに138.7ha（概ね 9 割）の整備を完了する見込み。 区画拡大や道水路の整備により生産条件の向上が図られ、担い手への集積が進んでいる。 集積率 H29(事業実施前)18.0%、R10(目標年度)89.1%、R6時点79.3%（61.3ポイント増） <p>(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨今の物価高騰等により事業費増となっているが、厳しい公共事業予算の現状を踏まえ、コスト縮減や工程の見直し等を行い、残工事や換地業務等を計画的に進め、令和10年度の事業完了に向け事業を推進していく。 																							
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 事業に関する社会経済情勢</p> <p>ア 本県内又は施工地域における状況</p> <p>「いわて農業農村整備の展開方向（2023～2026）」においては、「地域の特性に応じた収益力の高い農業の実現」を重点施策の一つに位置付け、①水田の大区画化と汎用化の推進、②ほ場整備の導入による担い手への農地集積の促進、③特色ある産地形成に向けた高収益作物等の導入促進、④中山間地域等における地域の特性に応じた基盤整備を推進することとしている。</p> <p>(参考) 予算の動向 [百万円]</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>142</td> <td>145</td> <td>392</td> <td>731</td> <td>820</td> <td>436</td> <td>290</td> <td>93</td> <td>3,049</td> </tr> </table>					年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計	事業費	142	145	392	731	820	436	290	93	3,049
	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計															
	事業費	142	145	392	731	820	436	290	93	3,049															
<p>(2) 自然環境等の状況</p> <p>ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県自然環境保全指針による環境保全区分 E 希少野生動植物の生息の有無 有 県レッドデータブックBからDランクの種が生息 埋蔵文化財包蔵地の有無 有 																									

社 会 経 済 情 勢 等 の 状 況	イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費 事業実施に当たっては、広域振興局で開催される奥州市地区希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進めている。 ①動物に対する配慮 対象動物について、工事期間中は隣接に移動し工事完了後に元の場所へ戻す。 ②植物に対する配慮 対象植物について、近傍で同種の植物が自生している場所に移植する。																							
	○自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的に対応していることから「a」とした。																							
	項目評価 (a) . b . c																							
	(3) 事業に関する指標からみた評価 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 10%;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; height: 10px;"></div> </div> </th> <th style="width: 12.5%;">必要性</th> <th style="width: 12.5%;">重要性</th> <th style="width: 12.5%;">緊急性</th> <th style="width: 12.5%;">効率性</th> <th style="width: 12.5%;">熟度</th> <th style="width: 12.5%;">計</th> <th style="width: 25%; text-align: left;"> <参 考> 費用便益比 (B/C) </th> </tr> <tr> <td>配点</td> <td>25</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評点</td> <td>25</td> <td>13</td> <td>16.66</td> <td>12</td> <td>18.75</td> <td>85.41</td> <td>1.46</td> </tr> </table>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; height: 10px;"></div> </div>	必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	<参 考> 費用便益比 (B/C)	配点	25	15	20	20	20	100		評点	25	13	16.66	12	18.75	85.41
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; height: 10px;"></div> </div>	必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	<参 考> 費用便益比 (B/C)																	
配点	25	15	20	20	20	100																		
評点	25	13	16.66	12	18.75	85.41	1.46																	
○事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が80点以上であることから「a」とした。																								
	項目評価 (a) . b . c																							
	○ 関連する開発プロジェクト等の状況 特になし。																							
総 合 評 価	(1) 総合評価 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 40%; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; height: 10px;"></div> </div> 総 合 評 価 </td> <td style="width: 60%; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; height: 10px;"></div> </div> (AA) . A . B . C </td> </tr> </table>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; height: 10px;"></div> </div> 総 合 評 価	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; height: 10px;"></div> </div> (AA) . A . B . C																					
	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; height: 10px;"></div> </div> 総 合 評 価	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; height: 10px;"></div> </div> (AA) . A . B . C																						
	○総合評価に係るコメント ・本地区は、農地が不成形かつ10a程度と狭小で、農道も幅員が狭く、水路も土水路であることから、農作業及び維持管理に多大な労力を来たしており、本事業による水田の大区画化等の農業生産条件向上を契機に、「意欲と能力のある経営体」への農地利用集積、効率的かつ安定的な農業経営の確立を図るものである。 ・「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的に対応をしていることから「a」評価とし、また「事業に関する指標からみた評価」については、評価指標の評点の合計が80点以上となっていることから「a」評価としており、総合評価を「AA」とした。 ・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、事業の継続が妥当であると判断したものである。																							
(2) その他特記事項 特になし。																								

公共事業 継続評価調書(箇所別)

令和 7 年10月 3 日作成

事業名	経営体育成基盤整備事業		補助・単独	担当部課名	農林水産部農村建設課																				
路線名等	—	地区名	おやまにし 小山西	市町村	奥州市																				
事業概要	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 本地区の水田は、10a程度の小区画不整形で農道も狭小のため、大型機械導入を阻害している。また、水路は用排兼用の土水路であるため、安定的な用水確保ができず維持管理に多大な労力を要しているほか、排水不良をきたし水田の汎用化を阻害している。 これらのことが、農地利用集積の推進を妨げ、担い手の経営規模拡大や地域農業経営の合理化を阻害する要因となっている。</p> <p>○整備によって得られる効果 ほ場の大区画化により大型農業用機械の導入が可能になるとともに、用水路のパイプライン化により用水管理の省力化が図られ、また、排水路の装工及び暗渠排水の整備により水田の汎用化が図られることから、農作業効率が向上し担い手への農地利用集積が加速される。 これにより、担い手の経営規模拡大が進むとともに、地域農業経営の複合化が促進され、地域全体の収益向上が図られる。</p> <p>(2) 事業内容 区画整理 168.0ha</p> <p>(3) 事業計画期間及び総事業費</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業計画期間</th> <th rowspan="2">総事業費 ① [千円]</th> <th colspan="2">令和 7 年度までの進捗見込み</th> </tr> <tr> <th>着手年度</th> <th>完了予定年度</th> <th>② 事業費 [千円]</th> <th>進捗率 ③ = ②/①</th> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>令和10年度</td> <td>4,984,000</td> <td>3,037,038</td> <td>60.9%</td> </tr> </table>					事業計画期間		総事業費 ① [千円]	令和 7 年度までの進捗見込み		着手年度	完了予定年度	② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②/①	平成30年度	令和10年度	4,984,000	3,037,038	60.9%						
	事業計画期間		総事業費 ① [千円]	令和 7 年度までの進捗見込み																					
	着手年度	完了予定年度		② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②/①																				
	平成30年度	令和10年度	4,984,000	3,037,038	60.9%																				
	事業の進捗状況	<p>(1) 整備効果の発現状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 区画整理は、令和 7 年度までに132.6ha（概ね 8 割）の整備を完了する見込み。 区画拡大や道水路の整備により生産条件の向上が図られ、担い手への集積が進んでいる。 集積率 H29(事業実施前)23.2%、R10(目標年度)85.2%、R6時点61.9%（38.7ポイント増） <p>(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨今の物価高騰等により事業費増となっているが、厳しい公共事業予算の現状を踏まえ、コスト縮減や工程の見直し等を行い、残工事や換地業務等を計画的に進め、令和10年度の事業完了に向け事業を推進していく。 																							
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 事業に関する社会経済情勢</p> <p>ア 本県内又は施工地域における状況</p> <p>「いわて農業農村整備の展開方向（2023～2026）」においては、「地域の特性に応じた収益力の高い農業の実現」を重点施策の一つに位置付け、①水田の大区画化と汎用化の推進、②ほ場整備の導入による担い手への農地集積の促進、③特色ある産地形成に向けた高収益作物等の導入促進、④中山間地域等における地域の特性に応じた基盤整備を推進することとしている。</p> <p>(参考) 予算の動向 [百万円]</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>70</td> <td>57</td> <td>564</td> <td>728</td> <td>483</td> <td>707</td> <td>395</td> <td>33</td> <td>3,037</td> </tr> </table>					年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計	事業費	70	57	564	728	483	707	395	33	3,037
	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計															
	事業費	70	57	564	728	483	707	395	33	3,037															
<p>(2) 自然環境等の状況</p> <p>ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県自然環境保全指針による環境保全区分 E 希少野生動植物の生息の有無 有 県レッドデータブックBからDランクの種が生息 埋蔵文化財包蔵地の有無 有 																									

社 会 経 済 情 勢 等 の 状 況	<p>イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <p>事業実施に当たっては、広域振興局で開催される奥州市地区希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進めている。</p> <p>①動物に対する配慮 対象動物について、工事期間中は隣接に移動し工事完了後に元の場所へ戻す。</p> <p>②植物に対する配慮 対象植物について、近傍で同種の植物が自生している場所に移植する。</p>																							
	<p>○自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的に対応していることから「a」とした。</p>																							
	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 10px;"> 項目評価 a . b . c </div>																							
	<p>(3) 事業に関する指標からみた評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 10%;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; height: 10px;"></div> </div> </th> <th style="width: 12.5%;">必要性</th> <th style="width: 12.5%;">重要性</th> <th style="width: 12.5%;">緊急性</th> <th style="width: 12.5%;">効率性</th> <th style="width: 12.5%;">熟度</th> <th style="width: 12.5%;">計</th> <th style="width: 25%; text-align: left;">＜参 考＞ 費用便益比 (B/C)</th> </tr> <tr> <td>配点</td> <td>25</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評点</td> <td>25</td> <td>13</td> <td>16.66</td> <td>12</td> <td>16.25</td> <td>82.91</td> <td>1.64</td> </tr> </table>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; height: 10px;"></div> </div>	必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	＜参 考＞ 費用便益比 (B/C)	配点	25	15	20	20	20	100		評点	25	13	16.66	12	16.25	82.91
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; height: 10px;"></div> </div>	必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	＜参 考＞ 費用便益比 (B/C)																	
配点	25	15	20	20	20	100																		
評点	25	13	16.66	12	16.25	82.91	1.64																	
	<p>○事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が80点以上であることから「a」とした。</p>																							
	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 10px;"> 項目評価 a . b . c </div>																							
	<p>○ 関連する開発プロジェクト等の状況</p> <p>特になし。</p>																							
総 合 評 価	<p>(1) 総合評価</p>																							
	<div style="border: 3px double black; display: inline-block; padding: 5px 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; display: inline-block;"> 総 合 評 価 </div> <div style="display: inline-block; margin-left: 10px;"> AA . A . B . C </div> </div>																							
	<p>○総合評価に係るコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本地区は、農地が不成形かつ10a程度と狭小で、農道も幅員が狭く、水路も土水路であることから、農作業及び維持管理に多大な労力を来たしており、本事業による水田の大区画化等の農業生産条件向上を契機に、「意欲と能力のある経営体」への農地利用集積、効率的かつ安定的な農業経営の確立を図るものである。 ・「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的に対応をしていることから「a」評価とし、また「事業に関する指標からみた評価」については、評価指標の評点の合計が80点以上となっていることから「a」評価としており、総合評価を「AA」とした。 ・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、事業の継続が妥当であると判断したものである。 																							
	<p>(2) その他特記事項</p> <p>特になし。</p>																							

公共事業 継続評価調書(箇所別)

令和 7 年10月 3 日作成

事業名	経営体育成基盤整備事業		補助・単独	担当部課名	農林水産部農村建設課
路線名等	—	地区名	おやまひがし 小山東	市町村	奥州市

事業概要	(1) 事業目的				
	○解決すべき課題 本地区の水田は、10a程度の小区画不整形で農道も狭小のため、大型機械導入を阻害している。また、水路は用排兼用の土水路であるため、安定的な用水確保ができず維持管理に多大な労力を要しているほか、排水不良をきたし水田の汎用化を阻害している。 これらのことが、農地利用集積の推進を妨げ、担い手の経営規模拡大や地域農業経営の合理化を阻害する要因となっている。				
	○整備によって得られる効果 ほ場の大区画化により大型農業用機械の導入が可能になるとともに、用水路のパイプライン化により用水管理の省力化が図られ、また、排水路の装工及び暗渠排水の整備により水田の汎用化が図られることから、農作業効率が向上し担い手への農地利用集積が加速される。 これにより、担い手の経営規模拡大が進むとともに、地域農業経営の複合化が促進され、地域全体の収益向上が図られる。				
	(2) 事業内容 区画整理 133.9ha				
	(3) 事業計画期間及び総事業費				
	事業計画期間		総事業費	令和 7 年度までの進捗見込み	
	着手年度	完了予定年度	① [千円]	② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②/①
	令和元年度	令和11年度	4,616,000	1,506,780	32.6%

事業の進捗状況	(1) 整備効果の発現状況	
	<ul style="list-style-type: none"> 区画整理は、令和 7 年度までに66.5ha（概ね 5 割）の整備を完了する見込み。 区画拡大や道水路の整備により生産条件の向上が図られ、担い手への集積が進んでいる。 集積率 H30(事業実施前)10.5%、R11(目標年度)99.0%、R6時点78.9%（68.4ポイント増） 	
	(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し	
	<ul style="list-style-type: none"> 昨今の物価高騰等により事業費増となっているが、厳しい公共事業予算の現状を踏まえ、コスト縮減や工程の見直し等を行い、残工事や換地業務等を計画的に進め、令和11年度の事業完了に向け事業を推進していく。 	

社会経済情勢等の状況	(1) 事業に関する社会経済情勢																		
	ア 本県内又は施工地域における状況																		
	「いわて農業農村整備の展開方向（2023～2026）」においては、「地域の特性に応じた収益力の高い農業の実現」を重点施策の一つに位置付け、①水田の大区画化と汎用化の推進、②ほ場整備の導入による担い手への農地集積の促進、③特色ある産地形成に向けた高収益作物等の導入促進、④中山間地域等における地域の特性に応じた基盤整備を推進することとしている。																		
	(参考) 予算の動向 [百万円]																		
	<table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>53</td> <td>74</td> <td>186</td> <td>326</td> <td>510</td> <td>322</td> <td>36</td> <td>1,507</td> </tr> </table>		年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計	事業費	53	74	186	326	510	322	36
年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計											
事業費	53	74	186	326	510	322	36	1,507											
	(2) 自然環境等の状況																		
	ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分																		
	<ul style="list-style-type: none"> 岩手県自然環境保全指針による環境保全区分 E 希少野生動植物の生息の有無 有 県レッドデータブックBからDランクの種が生息 埋蔵文化財包蔵地の有無 有 																		

社 会 経 済 情 勢 等 の 状 況	<p>イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <p>事業実施に当たっては、広域振興局で開催される奥州市地区希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進めている。</p> <p>①動物に対する配慮 対象動物について、移動が可能なものについては隣接地の類似箇所に移動させる。</p> <p>②植物に対する配慮 対象植物について、近傍で同種の植物が自生している場所に移植する。</p>	<p>○自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的に対応していることから「a」とした。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 項目評価 a b c </div>																								
	<p>(3) 事業に関する指標からみた評価</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 15%;">必要性</th> <th style="width: 15%;">重要性</th> <th style="width: 15%;">緊急性</th> <th style="width: 15%;">効率性</th> <th style="width: 15%;">熟度</th> <th style="width: 15%;">計</th> <th style="width: 20%;"></th> </tr> <tr> <td>配点</td> <td>25</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>100</td> <td rowspan="2" style="text-align: left; vertical-align: middle;"> <参 考> 費用便益比 (B/C) </td> </tr> <tr> <td>評点</td> <td>25</td> <td>13</td> <td>16.66</td> <td>9.5</td> <td>18.75</td> <td>82.91</td> <td style="text-align: center;">1.08</td> </tr> </table>		必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計		配点	25	15	20	20	20	100	<参 考> 費用便益比 (B/C)	評点	25	13	16.66	9.5	18.75	82.91	1.08
		必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計																			
	配点	25	15	20	20	20	100	<参 考> 費用便益比 (B/C)																		
評点	25	13	16.66	9.5	18.75	82.91	1.08																			
<p>○事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が80点以上であることから「a」とした。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 項目評価 a b c </div>	<p>○ 関連する開発プロジェクト等の状況</p> <p>特になし。</p>																									
<p>(1) 総合評価</p> <div style="border: 3px double black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 総 合 評 価 </div> <div style="display: inline-block; margin-left: 10px;"> AA A B C </div> </div> <p>○総合評価に係るコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本地区は、農地が不成形かつ10a程度と狭小で、農道も幅員が狭く、水路も土水路であることから、農作業及び維持管理に多大な労力を来たしており、本事業による水田の大区画化等の農業生産条件向上を契機に、「意欲と能力のある経営体」への農地利用集積、効率的かつ安定的な農業経営の確立を図るものである。 ・「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的に対応をしていることから「a」評価とし、また「事業に関する指標からみた評価」については、評価指標の評点の合計が80点以上となっていることから「a」評価としており、総合評価を「AA」とした。 ・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、事業の継続が妥当であると判断したものである。 <p>(2) その他特記事項</p> <p>特になし。</p>																										
総 合 評 価																										

公共事業 継続評価調書(箇所別)

令和 7 年10月 3 日作成

事業名	経営体育成基盤整備事業		補助・単独	担当部課名	農林水産部農村建設課																						
路線名等	—	地区名	西黒沢	市町村	一関市																						
事業概要	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題</p> <p>本地区の水田は、10a程度の小区画不整形で農道も狭小のため、大型機械導入を阻害している。また、水路は用排兼用の土水路であるため、安定的な用水確保ができず維持管理に多大な労力を要しているほか、排水不良をきたし水田の汎用化を阻害している。</p> <p>これらのことが、農地利用集積の推進を妨げ、担い手の経営規模拡大や地域農業経営の合理化を阻害する要因となっている。</p> <p>○整備によって得られる効果</p> <p>ほ場の大区画化により大型農業用機械の導入が可能になるとともに、用水路のパイプライン化により用水管理の省力化が図られ、また、排水路の装工及び暗渠排水の整備により水田の汎用化が図られることから、農作業効率が向上し担い手への農地利用集積が加速される。</p> <p>これにより、担い手の経営規模拡大が進むとともに、地域農業経営の複合化が促進され、地域全体の収益向上が図られる。</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>区画整理 69.2ha (当初計画：区画整理 85.2ha)</p> <p>(3) 事業計画期間及び総事業費</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業計画期間</th> <th>総事業費</th> <th colspan="2">令和 7 年度までの進捗見込み</th> </tr> <tr> <th>着手年度</th> <th>完了予定年度</th> <th>① [千円]</th> <th>② 事業費 [千円]</th> <th>進捗率 ③ = ②/①</th> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>令和10年度</td> <td>2,539,000</td> <td>1,683,950</td> <td>66.3%</td> </tr> </table>					事業計画期間		総事業費	令和 7 年度までの進捗見込み		着手年度	完了予定年度	① [千円]	② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②/①	平成29年度	令和10年度	2,539,000	1,683,950	66.3%							
	事業計画期間		総事業費	令和 7 年度までの進捗見込み																							
	着手年度	完了予定年度	① [千円]	② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②/①																						
	平成29年度	令和10年度	2,539,000	1,683,950	66.3%																						
	事業の進捗状況	<p>(1) 整備効果の発現状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 区画整理は令和 7 年度までに63.6ha (概ね 9 割) の整備を完了する見込み。 区画拡大や導水路の整備により生産条件の向上が図られ、担い手への集積が進んでいる。 <p>集積率 H28(事業実施前)11.2%、R11(目標年度)93.4%、R6時点77.6% (66.4ポイント増)</p> <p>(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元要望による地区編入除外の要望により、区画形状の変更や用排水計画の見直しが必要になったことや、昨今の物価高騰による事業費増 (自然増) に加え、厳しい公共事業予算の現状を踏まえ、工程の見直しが生じたことにより、工事が遅延している。 こうした状況を踏まえ工程の見直しを行い、残工事や換地事務等を計画的に進め、令和10年度の事業完了に向け事業を推進していく。 																									
社会経済情勢等の状況		<p>(1) 事業に関する社会経済情勢</p> <p>ア 本県内又は施工地域における状況</p> <p>「いわて農業農村整備の展開方向 (2023～2026)」においては、「地域の特性に応じた収益力の高い農業の実現」を重点施策の一つに位置付け、①水田の大区画化と汎用化の推進、②ほ場整備の導入による担い手への農地集積の促進、③特色ある産地形成に向けた高収益作物等の導入促進、④中山間地域等における地域の特性に応じた基盤整備を推進することとしている。</p> <p>(参考) 予算の動向 [百万円]</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>82</td> <td>150</td> <td>170</td> <td>316</td> <td>297</td> <td>214</td> <td>228</td> <td>140</td> <td>87</td> <td>1,684</td> </tr> </table> <p>(2) 自然環境等の状況</p> <p>ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県自然環境保全指針による環境保全区分 D,E 希少野生動植物の生息の有無 有 県レッドデータブックA及びBランクの種が生息 埋蔵文化財包蔵地の有無 有 中島遺跡、ほか可能性 5 箇所 					年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計	事業費	82	150	170	316	297	214	228	140	87
	年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計																
事業費	82	150	170	316	297	214	228	140	87	1,684																	

社 会 経 済 情 勢 等 の 状 況	<p>イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <p>事業実施に当たっては、広域振興局で開催される一関地区希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進めている。</p> <p>①動物に対する配慮 対象動物について、工事の影響を受けない近傍等に移動する。</p> <p>②植物に対する配慮 対象植物について、工事の影響を受けない近傍等に移植する。</p> <p>《環境等への配慮に要する経費》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生AS合材や再生砕石を使用（1,500千円） <p>○自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的に対応していることから「a」とした。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 項目評価 a b c </div> <p>(3) 事業に関する指標からみた評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 12.5%;">必要性</th> <th style="width: 12.5%;">重要性</th> <th style="width: 12.5%;">緊急性</th> <th style="width: 12.5%;">効率性</th> <th style="width: 12.5%;">熟度</th> <th style="width: 12.5%;">計</th> <th style="width: 25%; text-align: left;">＜参 考＞ 費用便益比 (B/C)</th> </tr> <tr> <td>配点</td> <td>25</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評点</td> <td>17.5</td> <td>13</td> <td>16.66</td> <td>12</td> <td>18.75</td> <td>77.91</td> <td>1.34</td> </tr> </table> <p>○事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 項目評価 a b c </div> <p>○ 関連する開発プロジェクト等の状況 特になし。</p>		必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	＜参 考＞ 費用便益比 (B/C)	配点	25	15	20	20	20	100		評点	17.5	13	16.66	12	18.75	77.91	1.34
		必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	＜参 考＞ 費用便益比 (B/C)																		
	配点	25	15	20	20	20	100																			
	評点	17.5	13	16.66	12	18.75	77.91	1.34																		
総 合 評 価	<p>(1) 総合評価</p>	<div style="border: 3px double black; padding: 10px; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px;">総 合 評 価</div> <div style="display: inline-block; padding: 0 10px;">AA A B C</div> </div> <p>○総合評価に係るコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本地区は、小区画に加え末端水路が素堀の用排兼用で、地区内耕作道も狭小であるため農作業に多大な支障を来しており、本事業による水田の大区画化等の農業生産条件向上を契機に、「意欲と能力のある経営体」への農地利用集積、効率的かつ安定的な農業経営の確立を図るものである。 ・「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的に対応をしていることから「a」評価、また「事業に関する指標からみた評価」については、評価指標の評点の合計が60点以上80点未満となっていることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。 ・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、事業の継続が妥当であると判断したものである。 <p>(2) その他特記事項 特になし。</p>																								

事業名	畑地帯総合整備事業		補助・単独		担当部課名	農林水産部農村建設課																								
路線名等	—	地区名	あなうし・むらまつ・やち 穴牛・村松・谷地		市町村	二戸市																								
事業概要	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 本地区の地区内には、国営事業により整備された共同給水栓があるが、末端の給水施設が無く、近年の高温・少雨における農作物の品質低下対策や防除等に係る営農用水の確保に多大な労力を要している。 また、農道は狭小未舗装で、農作物の品質確保や効率的な営農の支障となっている。</p> <p>○整備によって得られる効果 畑地かんがい施設及び農道を総合的に整備することにより、農産物の計画的・安定的な生産や品質向上を図り、農業経営の安定化に寄与する。</p> <p>(2) 事業内容 農業用排水施設（畑地かんがい施設）整備 48.7ha 農道整備 2.3km</p> <p>(3) 事業計画期間及び総事業費</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業計画期間</th> <th rowspan="2">総事業費 ① [千円]</th> <th colspan="2">令和 7 年度までの進捗見込み</th> </tr> <tr> <th>着手年度</th> <th>完了予定年度</th> <th>② 事業費 [千円]</th> <th>進捗率 ③ = ②/①</th> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>令和 8 年度</td> <td>1, 261, 000</td> <td>1, 202, 240</td> <td>95. 3%</td> </tr> </table>							事業計画期間		総事業費 ① [千円]	令和 7 年度までの進捗見込み		着手年度	完了予定年度	② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②/①	平成28年度	令和 8 年度	1, 261, 000	1, 202, 240	95. 3%									
	事業計画期間		総事業費 ① [千円]	令和 7 年度までの進捗見込み																										
	着手年度	完了予定年度		② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②/①																									
	平成28年度	令和 8 年度	1, 261, 000	1, 202, 240	95. 3%																									
	事業の進捗状況	<p>(1) 整備効果の発現状況 令和 7 年度において、農業用排水施設の48.7haが完了する見込みであり、農道整備については、78%（1,746/2,250m）で整備され、適期にかん水を行うことにより、安定的な収量の確保が図られると共に、防除用水等の確保が容易となっている。また農道の整備により、安全な農作業の実施が可能となっている。</p> <p>(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し ・工事実施に係る仮設工法の検討及び埋蔵文化財の発掘調査に不測の時間を要したことや、昨今の物価高騰による事業費増に加え、厳しい公共事業予算の現状を踏まえ、工程の見直しが必要になったことにより工期が遅延している。 ・こうした状況を踏まえ、工程の見直しを行い、残工事を計画的に進め、令和 8 年度の事業完了に向け事業を推進していく。</p>																												
<p>(1) 事業に関する社会経済情勢</p> <p>ア 本県内又は施工地域における状況 本県の農林水産物の産出額等はピーク時と比較して大きく減少しており、また農産物の単収が低く年次変動が大きい状況にある。 本地区では、気象や土壌等の地域特性を活かした野菜や果樹を中心とした複合経営が行われており、特に果樹については、生産性の向上やブランド化への取組を積極的に展開しているほか、ブランド果物を活用した着地型観光の展開を進めている。</p> <p>(参考) 予算の動向 [百万円]</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>203</td> <td>135</td> <td>68</td> <td>155</td> <td>200</td> <td>124</td> <td>217</td> <td>46</td> <td>37</td> <td>18</td> <td>1203</td> </tr> </table> <p>(2) 自然環境等の状況</p> <p>ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県自然環境保全指針による環境保全区分 A, B, D 希少野生動植物の生息の有無 無 埋蔵文化財包蔵地の有無 有 							年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計	事業費	203	135	68	155	200	124	217	46	37	18	1203
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計																			
事業費	203	135	68	155	200	124	217	46	37	18	1203																			
社会経済情勢等の状況																														

社 会 経 済 情 勢 等 の 状 況	<p>イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <p>事業実施に当たっては、動植物の専門家による生育・生息調査、有識者が参画する「二戸地方公共事業等に係る希少野生動植物調査委員会」の開催等により、動植物に配慮することとしており、環境配慮について積極的に対応している。</p> <p>① 動物に対する配慮 希少種の生息なし。</p> <p>② 植物に対する配慮 希少種の生息無し。</p> <p>○自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的に対応していることから「a」とした。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 項目評価 a b c </div> <p>(3) 事業に関する指標からみた評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 10%;"> </th> <th style="width: 15%;">必要性</th> <th style="width: 15%;">重要性</th> <th style="width: 15%;">緊急性</th> <th style="width: 15%;">効率性</th> <th style="width: 15%;">熟度</th> <th style="width: 15%;">計</th> <th style="width: 20%;">＜参 考＞</th> </tr> <tr> <td>配点</td> <td>25</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>100</td> <td>費用便益比 (B/C)</td> </tr> <tr> <td>評点</td> <td>21</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>65</td> <td>1.72</td> </tr> </table> <p>○事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 項目評価 a (b) c </div> <p>○ 関連する開発プロジェクト等の状況 特になし。</p>		必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	＜参 考＞	配点	25	15	20	20	20	100	費用便益比 (B/C)	評点	21	7	10	12	15	65	1.72
		必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	＜参 考＞																		
	配点	25	15	20	20	20	100	費用便益比 (B/C)																		
	評点	21	7	10	12	15	65	1.72																		
総 合 評 価	<p>(1) 総合評価</p>	<div style="border: 3px double black; padding: 10px; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px;"> 総 合 評 価 </div> <div style="display: inline-block; margin-left: 20px;"> AA A B C </div> </div> <p>○総合評価に係るコメント</p> <p>本地区は、個々の農地への給水施設が未整備のため営農用水の確保に多大な労力を要しているほか、農道が狭小未舗装のため農作物の品質確保や効率的な営農の支障となっている。本事業による生産基盤の整備を通じ、生産コストの低減や農産物の品質確保が可能となり、また高収益作目の導入や担い手への農地利用集積が促進され、生産性・市場性の高い産地づくりの形成に寄与する。</p> <p>「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的に対応していることから「a」評価、また「事業計画の妥当性」については、評価指標の評点の合計が60点以上80点未満となっていることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。</p> <p>事業の目的を達成するために社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられるため、事業の実施が妥当であると判断したものである。</p> <p>(2) その他特記事項 特になし。</p>																								

事業名	復旧治山事業		補助・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課											
路線名等	—	地区名	すずくな 鈴久名	市町村	宮古市											
事業概要	〔事業根拠法令等：森林法第41条〕															
	(1) 事業目的 ○解決すべき課題 当地区は宮古市の西部、閉伊川左岸に位置している。令和 4 年 7 月23日の大雨により、大規模な山腹崩壊を起こし市道等に土砂が流出したため、被災箇所を早期に復旧する必要がある。 ○整備によって得られる効果 本事業で崩壊斜面の拡大崩壊を防止するために山腹工を施工することにより、下流域の人家や道路等の保全が図られる。															
	(2) 事業内容 山腹工 1 式															
	(3) 事業計画期間及び総事業費															
	事業計画期間		総事業費	令和 7 年度までの進捗見込み												
	着手年度	完了予定年度	① [千円]	② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②／①											
令和5年度	令和12年度	993, 000	179, 526	18. 1%												
事業の進捗状況	(1) 整備効果の発現状況 令和 7 年度から本復旧工事に着手しているため、現時点で事業効果は発現されていない。															
	(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し 大規模な崩壊斜面のため、斜面の調査解析及び設計に不測の時間を要したため、事業期間が延伸となった。 令和12年度の完了に向け事業を推進していく。															
社会経済情勢等の状況	(1) 事業に関する社会経済情勢 ア 本県内又は施工地域における状況 地区住民からは、土砂災害の恐怖から解放され、安全な生活が営めるよう、早期の対策を強く要望されている。															
	(参考) 予算の動向 令和 7 年度当初予算の対前年比（当初予算対比）は1. 04となっており、計画的に事業対象箇所を整備することとしている。															
	過去 3 年間の県当初予算（治山事業費）の状況															
	<table><tr><td>年度</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>事業費（百万円）</td><td>1, 309</td><td>1, 338</td><td>1, 394</td></tr><tr><td>対前年比</td><td>1. 09</td><td>1. 02</td><td>1. 04</td></tr></table>				年度	R5	R6	R7	事業費（百万円）	1, 309	1, 338	1, 394	対前年比	1. 09	1. 02	1. 04
	年度	R5	R6	R7												
事業費（百万円）	1, 309	1, 338	1, 394													
対前年比	1. 09	1. 02	1. 04													
(2) 自然環境等の状況 ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分 ・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無 ・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無 ・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：D 生物的環境の評価：2 地形・地質、自然環境の評価：4																

社 会 経 済 情 勢 等 の 状 況		<ul style="list-style-type: none"> ・ 植生及び県レッドデータブック登載種の状況：無 ・ 公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：有 ・ 希少野生動植物の生息の確認状況：無 																							
		<p>イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。 																							
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 項目評価 (a) . b . c </div>																							
		<p>(3) 事業に関する指標からみた評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 10%;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; height: 100%;"></div> </div> </th> <th style="width: 12.5%;">必要性</th> <th style="width: 12.5%;">重要性</th> <th style="width: 12.5%;">緊急性</th> <th style="width: 12.5%;">効率性</th> <th style="width: 12.5%;">熟度</th> <th style="width: 12.5%;">計</th> <th style="width: 25%; text-align: left;">＜参 考＞ 費用便益比 (B/C)</th> </tr> <tr> <td>配点</td> <td>20</td> <td>10</td> <td>40</td> <td>30</td> <td>-</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評点</td> <td>14</td> <td>5</td> <td>32</td> <td>15</td> <td>-</td> <td>66</td> <td>1.30</td> </tr> </table> <p>※ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; height: 100%;"></div> </div>	必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	＜参 考＞ 費用便益比 (B/C)	配点	20	10	40	30	-	100		評点	14	5	32	15	-	66
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; height: 100%;"></div> </div>	必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	＜参 考＞ 費用便益比 (B/C)																		
配点	20	10	40	30	-	100																			
評点	14	5	32	15	-	66	1.30																		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 項目評価 a . (b) . c </div>																								
		<p>○ 関連する開発プロジェクト等の状況</p> <p style="margin-left: 20px;">無</p>																							
総 合 評 価	<p>(1) 総合評価</p> <div style="border: 3px double black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 10px;">総 合 評 価</div> <div style="display: inline-block;"> AA . (A) . B . C </div> </div> <p>○ 総合評価に係るコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「自然環境等の状況」 : a ・ 「事業に関する指標から見た評価」 : b <p style="margin-top: 20px;">当該事業は地域の保全を図る上で重要な事業であり、事業実施にあたってはコスト削減・環境等に配慮するものであること、また、地元住民からの強い要望があり、総合評価が「A」評価であることから、事業を継続することが妥当と判断される。</p>																								
	<p>(2) その他特記事項</p> <p style="margin-left: 20px;">特になし</p>																								

事業名	林道整備事業	(補助)・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課															
路線名等	ナイヨウ ^{さわせん} 沢線	地区名	—	市町村	岩泉町														
事業の進捗状況	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 本路線の利用区域の森林は、人工林が65.6%で、その半数以上が主伐期を迎えているものの、林内路網の整備が遅れ、間伐などの森林整備の支障となっている。</p> <p>○整備によって得られる効果 森林整備や木材生産の低コスト化・効率化を図ることで、木材生産量の増加、水源涵養、県土の保全等の森林の有する多面的機能の持続的な発揮が期待される。</p> <p>(2) 事業内容 全体計画 L=1,520m 幅員 W=4.0m</p> <p>(3) 事業計画期間及び総事業費</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業計画期間</th> <th rowspan="2">総事業費 ① [千円]</th> <th colspan="2">令和 7 年度までの進捗見込み</th> </tr> <tr> <th>着手年度</th> <th>完了予定年度</th> <th>② 事業費 [千円]</th> <th>進捗率 ③ = ②/①</th> </tr> <tr> <td>令和 2 年度</td> <td>令和11年度</td> <td>290,000.0</td> <td>14,358.0</td> <td>5.0%</td> </tr> </table>					事業計画期間		総事業費 ① [千円]	令和 7 年度までの進捗見込み		着手年度	完了予定年度	② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②/①	令和 2 年度	令和11年度	290,000.0	14,358.0	5.0%
	事業計画期間		総事業費 ① [千円]	令和 7 年度までの進捗見込み															
	着手年度	完了予定年度		② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②/①														
	令和 2 年度	令和11年度	290,000.0	14,358.0	5.0%														
	<p>(1) 整備効果の発現状況 全体計画延長1.5kmの全体計画調査が終了しているが、現在は一時休工としている。</p> <p>(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し</p> <p>ア 理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該事業は、令和 2 年度に事業に着手したが、令和 3 年度に施工箇所の土地所有者間における用地問題が発生し、未解決の状況にある。 ・また、県内の林道管理者において策定された林道施設に係る個別施設計画において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態と判定された施設の対策工事に優先して予算を配分する必要が生じたことから、林道整備の遅れが生じている。 <p>イ 解決の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も申請主体である岩泉町が事業再開に向けて、所有者から同意を得られるよう交渉を続けていく。 ・用地問題が解決した場合、他路線と調整のうえ、優先的に予算を配分していくこととしている。 																		
	<p>(1) 事業に関する社会経済情勢</p> <p>ア 本県内又は施工地域における状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県では、計画的な林道整備を推進するため、実効性の高い中期的なアクションプランとして、令和 4 年度に「林道整備事業中期実施計画（第 5 期）」を策定し、年間10kmの林道整備を目標に、路網密度の向上に向けて、事業実施路線の早期完成に取り組んでいる。 ・国が示している「林道整備における路網密度の水準」では、本県が目安としている中傾斜地（林地斜面の傾斜角15～30度）での林道等の林内道路密度が25～40m/haとされているが、本県の林内道路密度は、令和 5 年度末時点で16.8m/haであるため、目指すべき水準への到達に向け、路網整備の一層の推進が必要となっている。 ・また、県内では、大型の製材・集成材・合板工場の稼働により、安定した素材の供給が求められているほか、木質バイオマス発電施設の整備が進み、燃料用素材の需要も増大していることから、木材の安定供給体制の整備に向け、木材生産の基盤である林道等の路網整備が急務となっている。 <p>イ 施工地域における状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣接する宮古市には大型の製材工場があることから、森林資源を有効に利用できる条件が整っている。 																		

事業名	漁港整備事業		補助	単独	担当部課名	農林水産部漁港漁村課																							
路線名等	おもえ ぎょこう 重茂漁港	地区名	おもえ 重茂		市町村	宮古市																							
事業概要	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 船揚場に滑り材が整備されていない、漁船上架作業が非効率かつ安全の確保されていないこと、また、臨港道路に近接している山からの崩落等により輸送経路の安全が確保されていないこと等の環境のもと、漁業活動を強いられているものである。 一方、漁港内泊地の有効活用として漁場を整備することにより比較的天候に左右されないで操業できることから、地元漁業者から要望があるものである。</p> <p>○整備によって得られる効果 船揚場の滑り材や臨港道路の法面崩落防止構造物等を整備することにより、漁業の就労環境の改善及び安全の確保が可能となること。 また、漁場の整備により、海象の影響を受けにくい操業を可能とし、生産性向上を可能とし、地域水産業の生産拠点としての機能を向上することになること。</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>-3m岸壁L=70m、護岸L=70m、臨港道路(法面工)L=130m、道路護岸L=100m、臨港道路L=310m、船揚場L=116m、松ケ下漁場 A=4.0ha</p> <p>(3) 事業計画期間及び総事業費</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業計画期間</th> <th rowspan="2">総事業費 ① [千円]</th> <th colspan="2">令和 7 年度までの進捗見込み</th> </tr> <tr> <th>着手年度</th> <th>完了予定年度</th> <th>② 事業費 [千円]</th> <th>進捗率 ③ = ②/①</th> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>令和10年度</td> <td>1,300,000</td> <td>831,674</td> <td>64.0%</td> </tr> </table>							事業計画期間		総事業費 ① [千円]	令和 7 年度までの進捗見込み		着手年度	完了予定年度	② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②/①	平成29年度	令和10年度	1,300,000	831,674	64.0%								
	事業計画期間		総事業費 ① [千円]	令和 7 年度までの進捗見込み																									
	着手年度	完了予定年度		② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②/①																								
	平成29年度	令和10年度	1,300,000	831,674	64.0%																								
	事業の進捗状況	<p>(1) 整備効果の発現状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・-3m岸壁等の完成により、漁業活動の効率性が向上している。 ・漁場の完成により、生産性向上効果が発現している。 <p>(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年の物価高騰による事業費増に加え、厳しい公共事業予算の現状を踏まえ、工程の見直しが必要になったことにより、事業期間が延伸となった。 ・コスト削減に取り組むとともに、予算確保に努め、令和10年度の完了に向け事業を推進していく。 																											
社会経済情勢等の状況		<p>(1) 事業に関する社会経済情勢</p> <p>ア 本県内又は施工地域における状況</p> <p>近年、大規模な地震や局地的な豪雨が頻発しており、本地区においても地震後の落石による漁船の被害等が発生している。 このことから、漁業活動の安全性向上に資する本事業の実施は急務であり、事業の実施による早期の効果発現が望まれている。</p> <p>(参考) 予算の動向 (単位：百万円)</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>35</td> <td>16</td> <td>146</td> <td>202</td> <td>73</td> <td>143</td> <td>64</td> <td>73</td> <td>80</td> <td>832</td> </tr> </table> <p>(2) 自然環境等の状況</p> <p>ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 A ・希少野生動植物生息の有無 なし ・埋蔵文化財包蔵地の有無 なし 								H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計	事業費	35	16	146	202	73	143	64	73	80
		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計																		
事業費	35	16	146	202	73	143	64	73	80	832																			

社 会 経 済 情 勢 等 の 状 況	<p>イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域振興局で実施している公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、環境に配慮した事業を進めることとする。 ・排出ガス対策型建設機械を使用し大気汚染防止に努める。 ・再生資材（砕石）を積極的に使用し資源の有効活用を図る。 <p>【環境等への配慮に要する経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生資材（砕石）を使用（1,000千円） <p>○自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: right;"> 項目評価 a . b . c </div>																								
	<p>(3) 事業に関する指標からみた評価</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 15%;">必要性</th> <th style="width: 15%;">重要性</th> <th style="width: 15%;">緊急性</th> <th style="width: 15%;">効率性</th> <th style="width: 15%;">熟度</th> <th style="width: 15%;">計</th> <th style="width: 20%; text-align: left;">＜参 考＞</th> </tr> <tr> <td>配点</td> <td>30</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>10</td> <td>100</td> <td>費用便益比 (B/C)</td> </tr> <tr> <td>評点</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>16</td> <td>20</td> <td>10</td> <td>84</td> <td>1.39</td> </tr> </table> <p>○事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が80点以上であることから「a」とした。</p>		必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	＜参 考＞	配点	30	20	20	20	10	100	費用便益比 (B/C)	評点	19	19	16	20	10	84	1.39
		必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	＜参 考＞																		
	配点	30	20	20	20	10	100	費用便益比 (B/C)																		
評点	19	19	16	20	10	84	1.39																			
<p>○ 関連する開発プロジェクト等の状況</p> <p>特になし。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: right;"> 項目評価 a . b . c </div>																									
総 合 評 価	<p>(1) 総合評価</p>	<div style="border: 3px double black; padding: 10px; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px 20px;">総 合 評 価</div> <div style="display: inline-block; padding: 0 10px;">・</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px 10px;">AA</div> <div style="display: inline-block; padding: 0 10px;">・</div> <div style="display: inline-block; padding: 0 10px;">A</div> <div style="display: inline-block; padding: 0 10px;">・</div> <div style="display: inline-block; padding: 0 10px;">B</div> <div style="display: inline-block; padding: 0 10px;">・</div> <div style="display: inline-block; padding: 0 10px;">C</div> </div> <p>○総合評価に係るコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において、船揚場・臨港道路等及び漁場を整備することにより、漁業活動の効率化と労働環境の改善及び生産性の向上が図られ、地域水産業の活性化が加速することが期待できる。 ・自然環境等の状況に係る評価結果が「a」であり、事業に関する指標から見た評価は「a」であることから、総合評価は「AA」としたものである。 ・当該地区は、東日本大震災津波後の漁業の再開が早い地区の一つであり、地域のなりわい再生に向けて着実に復旧・整備が進められるなど、水産業の復旧・復興に向けた熱意は非常に高い。 ・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、事業の実施が妥当であると判断し、意欲ある漁業者の積極的な漁業活動を支援するためにも、必要とされている施設整備を適切に実施していく必要があるものとする。 																								
	<p>(2) その他特記事項</p> <p>特になし。</p>																									

事業名	漁港整備事業		補助 単独	担当部課名	農林水産部漁港漁村課																								
路線名等	しらほま 白浜 (鵜) ぎょう 漁港	地区名	しらほま 白浜 (鵜)	市町村	釜石市																								
事業概要	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 東日本大震災津波により、漁船の安全な係留や水産物の陸揚げを可能とする防波堤や岸壁等が甚大な被害を受け、水産業の早期再開に支障を来したことから、地域の基幹産業である水産業を支えていくために、災害に強い生産体制を確保していくことが必要である。</p> <p>○整備によって得られる効果 防波堤及び岸壁等の耐震性能や耐津波性能の強化を図ることにより、今後想定される地震・津波に対して、漁港施設の被害を最小限に抑えけるとともに、地震・津波の発生後も波浪等に対して漁港施設の機能を維持することが可能となる。</p> <p>(2) 事業内容 第 2 防波堤L=100.0m、-3.0m岸壁L=30.0m</p> <p>(3) 事業計画期間及び総事業費</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業計画期間</th> <th rowspan="2">総事業費 ① [千円]</th> <th colspan="2">令和 7 年度までの進捗見込み</th> </tr> <tr> <th>着手年度</th> <th>完了予定年度</th> <th>② 事業費 [千円]</th> <th>進捗率 ③ = ②/①</th> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>令和 8 年度</td> <td>770,000</td> <td>572,358</td> <td>74.3%</td> </tr> </table>						事業計画期間		総事業費 ① [千円]	令和 7 年度までの進捗見込み		着手年度	完了予定年度	② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②/①	平成30年度	令和 8 年度	770,000	572,358	74.3%									
	事業計画期間		総事業費 ① [千円]	令和 7 年度までの進捗見込み																									
	着手年度	完了予定年度		② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②/①																								
	平成30年度	令和 8 年度	770,000	572,358	74.3%																								
	事業の進捗状況	<p>(1) 整備効果の発現状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・-3m岸壁の全延長、第 2 防波堤の約 6 割の延長が完成したことより、地震・津波の発生後も波浪等に対して漁港施設の機能を維持することができる。 <p>(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年の物価高騰による事業費増に加え、厳しい公共事業予算の現状を踏まえ、工程の見直しが必要になったことにより、事業期間が延伸となった。 ・予算配分の重点化により、令和 8 年度の完了に向け事業を推進していく。 																											
社会経済情勢等の状況		<p>(1) 事業に関する社会経済情勢</p> <p>ア 本県内又は施工地域における状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、遠隔地で発生した地震に伴う津波等により、県沿岸部において水産関係施設に被害が発生している。 ・このことから、地震・津波対策の実施は急務であり、本事業の実施による早期の効果発現が望まれている。 <p>(参考) 予算の動向 (単位：百万円)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>220</td> <td>130</td> <td>63</td> <td>30</td> <td>120</td> <td>0</td> <td>572</td> </tr> </table> <p>(2) 自然環境等の状況</p> <p>ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 <table border="1"><tr><td>A</td></tr></table> ・希少野生動植物生息の有無 <table border="1"><tr><td>なし</td></tr></table> ・埋蔵文化財包蔵地の有無 <table border="1"><tr><td>なし</td></tr></table> 							H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計	事業費	9	0	220	130	63	30	120	0	572	A	なし
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計																			
	事業費	9	0	220	130	63	30	120	0	572																			
A																													
なし																													
なし																													

社 会 経 済 情 勢 等 の 状 況	<p>イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域振興局で実施している公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、環境に配慮した事業を進めることとする。 ・排出ガス対策型建設機械を使用し大気汚染防止に努める。 ・再生資材（砕石）を積極的に使用し資源の有効活用を図る。 <p>【環境等への配慮に要する経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生資材（砕石）を使用（100千円） <p>○自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿った対応をしていることから「a」とした。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 項目評価 a b c </div>																					
	<p>(3) 事業に関する指標からみた評価</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 10%;">必要 性</th> <th style="width: 10%;">重要 性</th> <th style="width: 10%;">緊急 性</th> <th style="width: 10%;">効率 性</th> <th style="width: 10%;">熟度</th> <th style="width: 10%;">計</th> <th style="width: 10%; text-align: left;">＜参 考＞ 費用便益比 (B/C)</th> </tr> <tr> <td>30</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>10</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>60</td> <td>1.07</td> </tr> </table> <p>○事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。</p>	必要 性	重要 性	緊急 性	効率 性	熟度	計	＜参 考＞ 費用便益比 (B/C)	30	20	20	20	10	100		13	12	14	11	10	60	1.07
	必要 性	重要 性	緊急 性	効率 性	熟度	計	＜参 考＞ 費用便益比 (B/C)																
	30	20	20	20	10	100																	
13	12	14	11	10	60	1.07																	
<p>○ 関連する開発プロジェクト等の状況</p> <p>特になし。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 項目評価 a b c </div>																						
総 合 評 価	<p>(1) 総合評価</p>	<div style="border: 3px double black; padding: 10px; text-align: center;"> 総 合 評 価 AA A B C </div> <p>○総合評価に係るコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区において、防波堤及び岸壁の耐震・耐津波強化対策を実施することにより、今後想定される地震・津波発生後においても、水産物の陸揚げ機能など漁港施設の必要最低限の機能が維持され、漁業活動の継続が可能となる。 ・自然環境等の状況に係る評価結果が「a」であり、事業に関する指標から見た評価は「b」であることから、総合評価は「A」としたものである。 ・当該地区は、東日本大震災津波後の漁業再開を早期に実現し、地域のなりわい再生に向けて着実に復旧・整備が進められるなど、水産業の復旧・復興に向けた熱意は非常に高い。 ・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、事業の実施が妥当であると判断し、意欲ある漁業者の積極的な漁業活動を支援するためにも、必要とされている施設整備を適切に実施していく必要があるものとする。 <p>(2) その他特記事項</p> <p>特になし。</p>																					

公共事業 継続評価調書

令和 7 年 9 月 30 日 作成

事業名	地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)	補助 単独	担当部課名	県土整備部 道路建設課
路線名等	いっぽんこどう 一般国道282号	地区名	きひない 佐比内	市町村 八幡平市

〔事業根拠法令等：道路法第12条、第50条〕

事業概要	(1) 事業目的	<p>○路線の位置付け</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般国道282号は、盛岡市を起点とし、青森県平川市へ至る幹線道路であり、北東北の物流・観光・産業を支えているほか、並行する東北縦貫自動車道の通行止め時には迂回路として機能し、代替・補完路に指定されているなど、重要な役割を果たしている。 当該地区は、幅員狭小かつ線形不良であり、冬期間の積雪量も多いことから、大型車のみならず普通車の通行及びすれ違いが困難な区間となっており、安全な通行の支障をきたしている。 <p>○整備によって得られる効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 幅員狭小及び線形不良箇所の解消により、特に冬期間における通行車両及び歩行者の安全で円滑な交通の確保、広域産業の支援強化が図られる。 																	
	(2) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 計画延長：L=760m、計画幅員：W=6.0(9.5)m 主要構造物：トンネルL=210m、橋梁1基 																	
	(3) 整備目標等	<ul style="list-style-type: none"> 大型車すれ違い困難の解消：760m 歩行安全性、快適性の向上（歩道設置延長）：286m（片側歩道） 																	
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業計画期間</th> <th>総事業費</th> <th colspan="2">令和 7 年度 までの進捗見込み</th> </tr> <tr> <th>着手年度</th> <th>完了予定年度</th> <th>① [千円]</th> <th>② 事業費 [千円]</th> <th>進捗率 ③=②/①</th> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>令和 8 年度</td> <td>3,007,000</td> <td>2,841,960</td> <td>94.5 %</td> </tr> </table>				事業計画期間		総事業費	令和 7 年度 までの進捗見込み		着手年度	完了予定年度	① [千円]	② 事業費 [千円]	進捗率 ③=②/①	平成24年度	令和 8 年度	3,007,000	2,841,960
事業計画期間		総事業費	令和 7 年度 までの進捗見込み																
着手年度	完了予定年度	① [千円]	② 事業費 [千円]	進捗率 ③=②/①															
平成24年度	令和 8 年度	3,007,000	2,841,960	94.5 %															

事業の進捗状況	(1) 整備効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 計画延長760mのうち347mの整備が完了しており、通行の安全性・快適性が向上している。
	(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 事業費の増額はあるものの、トンネル工事は貫通済みであり、残る工事についても順調に進捗していることから令和 8 年度までの事業完了に見通しが立っている。

社会経済情勢等の変化	(1) 事業に関する社会経済情勢	<p>ア 本県内または施工地域における状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 「いわて県民計画（2019～2028）」において、社会基盤分野として『防災対策や産業振興など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手』を政策推進の基本的な考え方としている。 この中で道路分野では、災害に強い道路ネットワークを構築するため、幹線道路の整備や緊急輸送道路等の防災機能の強化及び日常生活を支える安全・安心な道づくりのため、救急搬送ルートへの整備や地域の実情に応じた道路整備、物流の効率化など生産性の向上を図るため、内陸部と港湾を結ぶ道路や工業団地、インターチェンジへのアクセス道路の整備を推進することとしている。 施工地域において、八幡平市から当該道路の整備促進について要望がある。 <p>イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> 振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会へ付議しており、有識者による現地調査の結果、施工に対する意見等はなく事業について了承いただいている。 <p>○ 自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価においては、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方針に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</p>					
		<table border="1"> <tr> <td>中項目評価</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> </tr> </table>		中項目評価	a	b	c
	中項目評価	a	b	c			

総合評価	(2) 事業に関する指標からみた評価															
		必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	〈参 考〉 費用便益費 (B/C)								
	配点	30	30	15	20	5	100									
	評点	22	30	10	7	5	74	0.6								
<p>○ 各評価指標の配点の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>中項目評価</td> <td>a</td> <td>,</td> <td>b</td> <td>,</td> <td>c</td> </tr> </table> <p>○関連する開発プロジェクト等の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし 									中項目評価	a	,	b	,	c		
中項目評価	a	,	b	,	c											
(1) 総合評価																
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">総合評価</td> <td style="width: 10%;">AA</td> <td style="width: 10%;">・</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">A</td> <td style="width: 10%;">・</td> <td style="width: 10%;">B</td> <td style="width: 10%;">・</td> <td style="width: 10%;">C</td> </tr> </table> <p>○総合評価に係るコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「自然環境等の状況及び環境配慮事項」及び「事業に関する指標から見た評価」の評価項目が、「a」、「b」であることから、総合評価を「A」とした。 ・ 「事業の進捗状況等」については、事業費の増額はあるものの全体延長760mのうち347mについて供用済みであり、また、トンネル工事は貫通済みであり、残る工事についても順調に進捗していることから令和8年度までの事業完了に見通しが立っている。 ・ 「社会経済情勢の変化」について、大きな変化は見られない。 ・ 以上のことから「事業継続」としたものである。 									総合評価	AA	・	A	・	B	・	C
総合評価	AA	・	A	・	B	・	C									

事業名	地域連携道路整備事業 (地域密着型)		補助 単独	担当部課名	県土整備部 道路建設課															
路線名等	いっぽんけんどうおおかわまつくせん 一般県道 大川松草線	地区名	もとまち おおひろい 本町～大広	市町村	岩泉町															
事業概要	〔事業根拠法令等：道路法第15条、第56条〕																			
	(1) 事業目的																			
	○路線の位置付け <ul style="list-style-type: none"> 一般県道大川松草線は、岩泉町大川の国道340号と宮古市門馬田代の国道106号を結ぶ生活道路である。 当該地区は幅員狭小かつ線形不良の隘路区間となっているため、車両のすれ違いが困難であり、安全で円滑な交通の支障となっている。 ○整備によって得られる効果 <ul style="list-style-type: none"> 幅員狭小や線形不良箇所の解消により安全で円滑な交通機能が確保される。 																			
	(2) 事業内容																			
事業の進捗状況	(3) 整備目標等																			
	<ul style="list-style-type: none"> 幅員狭小や線形不良の解消により安全で円滑な交通機能が確保する。 																			
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業計画期間</th> <th>総事業費</th> <th colspan="2">令和 7 年度 までの進捗見込み</th> </tr> <tr> <th>着手年度</th> <th>完了予定年度</th> <th>① [千円]</th> <th>② 事業費 [千円]</th> <th>進捗率 ③=②/①</th> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>令和 8 年度</td> <td>1,400,000</td> <td>1,187,460</td> <td>84.8 %</td> </tr> </table>					事業計画期間		総事業費	令和 7 年度 までの進捗見込み		着手年度	完了予定年度	① [千円]	② 事業費 [千円]	進捗率 ③=②/①	平成22年度	令和 8 年度	1,400,000	1,187,460	84.8 %
	事業計画期間		総事業費	令和 7 年度 までの進捗見込み																
着手年度	完了予定年度	① [千円]	② 事業費 [千円]	進捗率 ③=②/①																
平成22年度	令和 8 年度	1,400,000	1,187,460	84.8 %																
(1) 整備効果の発現状況																				
<ul style="list-style-type: none"> 計画延長1,300mのうち840mの整備が完了しており、通行の安全性・快適性が向上している。 																				
(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し																				
<ul style="list-style-type: none"> 事業費の増額はあるものの、残る工事についても順調に進捗していることから令和 8 年度までの事業完了に見通しが立っている。 																				
社会経済情勢等の変化	(1) 事業に関する社会経済情勢																			
	ア 本県内または施工地域における状況 <ul style="list-style-type: none"> 「いわて県民計画（2019～2028）において、社会基盤分野として『防災対策や産業振興など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手』を政策推進の基本的な考え方としている。 この中で道路分野では、災害に強い道路ネットワークを構築するため、幹線道路の整備や緊急輸送道路等の防災機能の強化及び日常生活を支える安全・安心な道づくりのため、救急搬送ルート of 整備や地域の実情に応じた道路整備、物流の効率化など生産性の向上を図るため、内陸部と港湾を結ぶ道路や工業団地、インターチェンジへのアクセス道路の整備を推進することとしている。 施工地域において、大川地区道路整備促進期成同盟会及び岩泉町から当該道路の整備促進について要望がある。 																			
	イ 環境配慮事項及び環境等への配慮事項 <ul style="list-style-type: none"> 振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会へ付議しており、有識者による現地調査の結果、移植等を必要とする希少種は確認されなかった。 																			
	○ 自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価においては、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方針に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。																			
<table border="1"> <tr> <td>中項目評価</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> </tr> </table>					中項目評価	a	b	c												
中項目評価	a	b	c																	

(2) 事業に関する指標からみた評価

	必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	〈参 考〉 費用便益費 (B/C)
配点	30	20	15	20	15	100	
評点	18	18	10	7	15	68	0.6

○ 各評価指標の配点の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

中項目評価	a	,	b	,	c
-------	---	---	---	---	---

○関連する開発プロジェクト等の状況
・ 特になし

(1) 総合評価

総合評価	AA	・	A	・	B	・	C
------	----	---	---	---	---	---	---

○総合評価に係るコメント

- ・ 「自然環境等の状況及び環境配慮事項」及び「事業に関する指標から見た評価」の評価項目が、「a」、「b」であることから、総合評価を「A」とした。
- ・ 「事業の進捗状況等」については、事業費の増額はあるものの事業計画に変更はなく、全体延長1,300mのうち840mについて供用済みであり、残る工事も着手済みであり順調に進捗している状況である。
- ・ 「社会経済情勢の変化」について、大きな変化は見られない。
- ・ 以上のことから「事業継続」としたものである。

総
合
評
価

事業名	地域連携道路整備事業 (地域密着型)		補助 単独	担当部課名	県土整備部 道路建設課																		
路線名等	いっばんけんどう 一般県道	ふだいこやせせん 普代小屋瀬線	地区名	まつばやし さまもと 松林～坂本	市町村	岩泉町																	
事業概要	〔事業根拠法令等：道路法第15条、第56条〕																						
	(1) 事業目的																						
	○路線の位置付け																						
	<ul style="list-style-type: none"> 一般県道普代小屋瀬線は、普代村を起点とし、岩泉町安家の松林から坂本を経て、葛巻町に至る路線で、地域住民の通勤、通学路となっている生活道路であるほか、第三次救急医療施設である県立久慈病院へ続く、当該地区唯一の重要路線である。 当該地区は、幅員狭小かつ線形不良であり、大型車のすれ違いが困難であること、急カーブが連続して視距不足であることから、安全な通行の支障となっている。 																						
	○整備によって得られる効果																						
<ul style="list-style-type: none"> 幅員狭小や線形不良箇所の改良、待避所の整備により、通行車両の安全で円滑な交通が確保される。 地域住民の要望を反映させた整備であり、少ない費用で早期に整備効果の発現が得られる。 																							
事業の進捗状況	(2) 事業内容																						
	<ul style="list-style-type: none"> 計画延長：L=1,830m、計画幅員：W=4.0(5.0)m（1.5車線の道路整備） 																						
	(3) 整備目標等																						
	<ul style="list-style-type: none"> 大型車すれ違い困難箇所の解消：1,360m 安全性、快適性の向上（視距の確保）：470m 																						
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">事業計画期間</td> <td colspan="2">総事業費</td> <td colspan="2">令和7年度までの進捗見込み</td> </tr> <tr> <td>着手年度</td> <td>完了予定年度</td> <td>①</td> <td>〔千円〕</td> <td>②</td> <td>事業費〔千円〕</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>令和9年度</td> <td>460,000</td> <td></td> <td>251,881</td> <td>進捗率 ③=②/① 54.8 %</td> </tr> </table>						事業計画期間		総事業費		令和7年度までの進捗見込み		着手年度	完了予定年度	①	〔千円〕	②	事業費〔千円〕	平成25年度	令和9年度	460,000		251,881
事業計画期間		総事業費		令和7年度までの進捗見込み																			
着手年度	完了予定年度	①	〔千円〕	②	事業費〔千円〕																		
平成25年度	令和9年度	460,000		251,881	進捗率 ③=②/① 54.8 %																		
社会経済情勢等の変化	(1) 整備効果の発現状況																						
	<ul style="list-style-type: none"> 整備箇所11箇所中3箇所が完成しており、通行の安全性・快適性が向上している。 																						
社会経済情勢等の変化	(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し																						
	<ul style="list-style-type: none"> 事業費の増額はあるものの、残る工事についても順調に進捗していることから令和8年度までの事業完了に見通しが立っている。 																						
社会経済情勢等の変化	(1) 事業に関する社会経済情勢																						
	<p>ア 本県内または施工地域における状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 「いわて県民計画（2019～2028）において、社会基盤分野として『防災対策や産業振興など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手』を政策推進の基本的な考え方としている。 この中で道路分野では、災害に強い道路ネットワークを構築するため、幹線道路の整備や緊急輸送道路等の防災機能の強化及び日常生活を支える安全・安心な道づくりのため、救急搬送ルートの整備や地域の実情に応じた道路整備、物流の効率化など生産性の向上を図るため、内陸部と港湾を結ぶ道路や工業団地、インターチェンジへのアクセス道路の整備を推進することとしている。 施工地域において、岩泉町から当該道路の整備促進について要望がある。 <p>イ 環境配慮事項及び環境等への配慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会へ付議しており、有識者による現地調査の結果、移植等を必要とする希少種は確認されなかった。 ○自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価においては、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方針に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。 																						
				中項目評価 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td><td>c</td></tr></table>			a	b	c														
a	b	c																					

	(2) 事業に関する指標からみた評価							
		必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	〈参 考〉 費用便益費 (B/C)
	配点	30	30	15	20	5	100	
	評点	17	17	10	7	15	66	0.8

○ 各評価指標の配点の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。 1

中項目評価	a	, b	, c
-------	---	------------	-----

○関連する開発プロジェクト等の状況

- ・ 特になし

総 合 評 価	(1) 総合評価						
総合評価		AA ・ **A** ・ B ・ C					
○総合評価に係るコメント							
- ・ 「自然環境等の状況及び環境配慮事項」及び「事業に関する指標から見た評価」の評価項目が、「a」、「b」であることから、総合評価を「A」とした。 - ・ 「事業の進捗状況等」については、事業費の増額はあるものの事業計画に変更はなく、整備箇所11箇所中3箇所が完成しており、残る工事も着手済みであり順調に進捗している状況である。 - ・ 「社会経済情勢の変化」について、大きな変化は見られない。 - ・ 以上のことから「事業継続」としたものである。							

事業名	道路環境改善事業 (無電柱化推進)	補助・単独	担当部課名	県土整備部道路環境課															
路線名等	いばんけんどう みつかまち せわら せん 一般県道 三日町瀬原線	地区名	ひらいずみ 平泉	市町村	平泉町														
事業の進捗状況	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 本路線は、岩手県地域防災計画における第2次緊急輸送道路に指定され、一般国道4号から警察、消防及び町役場等の主要な公共施設にアクセスするための重要な路線であることから、災害発生時の電柱倒壊による道路閉鎖等がないよう無電柱化を行う必要がある。</p> <p>また、世界遺産「平泉」の構成遺産である中尊寺に至る道路としても利用されている</p> <p>○整備によって得られる効果 無電柱化により、防災性の向上、安全性・快適性及び良好な景観形成が図られる。</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>・無電柱化整備 区間L=870m（道路延長L=870m） 電柱で架空配線している設備を地中の電線共同溝に集約し、無電柱化を図る。また、電線共同溝設備の一部は、N T T が同区間に道路占用している地中設備を既存ストックとして活用し、効率的な無電柱化を図る。</p> <p>(3) 事業計画期間及び総事業費</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業計画期間</th> <th rowspan="2">総事業費 ① 〔千円〕</th> <th colspan="2">R7年度までの進捗見込み</th> </tr> <tr> <th>着手年度</th> <th>完了予定年度</th> <th>② 事業費〔千円〕</th> <th>進捗率 ③ = ②/①</th> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>R13</td> <td>520,000</td> <td>240,014</td> <td>46.2%</td> </tr> </table>					事業計画期間		総事業費 ① 〔千円〕	R7年度までの進捗見込み		着手年度	完了予定年度	② 事業費〔千円〕	進捗率 ③ = ②/①	R4	R13	520,000	240,014	46.2%
	事業計画期間		総事業費 ① 〔千円〕	R7年度までの進捗見込み															
	着手年度	完了予定年度		② 事業費〔千円〕	進捗率 ③ = ②/①														
	R4	R13	520,000	240,014	46.2%														
	事業の進捗状況	<p>(1) 整備効果の発現状況</p> <p>無電柱化事業は、工区全体の電線共同溝整備が完了し、架空配線から地中の電線共同溝内の配線に切り替わり既設電柱が撤去されることで効果発現することから、現時点での効果発現はしていない。</p> <p>(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し</p> <p>①理由：近年の社会経済情勢の影響から予算を十分確保できないこと、周辺環境（世界遺産中尊寺）に配慮した施工により施工効率が低下しているものである。</p> <p>②解決の見通し（難易度）：引き続き予算確保に努めるとともに、関係機関と密に調整を行い事業進捗に取り組んでいく。</p>																	
社会経済情勢等の状況		<p>(1) 事業に関する社会経済情勢</p> <p>ア 本県内又は施工地域における状況</p> <p>県では、国の「防災・減災、国土強靱化の3か年緊急対策」において市街地における電柱に関する緊急対策として位置付けられた箇所に加え、令和3年5月に策定された新たな無電柱化推進計画に位置付けられた箇所の整備についても、計画的に進めていく。</p> <p>本事業箇所は、世界遺産「平泉」の構成遺産である中尊寺に至る道路であり、本県の主要な観光地に位置している。</p> <p>(参考) 予算の動向</p> <p>県内の無電柱化推進事業に対する国庫補助金は年度によりばらつきがあり、令和7年度はおよそ50%の内示率で、計画的な事業推進ができない状況となっている。</p> <p>(2) 自然環境等の状況</p> <p>ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <table border="1"> <tr> <td>・岩手県自然保護保全指針による保全区分</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>・希少野生動植物の生息の有無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>・埋蔵文化財包蔵地の有無</td> <td>有</td> </tr> </table>					・岩手県自然保護保全指針による保全区分	A	・希少野生動植物の生息の有無	有	・埋蔵文化財包蔵地の有無	有							
	・岩手県自然保護保全指針による保全区分	A																	
・希少野生動植物の生息の有無	有																		
・埋蔵文化財包蔵地の有無	有																		

イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費

振興局で実施している公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら関係機関協議並びに現地調査を行い、環境に配慮した事業を進めている。

※自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分の保全方向に沿った対応をしていることから「b」とした。

項目評価	a	.	b	.	c
------	---	---	---	---	---

(3) 事業に関する指標からみた評価

	必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	<参 考>
配点	40	10	10	20	20	100	費用便益比 (B/C)
評点	40	10	0	20	10	80	5.4

項目評価	a	.	b	.	c
------	---	---	---	---	---

○ 関連する開発プロジェクト等の状況

なし

(1) 総合評価

総 合 評 価	AA	.	A	.	B	.	C
---------	----	---	---	---	---	---	---

○総合評価に係るコメント

本事業は、一般国道4号から平泉町内の主要な公共施設に通じるアクセスルートであるため、無電柱化を行うことによって安全・円滑な交通の確保に寄与するものである。加えて、世界遺産「平泉」の構成遺産である中尊寺に至る道路としても利用されていることから、無電柱化により、景観形成及び観光振興に寄与するものである。

近年の社会経済情勢の影響から予算を十分確保できないこと、周辺環境（世界遺産中尊寺）に配慮した施工により施工効率が低下しているところであるが、引き続き予算確保に努めるとともに、関係機関と密に調整を行い事業進捗に取り組んでいく。

(2) その他特記事項

特になし

公共事業 継続評価調書（箇所別）

令和 7 年10月17日作成

事業名	広域河川改修事業		補助	担当部課名	県土整備部河川課
路線名等	二級河川 <small>せつきないがわ</small> 瀬月内川	地区名	いほない 伊保内	市町村	九戸村
事業概要	(1) 事業目的 ○解決すべき課題 瀬月内川は、九戸村の中心市街地を貫流する河川であり、断面が狭小で流下能力が不足していることから、平成5年7月の豪雨においては、家屋20戸の浸水被害が発生するなど甚大な被害が発生している。 ○整備によって得られる効果 本事業により、100年に1度の確率による降雨で発生すると考えられる洪水被害からの解消が図られる。				
	(2) 事業内容 全体計画延長 L=1,790m、築堤工 L=630m、掘削工 V=200,000m ³ 、護岸工 A=13,900m ²				
	(3) 事業計画期間及び総事業費				
	事業計画期間		総事業費	R7年度までの進捗見込み	
	着手年度	完了予定年度	① [千円]	② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②/①
H9	R15	1,200,000	392,000	32.7%	
事業の進捗状況	(1) 整備効果の発現状況 ・洪水時の流下障害部となっていた国道340号の蒔田橋の架替え及び南田頭首工の撤去を行ったことにより、平成5年7月豪雨と同規模の浸水被害の軽減が図られている。				
	(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し ①理由：近年の社会経済情勢の影響から予算を十分確保できない状況の中、県内他地域で発生した洪水被害対応に優先して予算を投入する必要性が生じたことによるものである。 ②解決の見通し（難易度）：予算確保に努めるとともに、更なるコスト縮減に取り組んでいく。 ③解決までの対応及び時間：洪水浸水想定区域図の公表、河川監視カメラ画像やリアルタイム水位情報の提供、ホットラインによる村長への水位情報の伝達などのソフト施策に取り組んでいるところ。				
社会経済情勢等の状況	(1) 事業に関する社会経済情勢 ア 本県内又は施工地域における状況 近年、本県では、令和4年8月の馬淵川（一戸町）や、令和元年10月の小屋畑川・沢川（久慈市）、平成28年8月の小本川（岩泉町）、平成25年7月の砂鉄川（一関市）、8月の岩崎川（矢巾町）及び雫石川（雫石町）など、各地で大規模な浸水被害が発生しており、治水事業に対する関心度は依然として高く、効率的・効果的な事業の進捗に努める必要がある。 県では、近年浸水被害が発生した河川や背後地に資産の集中している河川について重点的に整備を進めることとしており、過去の被災流量相当の洪水被害から地域を守ることを当面の目標として、段階的な整備により治水安全度の向上を図ることとしている。 当事業区間は、平成5年に洪水被害を受けており、地域住民の治水事業に対する関心も非常に高く、県に対し村から早期改修の要望が行われている。				
	(参考) 予算の動向 県内の河川改修事業に対する国庫補助金はここ数年は横ばいの傾向であり、近年大規模な被害が発生した箇所など、緊急性が高い事業に予算を重点的に配分した場合、その他の箇所に十分な予算を配分できない状況となっている。				
	(2) 自然環境等の状況 ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分 ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 E ・希少野生動植物生息の有無 なし ・埋蔵文化財包蔵地の有無 なし				

社 会 経 済 情 勢 等 の 状 況	イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費 <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">付議している</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会への付議状況 ①主な助言内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし ②対応状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実施にあたっては、希少野生動植物等保護検討会に諮り、有識者等の意見を取り入れて、必要に応じて現地確認や希少野生動植物等の対策を講じることとしている。 																							
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 項目評価 (a) . b . c </div>																							
	(3) 事業に関する指標からみた評価 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;">必要性</th> <th style="width: 10%;">重要性</th> <th style="width: 10%;">緊急性</th> <th style="width: 10%;">効率性</th> <th style="width: 10%;">熟度</th> <th style="width: 10%;">計</th> <th style="width: 20%; text-align: left;">＜参 考＞ 費用便益比 (B/C)</th> </tr> <tr> <td>配点</td> <td>30</td> <td>5</td> <td>15</td> <td>40</td> <td>10</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評点</td> <td>29</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>40</td> <td>10</td> <td>86</td> <td>14.3</td> </tr> </table> <div style="text-align: right; padding-right: 20px; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 項目評価 (a) . b . c </div> </div>		必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	＜参 考＞ 費用便益比 (B/C)	配点	30	5	15	40	10	100		評点	29	5	2	40	10	86
	必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	＜参 考＞ 費用便益比 (B/C)																	
配点	30	5	15	40	10	100																		
評点	29	5	2	40	10	86	14.3																	
	○ 関連する開発プロジェクト等の状況 なし																							
総 合 評 価	(1) 総合評価 <div style="border: 3px double black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 10px;">総 合 評 価</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> (AA) . A . B . C </div> </div> <p>○総合評価に係るコメント</p> <p>本事業により、洪水時の流下阻害となっていた蒔田橋及び南田頭首工の架替え及び撤去を実施した結果、事業区間において浸水被害が減少していることから、治水安全度が一定程度向上したものと考えられる。</p> <p>一方、県内では洪水による浸水被害が多発している状況であり、被害が発生した箇所の治水安全度の早期向上を図るため予算を重点的に配分する必要がある、当該区間の残事業を一時休工としているものである。</p> <p>しかし、本事業区間近傍には、九戸村役場や県立二戸病院九戸地域診療センター、伊保内小学校などの多くの公共施設があり、地元からも事業推進の要望を受けていることから、事業計画に掲げる治水安全度を目指し、引き続き河川改修を実施する必要がある。</p>																							
	(2) その他特記事項 なし																							

公共事業 継続評価調書（箇所別）

令和 7 年10月 5 日作成

事業名	急傾斜地崩壊対策事業		補助・単独	担当部課名	県土整備部砂防災害課
路線名等	—	地区名	げんたさわ げんたさわ 源太沢・源太沢 (3)		市町村 釜石市
事業概要	(1) 事業目的 本地区は、釜石市釜石地区に位置し、釜石市防災計画において避難所に指定されている源太沢集会所や人家が保全対象となっている。今後の豪雨による土砂災害の危険性が高いため、急傾斜地崩壊対策施設を整備し、避難所や人家を保護することを目的としている。				
	(2) 事業内容 法面保護工 A=3, 968m ² 、落石防護柵工 L=282m				
	(3) 事業計画期間及び総事業費				
	事業計画期間		総事業費	令和7年度までの進捗見込み	
	着手年度	完了予定年度	① [千円]	② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②/①
R4	R13	810, 000. 0	91, 000. 0	11. 2%	
事業の進捗状況	(1) 整備効果の発現状況 ・供用を開始していないため、整備効果の発現はない。				
	(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し ①理由：詳細測量と地質調査を実施した結果、想定される崩壊土砂量が当初よりも多いことが確認されたため、設計の妥当性の再検討を行った。その結果、法面保護工の面積の見直しが必要となったため、4年間の事業延伸が必要となったもの。 ②解決の見通し（難易度）：詳細設計が完了し設計が確定したため、計画的な事業推進により、令和13年度までに完了できる見込みである。 ③解決までの対応及び期間：詳細設計が完了し用地業務に着手している。工事着手はR7年度を予定している。				
社会経済情勢等の状況	(1) 事業に関する社会経済情勢 ア 本県内又は施工地域における状況 本地区は、釜石市の指定避難所である源太沢集会所や人家を保全対象とする急傾斜地であり、平成20年6月に土砂災害警戒区域等に指定されている。 今後の豪雨による土砂災害の危険性が高いため、急傾斜地崩壊対策施設を整備し、住民の生命・財産及び公共施設を保全することを目的として事業を行うものである。				
	(参考) 予算の動向 県内の急傾斜事業に対する国庫補助金はここ数年は横ばいの傾向である。				
	(2) 自然環境等の状況 ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分 ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 C ・希少野生動植物生息の有無 なし ・埋蔵文化財包蔵地の有無 あり 「源太沢遺跡」、「源太沢大洞遺跡」 ・その他特記事項 釜石市景観計画区域・市街地景観地区				

社 会 経 済 情 勢 等 の 状 況	<p>イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会への付議状況 <p>①主な助言内容 振興局で実施している公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会の結果、希少種は確認されなかった。</p> <p>②対応状況 引き続き、必要に応じて有識者等の助言を受けながら環境に配慮した事業計画の推進及び工事の施工を行うものとする。</p>	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 10px;">項目評価 a . b . c</div>																								
	<p>(3) 事業に関する指標からみた評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;">必要性</th> <th style="width: 10%;">重要性</th> <th style="width: 10%;">緊急性</th> <th style="width: 10%;">効率性</th> <th style="width: 10%;">熟度</th> <th style="width: 10%;">計</th> <th style="width: 30%; text-align: left;">＜参 考＞ 費用便益比 (B／C)</th> </tr> <tr> <td>配点</td> <td>20</td> <td>10</td> <td>40</td> <td>30</td> <td>—</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評点</td> <td>20</td> <td>10</td> <td>37</td> <td>20</td> <td>—</td> <td>87</td> <td>11.5</td> </tr> </table>		必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	＜参 考＞ 費用便益比 (B／C)	配点	20	10	40	30	—	100		評点	20	10	37	20	—	87	11.5	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 10px;">項目評価 a . b . c</div>
		必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	＜参 考＞ 費用便益比 (B／C)																		
配点	20	10	40	30	—	100																				
評点	20	10	37	20	—	87	11.5																			
<p>○ 関連する開発プロジェクト等の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし。 																										

総 合 評 価	<p>(1) 総合評価</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 10px;">総 合 評 価</div> <div style="display: inline-block; padding: 0 10px;"> AA . A . B . C </div> </div>	<p>○総合評価に係るコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「事業の進捗状況等」について、詳細測量と地質調査を実施した結果、想定される崩壊土砂量が当初よりも多いことが確認されたため、法面保護工の面積の見直しに伴い事業費が増となったほか、事業期間についても延伸したが、事業計画に大幅な変更はない。 ・ 詳細設計が完了し設計が確定したため、計画的な事業推進により令和13年までに事業が完了出来る見込みである。 ・ 社会経済情勢の変化や評価指標等の観点からも事業継続は妥当であると判断されることから「事業継続」評価したものである。
	<p>(2) その他特記事項</p> <p>なし。</p>	